

## 連動設定PCソフト(FP2TG) 操作マニュアル

Ver4.0.1

## フレキシブルP-1 シリーズ

## P型1級受信機

BVF11□□H/BVF13□□H (壁掛型)  
BVF12□□F/BVF14□□F (自立型)

## P型1級複合受信機

BVF35□□H/BVF37□□H (壁掛型)  
BVF36□□F/BVF38□□F (自立型)

## アドバンスP-1 シリーズ

## P型1級受信機 (自動試験機能付)

BVE11□□H/BVE13□□H/BVE16□□H (壁掛型)  
BVE12□□F/BVE14□□F/BVE17□□F (自立型)

## P型1級複合受信機 (自動試験機能付)

BVE31□□H/BVE33□□H/BVE36□□H (壁掛型)  
BVE32□□F/BVE34□□F/BVE37□□F (自立型)

## P型1級受信機 (自動試験機能付) (小型)

BVE15□□H (露出型)  
BVE15□□1 (埋込型内器)

## P型1級複合受信機 (自動試験機能付) (小型)

BVE35□□H (露出型)  
BVE35□□1 (埋込型内器)

## ガス漏れ受信機

## G型受信機・LPガス用1級受信機

BGJ35□□3H/BGJ37□□3H (G型)  
BGJ36□□3H/BGJ38□□3H (LPガス用)

## 連動操作盤

## 連動操作盤

BVF7115H/BVF7215H  
BVF7120H/BVF7220H

## Uオーダー

## 複合防災盤 (Uオーダー)

BZF14/BZF15 (壁掛型)  
BZF94/BZF95 (自立型)

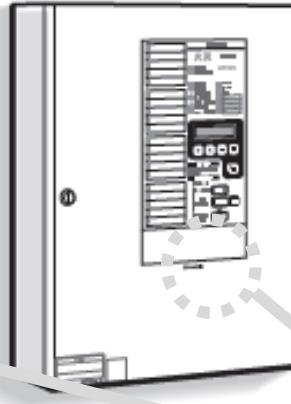
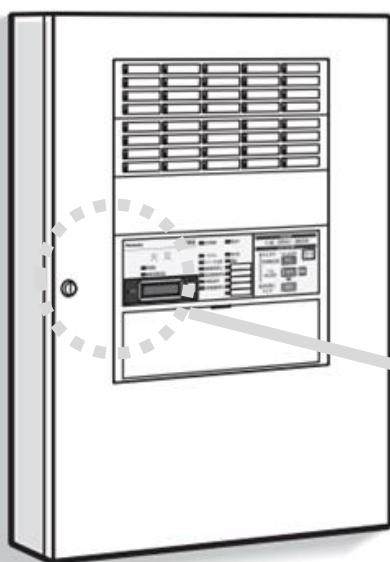
## アドバンスP1受信機 (Uオーダー)

BZE11/BZE12 (壁掛型)  
BZE91/BZE92 (自立型)

(□□は回線数、K付品番のKは省略)

アドバンスP1、フレキシブルP1、  
ガス漏れ受信機、連動操作盤

アドバンスP1 (小型)



# もくじ

---

1. はじめに	1 - 1 ~ 8
2. インストール	
2 - 1. インストールする前に	2 - 1
2 - 2. Windows 10の場合	2 - 2 ~ 4
2 - 3. Windows 7 / 8. 1の場合	2 - 5 ~ 8
2 - 4. 注意事項	2 - 9 ~ 12
3. 業務の流れ	
3 - 1. FP2TG操作フロー	3 - 1
3 - 2. SDカード操作手順：アドバンスP1（小型）の場合	3 - 2
3 - 3. SDカード操作手順：アドバンスP1（小型）以外の場合	3 - 3
4. FP2TGの起動	4
5. スタートメニュー	5
6. 設定データ新規作成	
6 - 1. 設定データ新規作成（標準機種）	6 - 1 ~ 2
6 - 2. 設定データ新規作成（特注設定）	6 - 3 ~ 5
7. 設定データ読み込み（設定データの変更・確認）	7
8. メインメニュー	8 - 1 ~ 3
9. システム設定	9 - 1 ~ 6
10. 種別・運動設定	10 - 1 ~ 10
11. メッセージ設定	11 - 1 ~ 3
12. 保存	12
13. 帳票	13 - 1 ~ 5
14. SD書き出し	14
15. 終了	15
16. 受信機履歴表示	16 - 1 ~ 5
17. 自動試験結果表示	17 - 1 ~ 4
18. 付録 アドバンスP1（小型）の場合	
18 - 1. 設定データを受信機に読み込む方法	18 - 1
18 - 2. 受信機内の設定データをFP2TGに読み込む方法	18 - 2
18 - 3. 受信機の履歴情報をFP2TGで表示する方法	18 - 3
18 - 4. 受信機の自動試験結果をFP2TGで表示する方法	18 - 4
19. 付録 アドバンスP1（小型）以外の場合	
19 - 1. 設定データを受信機に読み込む方法	19 - 1
19 - 2. 受信機内の設定データをFP2TGに読み込む方法	19 - 2
19 - 3. 受信機の履歴情報をFP2TGで表示する方法	19 - 3
19 - 4. 受信機の自動試験結果をFP2TGで表示する方法	19 - 4

# 1. はじめに

連動設定PCソフト(FP2TG)は、下記受信機に対応しています。

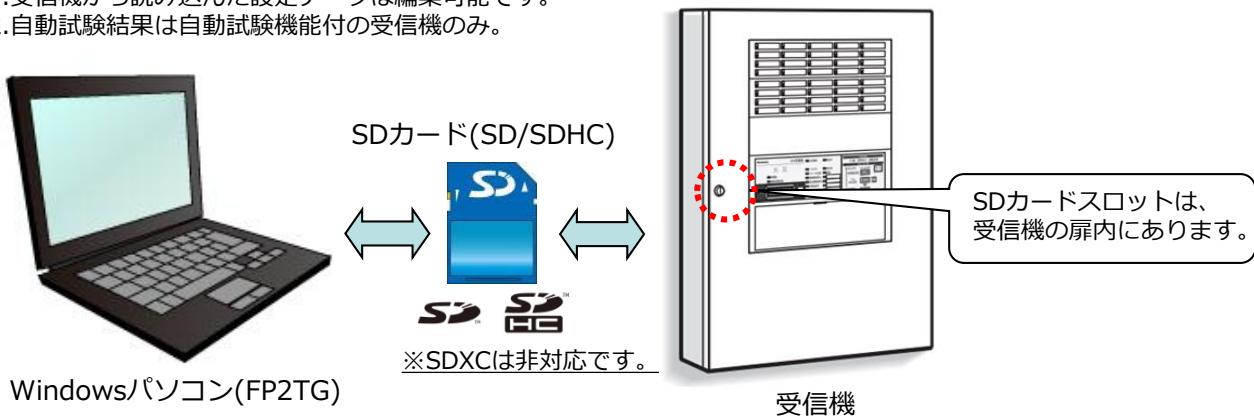
- |                    |  |
|--------------------|--|
| ・フレキシブルP1受信機       | (BVF11/12, <a href="#">BVF13/14</a> , BVF35/36, <a href="#">BVF37/38</a> シリーズ)                     |
| ・アドバンスP1受信機        | (BVE11/12, BVE13/14, <a href="#">BVE16/17</a> , BVE31/32, BVE33/34, <a href="#">BVE36/37</a> シリーズ) |
| ・アドバンスP1受信機（小型）    | (BVE15, BVE35シリーズ)   |
| ・ガス漏れ受信機           | (BGJ35/36, <a href="#">BGJ37/38</a> シリーズ)  |
| ・連動操作盤             | (BVF7115H/BVF7120H, <a href="#">BVF7215H/BVF7220H</a> )  |
| ・複合防災盤（Uオーダー）      | (BZF14/BZF94, <a href="#">BZF15/BZF95</a> )  |
| ・アドバンスP1受信機（Uオーダー） | (BZE11/BZE91, <a href="#">BZE12/BZE92</a> )  |

FP2TGを使用すると、パソコンで設定データの作成・管理が可能です。

FP2TGで作成した設定データを受信機に読み込むだけではなく、受信機内部のデータ（設定データ※1、履歴情報、自動試験結果※2）をパソコンに読み込んで表示することもできます。

※1.受信機から読み込んだ設定データは編集可能です。

※2.自動試験結果は自動試験機能付の受信機のみ。



## <パソコン環境>

対応OS : Windows10、Windows7(SP1)、Windows8.1

解像度 : XGA(1024×768)以上

I/F : SDカードスロット（またはSDカードリーダー）

SDカード : 8MB~32GB(SD/SDHC) ※SDカードは受信機に付属しませんので、別途ご購入ください。

## 注：パソコンの設定に関する注意事項

- Windows10のバージョンにより、日本語入力（全角）の文字の1文字目が正しく入力されない場合があります。

この場合は、セルをダブルクリックして編集モードにしてから入力してください。

なお、ダブルクリックするのが手間な場合は、以前のバージョンのMicrosoft IMEを使う設定に変更することで対処できます。

### <設定手順>

- ①右下のタスクバーの日本語IMEのアイコン「A」「あ」を右クリックして「設定」を選択する。
- ②Microsoft IMEの設定画面が開くので、「全般」をクリックする。
- ③一番下までスクロールして、[以前のバージョンのMicrosoft IMEを使う]のスイッチを「オン」に設定する。

- Windowsの日付形式は標準形式とし、和暦に設定変更しないでください。

- ディスプレイの拡大設定は、ディスプレイの解像度に対して下記の表を参考にして設定してください。表の「○」より大きな拡大率にすると、画面からはみ出します。

解像度の一例	ディスプレイ設定		
	小-100%	中-125%	大-150%
WXGA	1366×768	○	×
フルHD	1920×1080	○	○

# 1. はじめに

**注:** FP2TG使用時の注意事項

## ①受信機で必要な設定登録について

- 空き回線登録、およびAP感知器の接続設定はFP2TGでは登録できません。  
受信機に感知器を接続後、必ず下記登録を実施してください。  
(AP感知器の増減があった場合も必要)  
詳細は受信機のマニュアルを参照してください。

### <空き回線登録方法>

- すべての結線が完了後、通電を行い、盤内の「空き回線登録」スイッチを1秒以上押す。
- 「一斉試験」をして、空き回線が確実に登録されたか確認してください。

### <AP感知器の自動登録方法> ※自動試験有の場合のみ必要

- 受信機をソフト設定モードで起動します。
- 選択スイッチ「▲▼」で【APカントリクトウ】を表示させ、「実行スイッチ」を押すと、すでに登録されているAP感知器の個数が表示されます。
- 【APカントリクトウ】が【M】の状態で「実行スイッチ」を押すと検索処理を開始します。
- しばらくすると見つかったAP感知器の個数が表示されるので、「実行スイッチ」を押します。
- 【トウクシスカ? [ハイ]】の確認画面を表示するので、再度「実行スイッチ」を押すと、【トウクカントリョウ】を表示して登録完了です。

## ②設定データの互換性について

- FP2TG Ver1.0/2.0/3.0で作成した設定データは、FP2TG Ver4.0でも使用可能です。  
なお、最新の受信機から書き出した設定データはFP2TG Ver1.0/2.0/3.0で読み込むことができないため、お使いのFP2TGを最新のバージョン(FP2TG Ver4.0以降)に更新してください。

### <FP2TG Ver1.0で作成した設定データの注意点>

- Ver1.0で作成した件名の設定データは、Ver2.0以降で新規で作成し直さないでください。

万が一、新規作成が必要になった場合は、Ver1.0で作成した帳票を参照して、「感知器取付階設定」を現場の受信機の設定と同様にしてください。

※Ver2.0で「感知器取付階設定」の初期値と設定範囲の仕様が変更されたためです。

※Ver1.0で作成した設定データをVer2.0以降で読み込む場合は、「感知器取付階設定」もそのまま引き継がれますので問題ありません。

- FP2TG Ver3.0以降で作成したアドバンスP1（小型）の設定データを、アドバンスP1（小型）に対応していないFP2TG Ver1.0/Ver2.0で開くと、「ファイルオープンエラー」を表示して、読み込むことができません。

# 1. はじめに

**注:** FP2TG使用時の注意事項

## ②設定データの互換性について（続き）

- アドバンスP1（小型）以外の従来型の受信機において、受信機の設定データのテーブル構成がバージョンアップされました。  
従来のテーブル構成バージョンと区別するために、FP2TG Ver4.0以降のテーブル構成バージョンを**V4**とし、FP2TG Ver1.0/2.0/3.0のテーブル構成バージョンを**V3以前**とします。

### ●受信機品番とV4受信機/V3以前の受信機の関係

	V3以前の受信機	V4受信機
フレキシブルP1受信機	BVF11□□H (HK) BVF12□□F (FK) BVF35□□H (HK) BVF36□□F (FK)	BVF13□□H BVF14□□F BVF37□□H BVF38□□F
アドバンスP1受信機	BVE11□□H / BVE13□□H BVE12□□F / BVE14□□F BVE31□□H (HK) / BVE33□□H BVE32□□F (FK) / BVE34□□F	BVE16□□H BVE17□□F BVE36□□H BVE37□□F
アドバンスP1受信機 (小型)	BVE15□□H BVE15□□1 BVE35□□H BVE35□□1	対象外
ガス漏れ受信機	BGJ35□□3H BGJ36□□3H	BGJ37□□3H BGJ38□□3H
連動操作盤	BVF7115H BVF7120H	BVF7215H BVF7220H
複合防災盤 (Uオーダー)	BZF14 BZF94	BZF15 BZF95
アドバンスP1受信機 (Uオーダー)	BZE11 BZE91	BZE12 BZE92

### <受信機側の設定データの互換性>

- V3以前の受信機にV4受信機の設定データを読み込むことはできません。  
FP2TGにて新規で設定データを作成する場合はよくご確認の上、作成してください。（P6-2参照）
- FP2TG Ver4.0はV4受信機の設定データだけでなく、V3以前の受信機の設定データを新規作成することもできます。
- V4受信機はV3以前の受信機の設定データも読み込み可能です。  
(読み込み時にV4受信機のテーブル構成に自動的に更新されます)

### <FP2TG側の設定データの互換性>

- FP2TG Ver4.0は、V3以前の設定データも読み込み可能です。  
既存の設定データをFP2TGで読み込むと、自動的にテーブル構成バージョンを判別して動作し、保存時もテーブル構成を変更せずに保存します。
- FP2TG Ver4.0で作成したV4受信機の設定データを、FP2TG Ver1.0/2.0/3.0で開くと、「ファイルオープンエラー」を表示して、読み込むことができません。

# 1. はじめに

## 注 FP2TG使用時の注意事項

### ③受信機の機種による設定内容の違いについて

<アドバンスP1（小型）以外>

	アドバンスP1 P型1級受信機	アドバンスP1 P型1級複合受信機	フレキシブルP1 P型1級受信機	フレキシブルP1 P型1級複合受信機
自動試験有無（※1）	○（有固定）	○（有固定）	×（なし固定）	×（なし固定）
プリンタ有無（※2）	△ (特注設定のみ可)	△ (特注設定のみ可)	×（なし固定）	×（なし固定）
非常放送/地区音響切替設定 (※3)	×（設定不可）	×（設定不可）	×（設定不可）	×（設定不可）
地区音響導通試験 空き回線設定	○（設定可）	○（設定可）	×（設定不可）	×（設定不可）
代表移信設定	P 9-3. 参照			
2信号感知器	×（設定不可）	○（設定可）	×（設定不可）	×（設定不可）
防排煙感知器、防排煙復帰制御	×（設定不可）	○（設定可）	×（設定不可）	○（設定可）
ガス漏れ	×（設定不可）	×（設定不可）	×（設定不可）	×（設定不可）
終端器設定	P 10-6. ⑦参照			
運動Dn設定	×（設定不可）	○（設定可）	×（設定不可）	○（設定可）
運動Bn設定	○（設定可）	○（設定可）	○（設定可）	○（設定可）
メッセージ設定（※4）	○（設定可）	○（設定可）	○（設定可）	○（設定可）
メッセージの拡大設定（※5）	○（設定可）	○（設定可）	○（設定可）	○（設定可）

	G型受信機・ LPガス受信機	GP型受信機	GP型複合受信機	連動操作盤
自動試験有無（※1）	×（なし固定）	○（設定可）	○（設定可）	×（なし固定）
プリンタ有無（※2）	×（なし固定）	○（設定可）	○（設定可）	×（なし固定）
非常放送/地区音響切替設定 (※3)	×（設定不可）	×（設定不可）	×（設定不可）	×（設定不可）
地区音響導通試験 空き回線設定	×（設定不可）	△ (自動試験有のみ可)	△ (自動試験有のみ可)	×（設定不可）
代表移信設定	P 9-3. 参照	P 9-4. 参照		P 9-4. 参照
2信号感知器	×（設定不可）	×（設定不可）	△ (自動試験有のみ可)	×（設定不可）
防排煙感知器、防排煙復帰制御	×（設定不可）	×（設定不可）	○（設定可）	○（設定可）
ガス漏れ	○（設定可）	○（設定可）	○（設定可）	×（設定不可）
終端器設定	×（設定不可）	P 10-6. ⑦参照		
運動Dn設定	×（設定不可）	×（設定不可）	○（設定可）	○（設定可）
運動Bn設定	×（設定不可）	○（設定可）	○（設定可）	×（設定不可）
メッセージ設定（※4）	○（設定可）	○（設定可）	○（設定可）	○（設定可）
メッセージの拡大設定（※5）	○（設定可）	○（設定可）	○（設定可）	○（設定可）

（※1）自動試験なしのときは、自動試験感知器（A P感知器）は接続できません。

（※2）プリンタ有のときは、オプションスイッチ5はプリンタ停止専用になります。

（※3）アドバンスP1（小型）以外の場合は、受信機の地区音響／非常放送切替コネクタにて設定します。

（※4）アドレスメッセージは自動試験有の場合に設定可能です。回線メッセージは全機種設定可。

（※5）V4受信機の場合に拡大表示可能です。（拡大表示ができるのは数字のみです）

# 1. はじめに

## 注 FP2TG使用時の注意事項

### ③受信機の機種による設定内容の違いについて（続き）

<アドバンスP1（小型）>

	アドバンスP1 P型1級受信機（小型）	アドバンスP1 P型1級複合受信機（小型）
自動試験有無	<input type="radio"/> （有固定）	<input type="radio"/> （有固定）
プリンタ有無	✗（なし固定）	✗（なし固定）
非常放送/地区音響切替設定	<input type="radio"/> （設定可）	<input type="radio"/> （設定可）
地区音響導通試験 空き回線設定	<input type="radio"/> （設定可）	<input type="radio"/> （設定可）
代表移信設定	P 9-5. 参照	
2信号感知器	✗（設定不可）	<input type="radio"/> （設定可）
防排煙感知器（※1）	✗（設定不可）	<input type="radio"/> （設定可）
ガス漏れ	✗（設定不可）	✗（設定不可）
終端器設定	P 10-6. ⑦参照	
運動Dn設定	✗（設定不可）	<input type="radio"/> （設定可）
運動Bn設定	<input type="radio"/> （設定可）	<input type="radio"/> （設定可）
メッセージ設定（※2）	<input type="radio"/> （設定可）	<input type="radio"/> （設定可）
メッセージの拡大設定（※3）	<input type="radio"/> （設定可）	<input type="radio"/> （設定可）

（※1）防排煙復帰制御は設定できません。

（※2）アドレスメッセージ、および回線メッセージの設定が可能です。

（※3）拡大表示ができるのは数字のみです。

### ④設定データの管理について

- ・設定データは工事店様にて管理（設定データのバックアップ、最新データの管理など）をお願い致します。

現場の受信機操作部で設定変更を行った場合は、必ずSDカードに受信機内の設定データを書き出して持ち帰ってください。

# 1. はじめに

**注:** FP2TG使用時の注意事項

## ⑤設定データの照合について

- ・設定データはデータの更新バージョンを持っていません。  
受信機内の設定データとの照合が必要な場合は、件名名称と更新日時を確認してください。

### <件名名称と更新日時の確認方法>

#### ・アドバンスP1(小型)受信機の場合

- ①受信機の「トラブル・履歴確認スイッチ」を押すと、【トラブル カクニ】を表示します。
- ②選択スイッチ「▲」で【リト セティ カクニ】を表示させ、「実行スイッチ」を押すと、【カイセン シュバツ】を表示します。
- ③選択スイッチ「▲」を2回押して【セッティ データ ジョウウ】を表示させ、「実行スイッチ」を押すと、液晶表示部に設定データの件名名称と更新日時を表示します。

#### ・アドバンスP1(小型)受信機以外の場合

- ①受信機盤内の「ソフト設定スイッチ」を約2秒間押し続けると、液晶表示部に【カイセン シュバツ】を表示します。
- ②選択スイッチ「▲」を2回押して【セッティ データ ジョウウ】を表示させ、「実行スイッチ」を押すと、液晶表示部に設定データの件名名称と更新日時を表示します。

※詳細は、受信機の設定マニュアル「通常監視中にソフト設定内容を確認する方法」を参照。

## ⑥設定データのファイル名について

- ・受信機がSDカードから読み込むことができる設定データのファイル名は[TABLE.2TG]固定です。FP2TGの「SD書き出し」機能を使うと、ファイル名を自動的に[TABLE.2TG]に変更してSDカードにコピーします。「SD書き出し」機能を使わずに設定データを手動でSDカードにコピーして受信機に読み込むときはファイル名を[TABLE.2TG]に変更してください。

## ⑦受信機の機種選択（または特注時の受信機構成）について

- ・受信機の機種選択（または特注時の自動試験設定、プリンタ設定、回線設定）は最初の1回のみ必要となり、確定後は変更できません。

設置されている受信機の機種（または特注時の受信機構成）を確認の上、間違いのないように設定してください。

もし、後で機種の変更（または特注時の受信機構成の変更）が必要になったときは、再度新規作成（全ての設定データを最初から登録し直す）する必要がありますので、注意してください。

## ⑧SDカードのフォーマットについて

- ・SDカードをフォーマットする場合は、Windowsのドライブアイコンを右クリックしたメニューからのフォーマット機能は使用せず、必ずSD専用のSDフォーマッターを使用してください。なお、SDフォーマッターはSDアソシエーションのWebサイトからダウンロードできます。

## ⑨免責事項

FP2TGは、.Net Framework および Access database engine 2010 を使用して動作します。

FP2TGをインストールすることにより、お客様にてご使用中のソフトウェアの動作に影響が出た場合は、上記全てのソフトウェアをアンインストールして、ご使用をお控えください。

なお、本ソフトウェアをインストールすることによって生じる他ソフトウェアへの動作影響については、責任を負いかねますので、ご了承ください。

## 2. インストール

### 2-1. インストールする前に

**注** FP2TGは、下記OSに対応しています。

	Windows7 SP1 (32bit/64bit)	Windows8 (32bit/64bit)	Windows8.1 (32bit/64bit)	Windows10 (32bit/64bit)
FP2TG	○	×	○	○

#### <インストール手順について>

- FP2TGは .Net Framework 4.5.2 および Access database engine 2010 を使用して動作します。
- FP2TGのセットアップ ( Setup.exe ) を実行すると、下記順にインストールを行います。  
①.NET 4.5.2 および.NET 4.5.2 (日本語 Language Pack)  
②Access database engine 2010  
③FP2TGアプリケーションプログラム

インストール時は上記①～③の有無をインストーラが自動的に判断してインストールします。  
(既にインストールされている対象は、インストールを省略します)

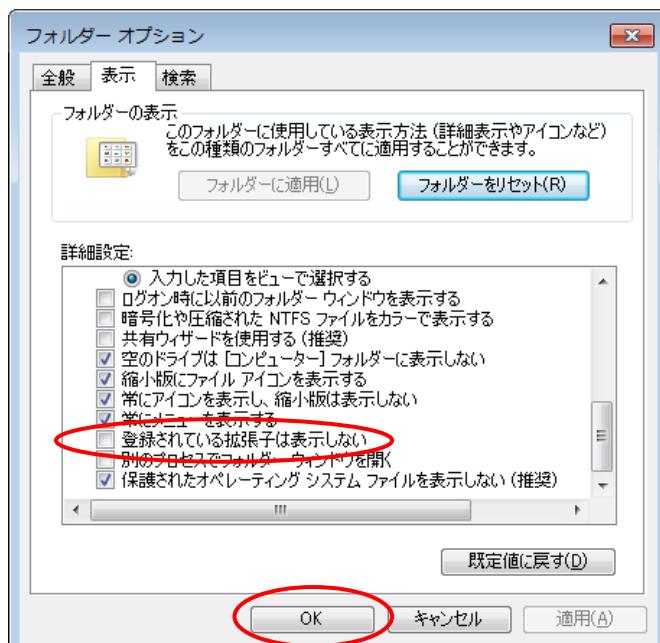
※②のインストール完了後、再度Setup.exeの実行が必要です。

#### <補足事項>

- Windows10の場合は②、③のみインストールされます。  
※Windows10の場合は、予めWindowsにインストールされている.NET4.6以降を使用するため、.NET4.5.2のインストールは行いません。
- FP2TGのバージョンアップ時は③のみインストールされます。 (①と②は最初の1回のみ必要)

#### ●インストール前の準備（拡張子を表示する設定を行います）

- 「コントロールパネル」の「エクスプローラのオプション」（旧名称：フォルダーオプション）を開き、「表示」タブをクリックします。
- 詳細設定の項目を下にスクロールし、「□登録されている拡張子は表示しない」のチェックを外して「OK」をクリックしてください。



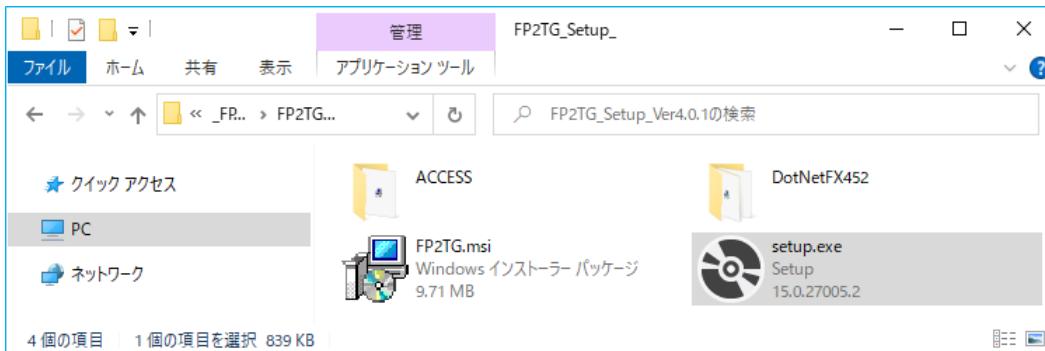
#### <フォルダーオプション画面の開き方>

Windows10の場合は、エクスプローラを開いて、「ファイル」メニューの「フォルダーと検索のオプションの変更」から開く方法が簡単です。

## 2. インストール (Windows10の場合)

### 2-2. インストール (Windows10の場合)

#### ●インストールフォルダの構成



<新規インストールの場合>

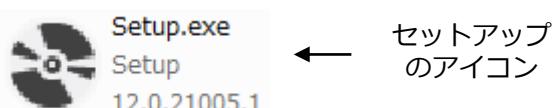
- Windows10の場合は、「DotNetFX452」フォルダがなくても新規インストール可能です。

<バージョンアップの場合>

- 既に古いバージョンのFP2TGがインストール済の場合は、「FP2TG.msi」と「setup.exe」の2ファイルのみでインストールできます。  
※バージョンアップ時は「ACCESS」フォルダと「DotNetFX452」フォルダはなくても可。

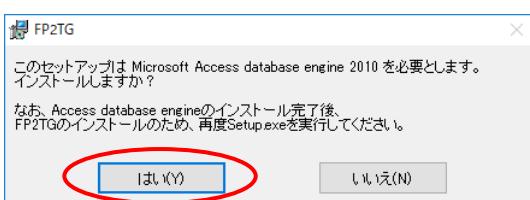
#### ●インストール開始

- 「FP2TG\_Setup\_x.x.x」フォルダの中の「**Setup.exe**」アイコンをダブルクリックします。  
(x.x.xはバージョン)



#### ●Microsoft Access database engine 2010 のインストール

- 「Setup.exe」を実行すると、Access database engine 2010のインストールを行います。Access database engine 2010がインストールされていない場合は、インストールの確認画面を表示します。  
「はい」をクリックしてください。



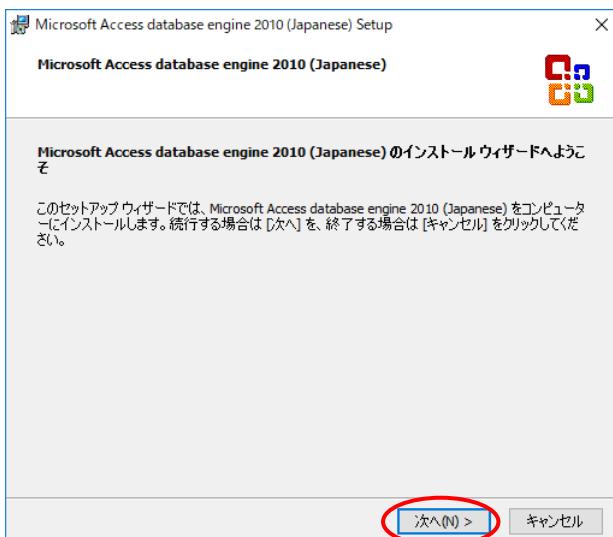
既にAccess database engine 2010が入っている場合は、インストールをスキップして(8)のFP2TGをインストールします。

※ユーザーアカウント制御の確認ダイアログが表示されます。  
許可が必要ですので、「はい」をクリックしてください。

※ユーザーアカウント制御の確認ダイアログが表示されず、タスクバー上で盾のアイコンが点滅している場合は、そのアイコンをクリックしてください。

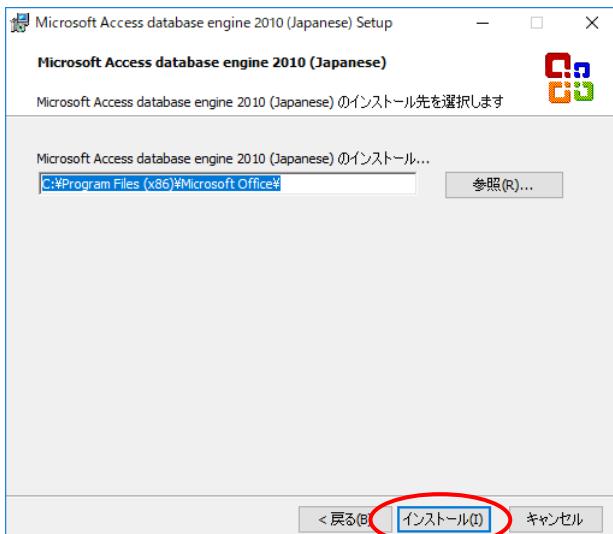
## 2. インストール (Windows10の場合)

(3) 「次へ」をクリックしてください。

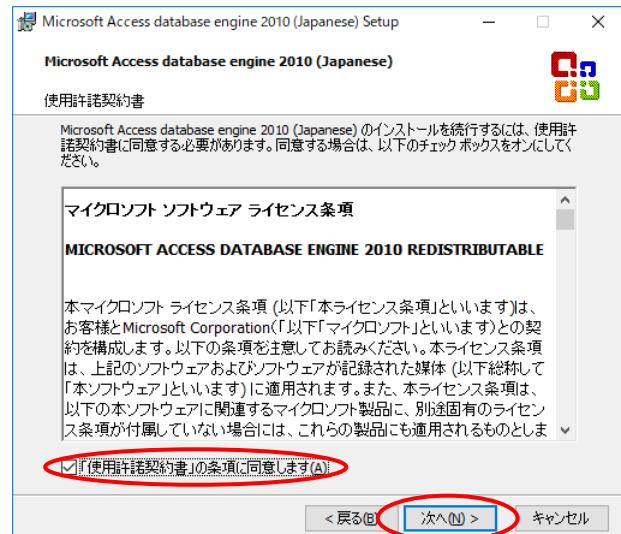


※インストール画面が表示されず、タスクバー上でセットアップのアイコンが点滅している場合は、そのアイコンをクリックしてください。

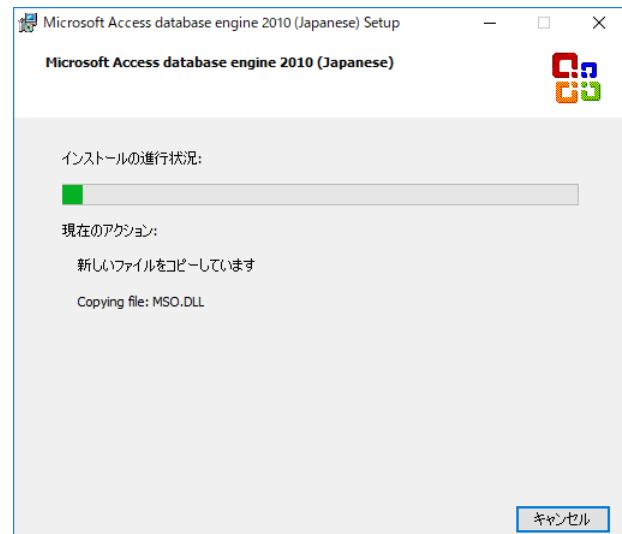
(5) 「インストール」をクリックしてください。



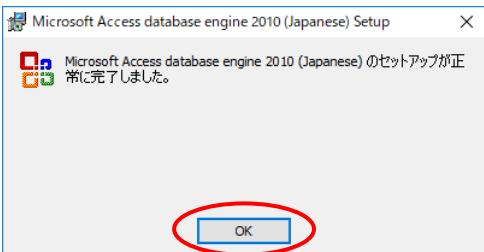
(4) ライセンス確認画面で、同意のチェックを入れて「次へ」をクリックしてください。



(6) Access database engine 2010のインストールを開始します。



(7) セットアップ完了のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックしてください。



次に FP2TG をインストールします。

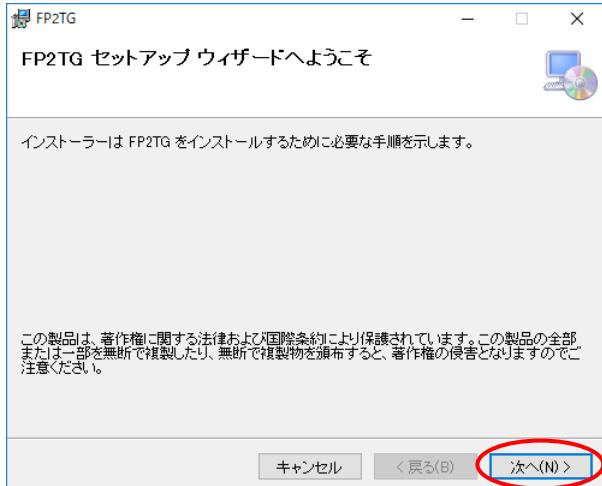
再度「**Setup.exe**」を実行してください。

## 2. インストール (Windows10の場合)

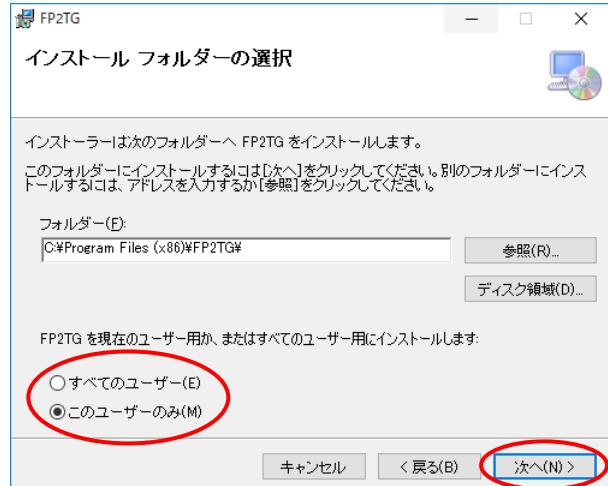
### ●FP2TG のインストール

Access database engine 2010 ガインストールされていない場合は、(2)Access database engine 2010のインストール画面を表示します。

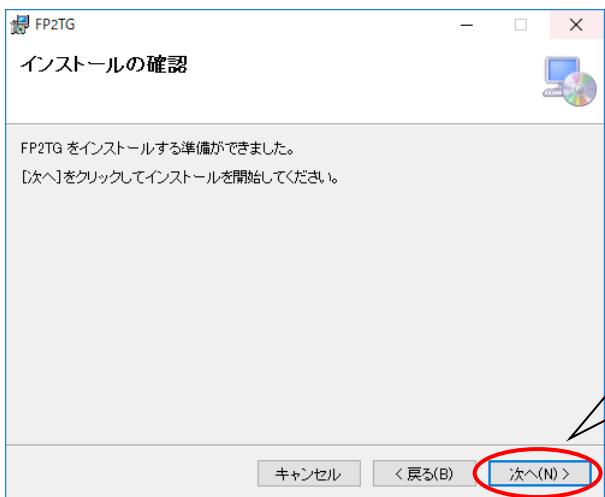
(8) FP2TGのセットアップ画面が表示されます。  
「次へ」をクリックしてください。



(9) 使用するユーザーの選択をして、「次へ」をクリックしてください。

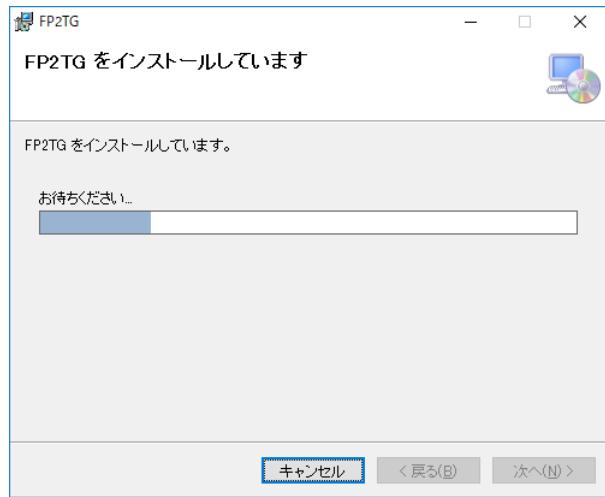


(10) 「次へ」をクリックしてください。

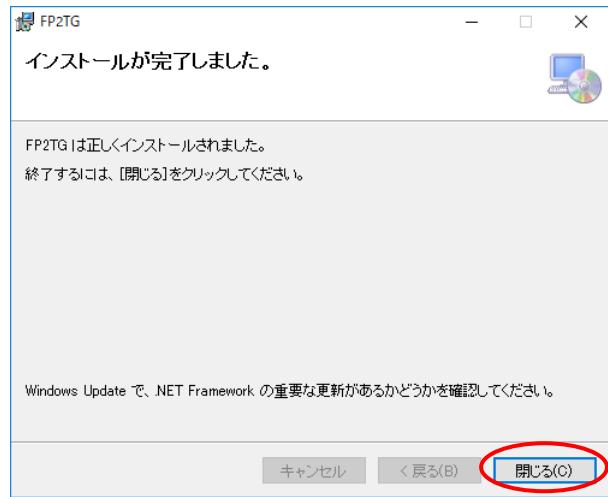


※ユーザーアカウント制御の確認ダイアログが表示されます。  
「この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」  
と表示されたら、「はい」をクリックしてください。

(11) FP2TGのインストールを開始します。



(12) 「閉じる」をクリックして完了です。

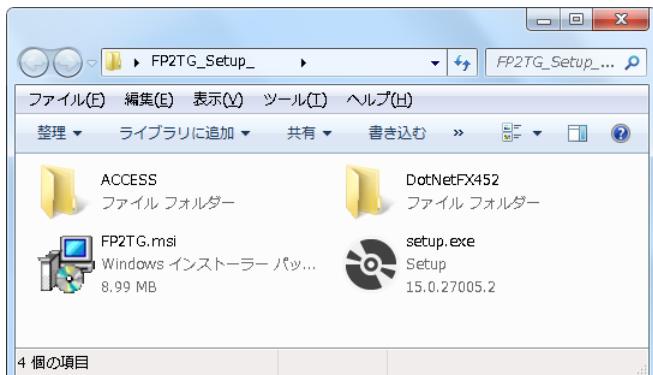


FP2TGが正しくインストールできなかった場合は、再度「Setup.exe」を実行してください。

## 2. インストール (Windows7 / 8.1の場合)

### 2-3. インストール (Windows7/8.1の場合)

#### ●インストールフォルダの構成

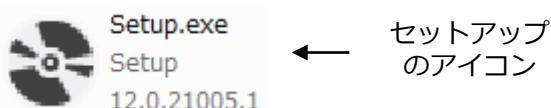


<バージョンアップの場合>

- 既に古いバージョンのFP2TGがインストール済の場合は、「FP2TG.msi」と「setup.exe」の2ファイルのみでインストールできます。
- ※バージョンアップ時は「ACCESS」フォルダと「DotNetFX452」フォルダはなくても可。

#### ●インストール開始

- 「FP2TG\_Setup\_x.x.x」フォルダの中の「**Setup.exe**」アイコンをダブルクリックします。  
(x.x.xはバージョン)



#### ●Microsoft .Net Framework 4.5.2 のインストール

はじめに.NET Framework 4.5.2 および .NET Framework 4.5.2 (日本語 Language Pack) のインストールを行ないます。

- .NET4.5.2 または.NET4.5.2 (日本語) がインストールされていない場合は、.NET4.5.2のライセンス確認画面を表示します。「同意する」をクリックしてください。



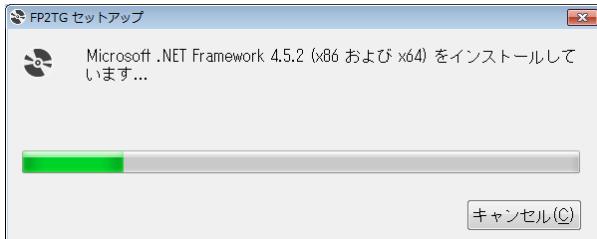
既に.NET4.5.2と.NET4.5.2 (日本語) の両方が入っている場合は、インストールをスキップして  
(4) Access database engine 2010 をインストールします。

※ユーザー アカウント制御の確認ダイアログが表示されます。  
許可が必要ですので、「はい」をクリックしてください。

## 2. インストール (Windows7 / 8.1の場合)



(3) .NET4.5.2 のインストールを開始します。



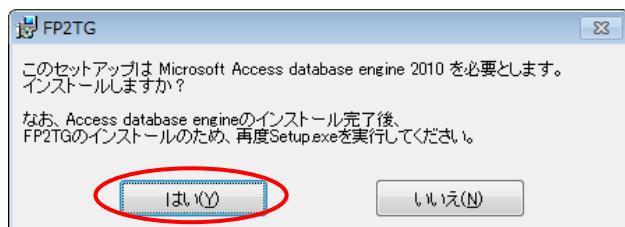
.NET4.5.2のインストール完了後に再起動が必要になった場合は、再起動後に再度「Setup.exe」を実行してください。

.NET4.5.2と.NET4.5.2（日本語）のインストールが完了すると、続いて Access database engine 2010のインストール確認画面が表示されます。

### ● Microsoft Access database engine 2010 のインストール

(4) Access database engine 2010 がインストールされていない場合は、インストールの確認画面を表示します。  
「はい」をクリックしてください。

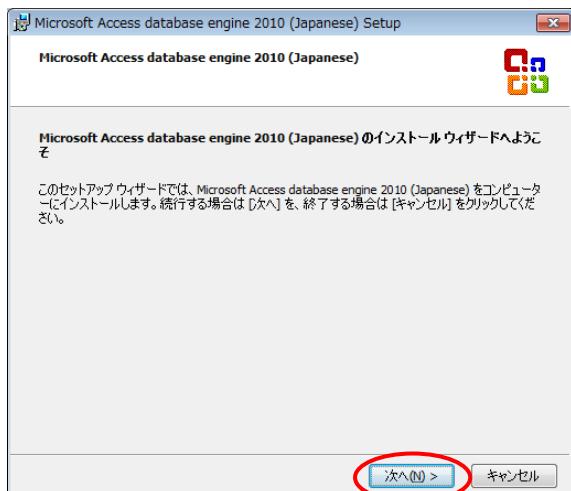
既にAccess database engine 2010 が入っている場合は、インストールをスキップして（10）のFP2TGをインストールします。



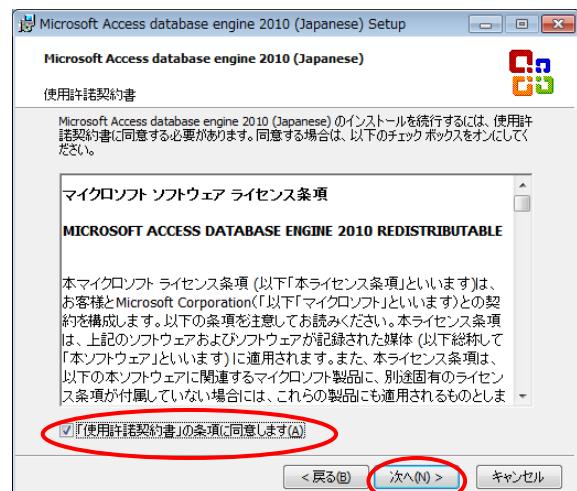
※ユーザー アカウント制御の確認ダイアログが表示されます。  
許可が必要ですので、「はい」をクリックしてください。

※ユーザー アカウント制御の確認ダイアログが表示されず、タスクバー上で盾のアイコンが点滅している場合は、そのアイコンをクリックしてください。

(5) 「次へ」をクリックしてください。



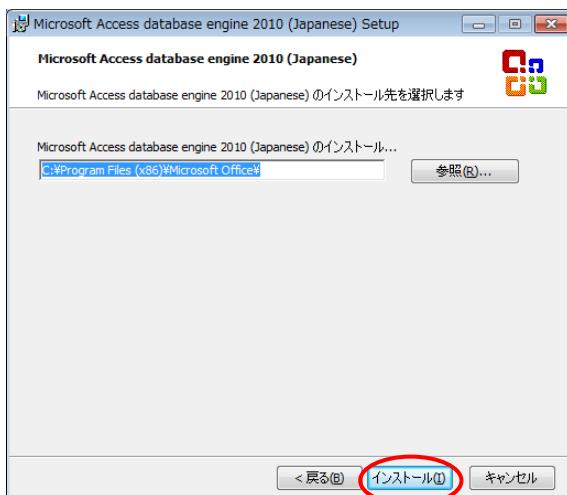
(6) ライセンス確認画面で同意のチェックを入れて、「次へ」をクリックしてください。



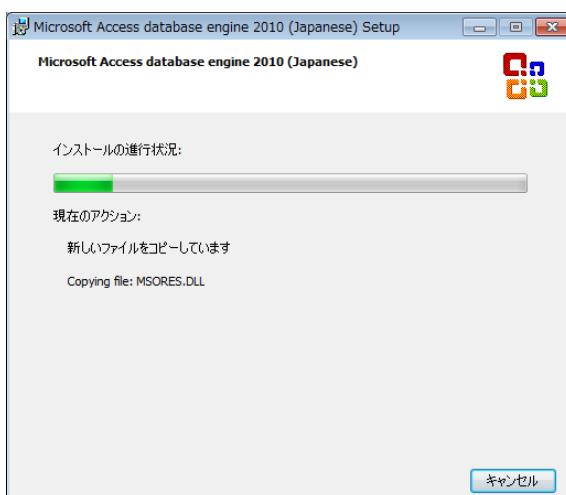
※インストール画面が表示されず、タスクバー上でセットアップのアイコンが点滅している場合は、そのアイコンをクリックしてください。

## 2. インストール (Windows7 / 8.1の場合)

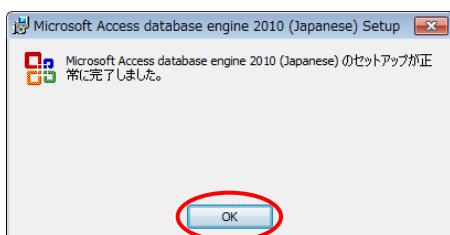
(7) 「インストール」をクリックしてください。



(8) Access database engine 2010のインストールを開始します。



(9) セットアップ完了のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックしてください。



次にFP2TGをインストールします。

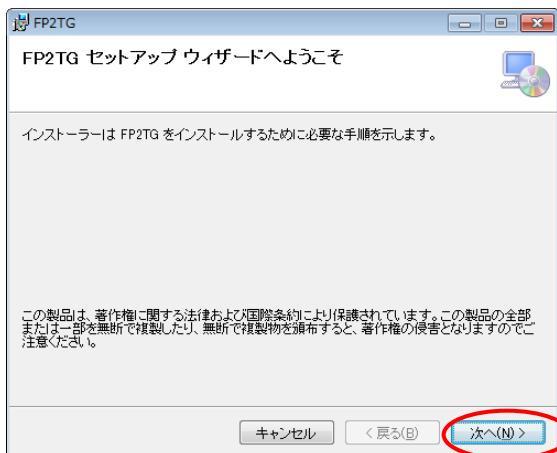
再度「**Setup.exe**」を実行してください。

## 2. インストール (Windows7 / 8.1の場合)

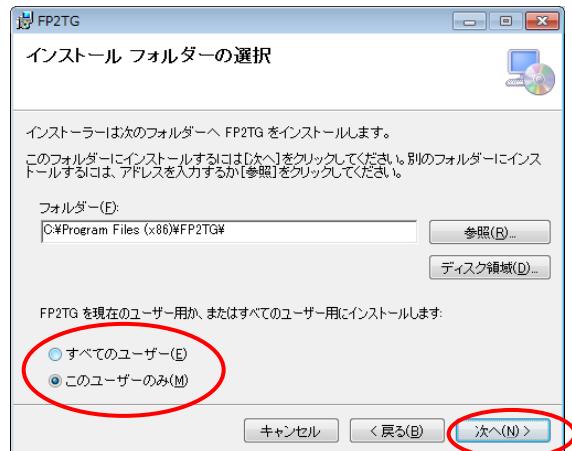
### ●FP2TG のインストール

.NET4.5.2と.NET4.5.2（日本語）またはAccess database engine 2010がインストールされていない場合は、（2）.NET4.5.2または（4）Access database engine 2010のインストール画面を表示します。

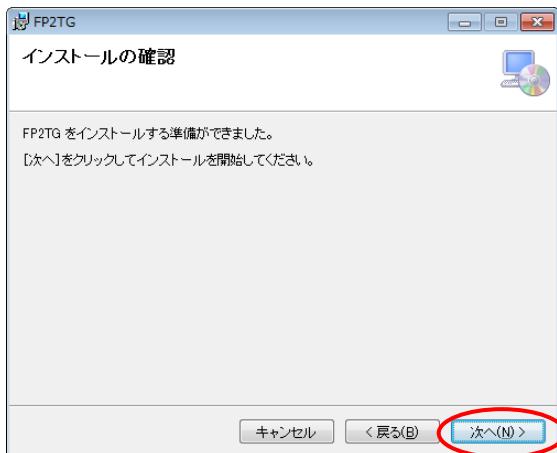
(10) FP2TGのセットアップ画面が表示されます。  
「次へ」をクリックしてください。



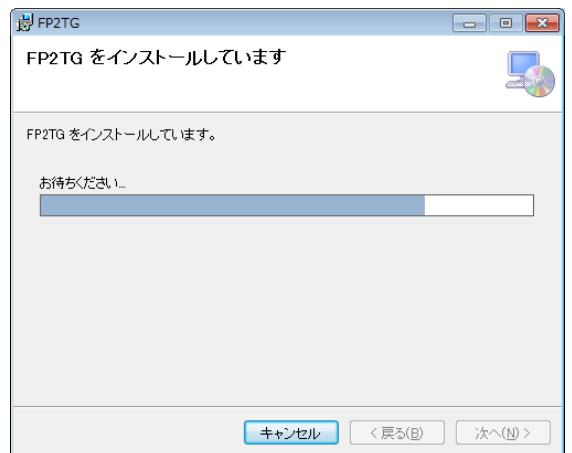
(11) 使用するユーザーの選択をして、「次へ」をクリックしてください。



(12) 「次へ」をクリックしてください。

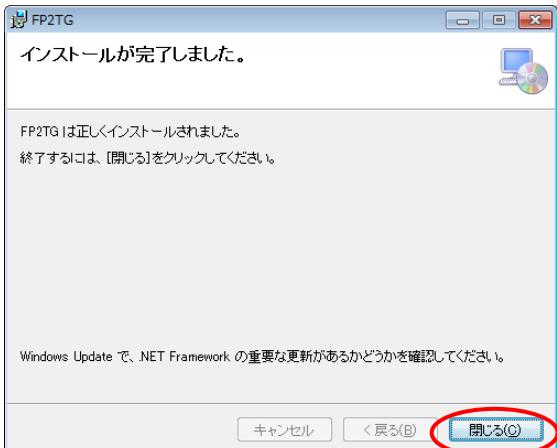


(13) FP2TGのインストールを開始します。



※ユーザーアカウント制御の確認ダイアログが表示されます。  
許可が必要ですので、「はい」をクリックしてください。

(14) 「閉じる」をクリックして完了です。



FP2TGが正しくインストールできなかった場合は、再度「Setup.exe」を実行してください。

## 2. インストール（注意事項）

### 2-4. インストール（注意事項）

#### ● Adobe Reader のインストール

FP2TGの帳票(PDF)を表示する場合は、**Adobe Acrobat Reader DC**が必要です。

お使いになるパソコンにAdobe Acrobat Reader DCがインストールされていない場合は、AdobeのWebサイトからダウンロードしてインストールしてください。

※EdgeなどのWebブラウザでPDFを開くと、レイアウトが多少ズレて表示されます。

#### ● FP2TGのバージョンアップ方法

FP2TGをバージョンアップする場合は、Setup.exeを実行してください。

すでにインストールされている古いバージョンのFP2TGを自動的にアンインストールした後、新しいバージョンのFP2TGがインストールされます。

#### ● FP2TGのアンインストール方法

FP2TGをアンインストールする場合は、「コントロールパネル」の「プログラムと機能※」を開いて表示される一覧の中から「FP2TG」をダブルクリックします。

確認ダイアログが表示されますので、「はい」を選択すると、アンインストールされます。



.Net 4.5.2、.Net 4.5.2 (日本語)、Access database engine 2010も同様の手順でアンインストール可能です。

※Windows10の場合は、FP2TGをコントロールパネルからアンインストールする方法以外に、スタートメニューの設定>アプリ>アプリと機能の画面から[FP2TG]を選択して、[アンインストール]をクリックする方法があります。

※Windows10の場合は、.NETのアンインストールはできません。（アンインストールしないでください）

※Windows8.1の場合に.NET4.5.2を削除するときは、「プログラムと機能」の「インストールされた更新プログラムを表示」を開いて表示される、(KB2934520)と(KB2934508)がそれぞれ .Net 4.5.2と. Net 4.5.2 (日本語)に対応していますので、該当のプログラムを選択して削除します。

#### ● 同じバージョンのFP2TGをインストールしようとした場合

既にFP2TGがインストールされている状態で、同じバージョンのFP2TGのインストーラを起動すると、下記画面を表示します。

何もしない場合は、「キャンセル」をクリックしてください。

FP2TGの修復、または削除を行なう場合は、いずれかを選択して「完了」をクリックしてください。



FP2TGが既にインストールされているが、Access database engine 2010がインストールされていない場合は、「◎FP2TGの修復」を選択するとSetup.exeを実行する都度、この画面の表示を繰り返します。  
「◎FP2TGの削除」を選択して削除してください。

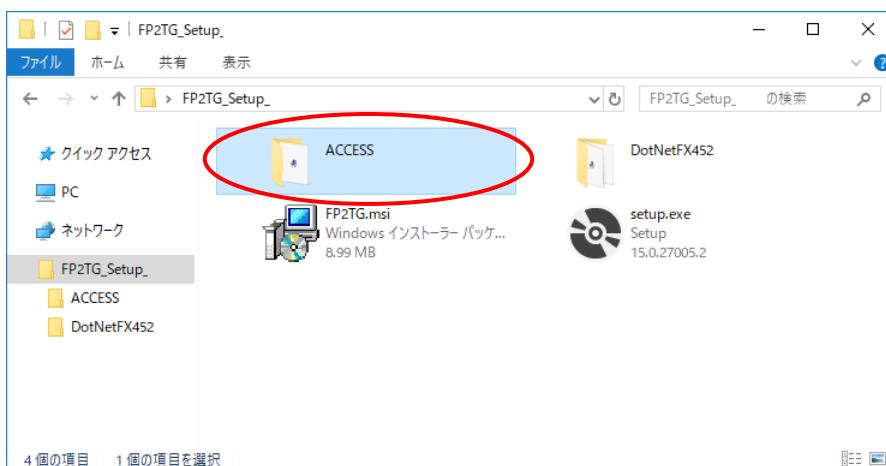
## 2. インストール（注意事項）

### ● 64bit版のオフィス製品がインストールされている場合

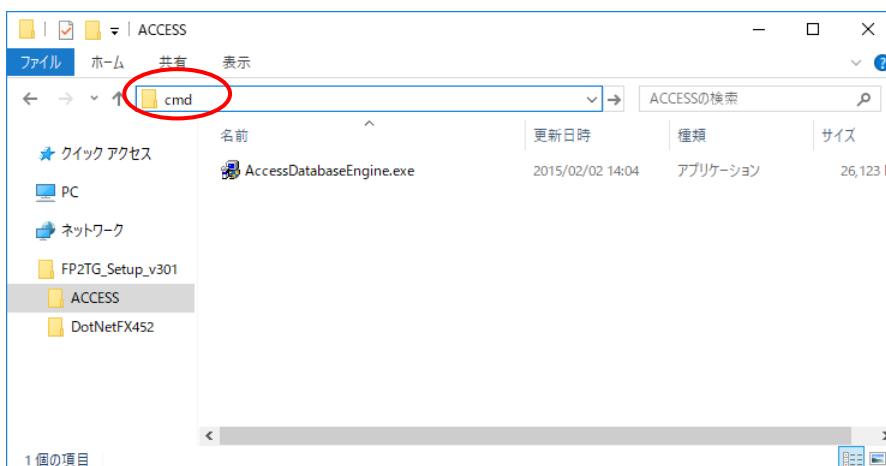
Access database engine 2010のインストール時に、以下の画面を表示して Access database engineのインストールができないことがあります。  
この場合、以下の手順でAccess database engineをインストールしてください。



(1) 「FP2TG\_Setup\_x.x.x」フォルダの中の「ACCESS」フォルダを開く。

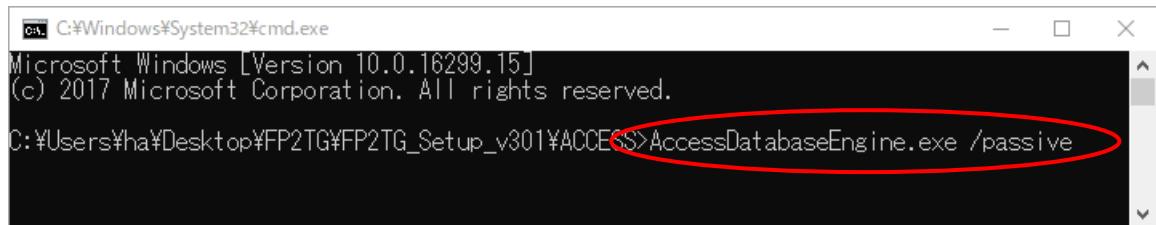


(2) アドレスバーに「cmd」と入力し、Enterキーを押下する。

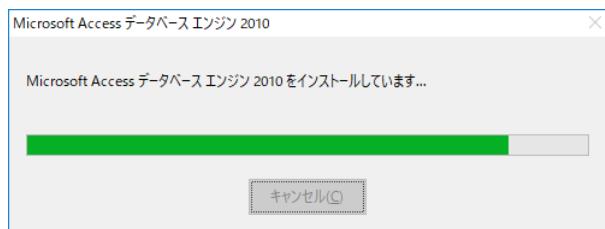


## 2. インストール (注意事項)

- (3) コマンドプロンプトが起動するので、「AccessDatabaseEngine.exe /passive」と入力し、Enterキーを押下します。

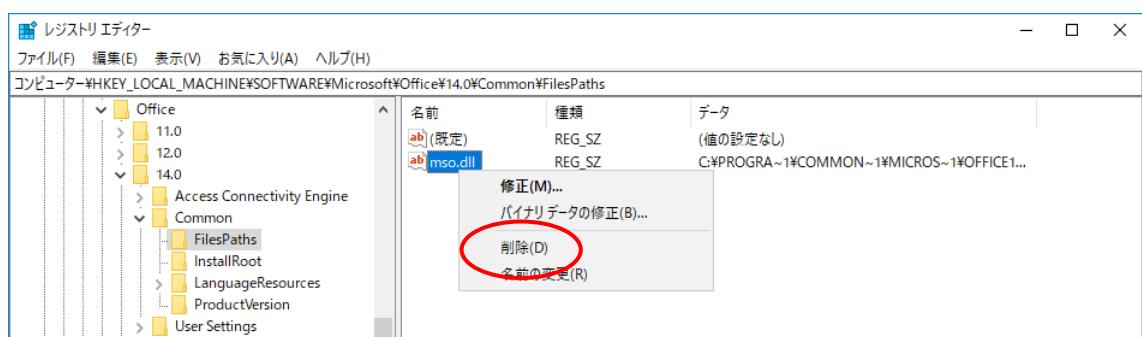


- (4) Access database engineのインストールが開始されます。



- (5) インストールが完了したら、Windowsのスタートメニューを開いて「regedit.exe」を検索ボックスに入力し、Enterキーを押下すると、レジストリエディタが開きます。

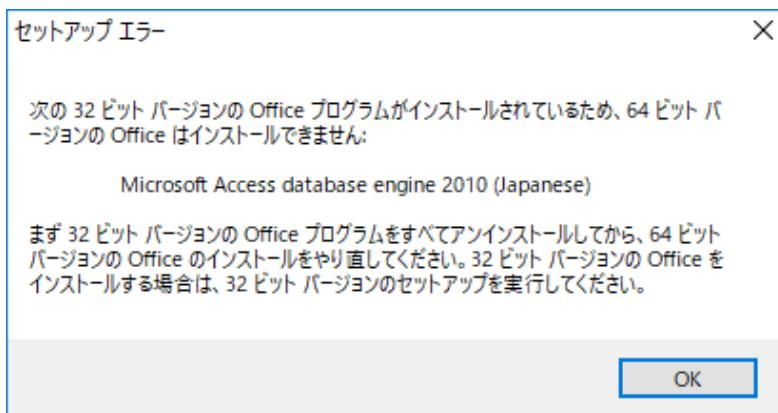
- (6) 「HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Office\14.0\Common\FilePaths」にある「mso.dll」エントリを右クリックメニューを開いて削除してから、レジストリエディタを閉じます。



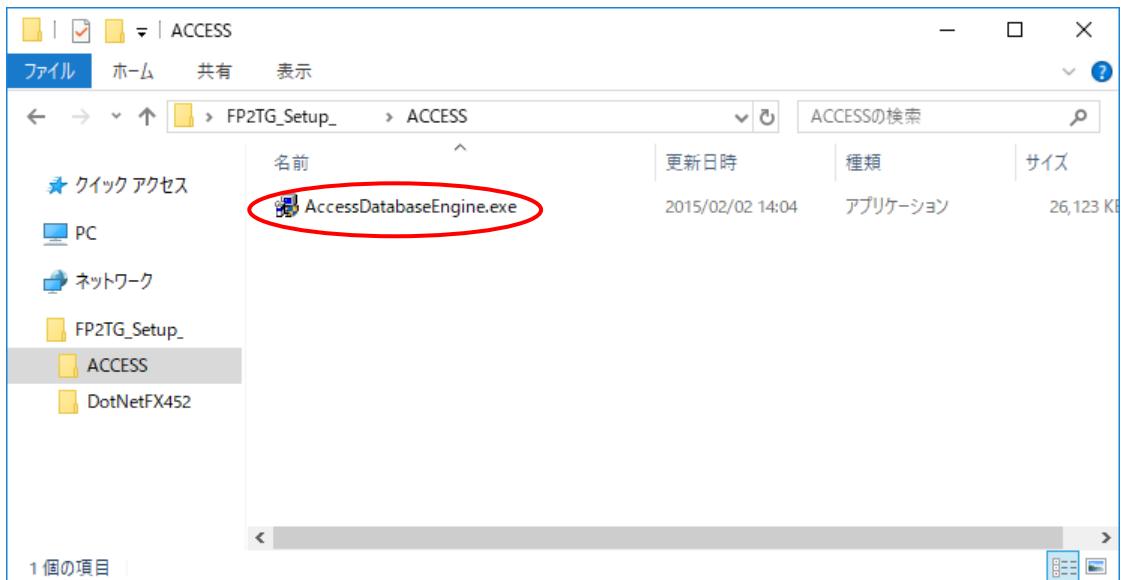
## 2. インストール（注意事項）

### ●FP2TGのインストール後に64bit版のオフィスをインストールする場合

64bit版のOfficeをインストールしようとすると、以下の画面が表示される場合があります。この場合、以下の手順でOfficeをインストールしてください。



- (1) FP2TGで使用している32bit版のAccess database engineを一旦アンインストールしないと、64bit版のOfficeがインストールできません。コントロールパネルの「プログラムと機能」からAccess database engineをアンインストールします。
- (2) Access database engineのアンインストールが完了後、Officeをインストールします。
- (3) Officeのインストールが完了したら、「FP2TG\_Setup\_x.x.x¥ACCESS」フォルダ内の「AccessDatabaseEngine.exe」を実行して、Access database engineを再インストールしてください。

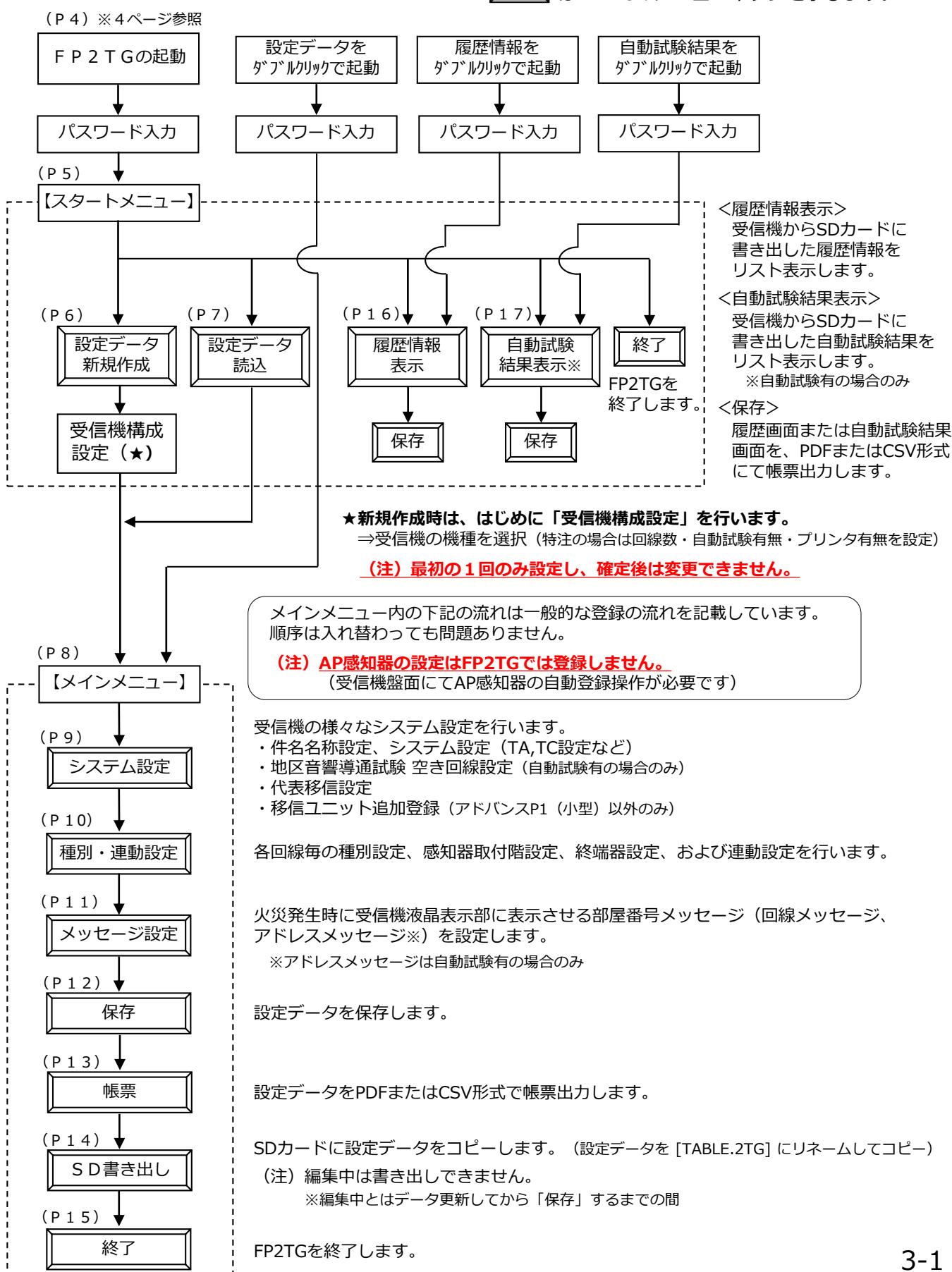


# 3. 業務の流れ

## 3-1. FP2TG操作フロー

設定データを作成するときの業務の流れを示します。

はFP2TGのメニューボタンを示します。



### 3. 業務の流れ (SDカード操作手順)

#### 3-2. SDカード操作手順：アドバンスP1（小型）の場合

SDカードを使って、パソコンと受信機の間で設定データを読み書きするときの手順を示します。  
(詳細は P 18. 付録 アドバンスP1（小型）の場合 を参照)

##### 1) FP2TGで作成した設定データを受信機に読み込む場合



##### <受信機操作手順>

- ①点検スイッチを長押し状態で、電源をONし、ソフト設定モードで起動
- ②選択スイッチ「▲」で液晶表示部に【セッティ SD ヨミコミ】を表示させ、「実行スイッチ」を押す

##### 2) 受信機内の設定データをFP2TGに読み込む場合



##### <受信機操作手順>

- ①トラブル・履歴確認スイッチを押す
- ②選択スイッチ「▲」で液晶表示部に【ソフトセッティ カクニン】を表示させ、「実行スイッチ」を押す
- ③選択スイッチ「▲」で液晶表示部に【セッティ SD カキダシ】を表示させ、「実行スイッチ」を押す

FP2TGで作成した設定データを受信機に読み込み、現場の受信機操作部で設定変更した後、その設定データを書き出して再びFP2TGで編集するなど、柔軟な対応が可能です。

##### 3) 受信機の履歴情報をFP2TGで表示する場合



##### <受信機操作手順>

- ①トラブル・履歴確認スイッチを押す
- ②選択スイッチ「▼」で液晶表示部に【リレキ SD カキダシ】を表示させ、「実行スイッチ」を押す

##### 4) 受信機の自動試験結果をFP2TGで表示する場合



##### <受信機操作手順>

- ①トラブル・履歴確認スイッチを押す
- ②選択スイッチ「▼」で液晶表示部に【ジドウシケン ケッカ SD カキダシ】を表示させ、「実行スイッチ」を押す

### 3. 業務の流れ (SDカード操作手順)

#### 3-3. SDカード操作手順：アドバンスP1（小型）以外の場合

SDカードを使って、パソコンと受信機の間で設定データを読み書きするときの手順を示します。  
(詳細は P 19. 付録 アドバンスP1（小型）以外の場合 を参照)

##### 1) FP2TGで作成した設定データを受信機に読み込む場合



##### <受信機操作手順>

- ①盤内のソフト設定スイッチを長押し状態で、電源をONし、ソフト設定モードで起動
- ②選択スイッチ「▲」で液晶表示部に【セッティ SD ヨミコミ】を表示させ、「実行スイッチ」を押す

##### 2) 受信機内の設定データをFP2TGに読み込む場合



##### <受信機操作手順>

- ①盤内のソフト設定スイッチを2秒以上長押しをして、ソフト設定確認画面を表示
- ②選択スイッチ「▲」で液晶表示部に【セッティ SD カキダシ】を表示させ、「実行スイッチ」を押す

FP2TGで作成した設定データを受信機に読み込み、現場の受信機操作部で設定変更した後、その設定データを書き出して再びFP2TGで編集するなど、柔軟な対応が可能です。

##### 3) 受信機の履歴情報をFP2TGで表示する場合



##### <受信機操作手順>

- ①履歴確認スイッチを押す
- ②選択スイッチ「▼」で液晶表示部に【リレキ SD カキダシ】を表示させ、「実行スイッチ」を押す

##### 4) 受信機の自動試験結果をFP2TGで表示する場合（自動試験有の場合のみ）



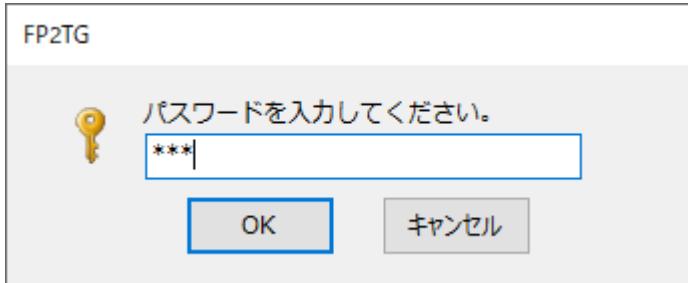
##### <受信機操作手順>

- ①履歴確認スイッチを押す
- ②選択スイッチ「▼」で液晶表示部に【ジドウシケン ケッカ SDカキダシ】を表示させ、「実行スイッチ」を押す

## 4. FP2TGの起動

Windowsを起動し、 アイコンをダブルクリックして下さい。

下記のパスワード入力画面を表示しますので、パスワードを入力して[OK]をクリックしてください。



※パスワードは pew です。

パスワードが通ると、P 5. スタートメニューを表示します。

FP2TGの起動は、データのアイコンを直接ダブルクリックする方法もあります。



設定データ (2TGファイル)

- ・設定データを開いた場合は、パスワード入力後に P 8. メインメニューを表示します。



履歴情報 (2LGファイル)

- ・履歴情報を開いた場合は、パスワード入力後に P 16. 受信機履歴画面を表示します。

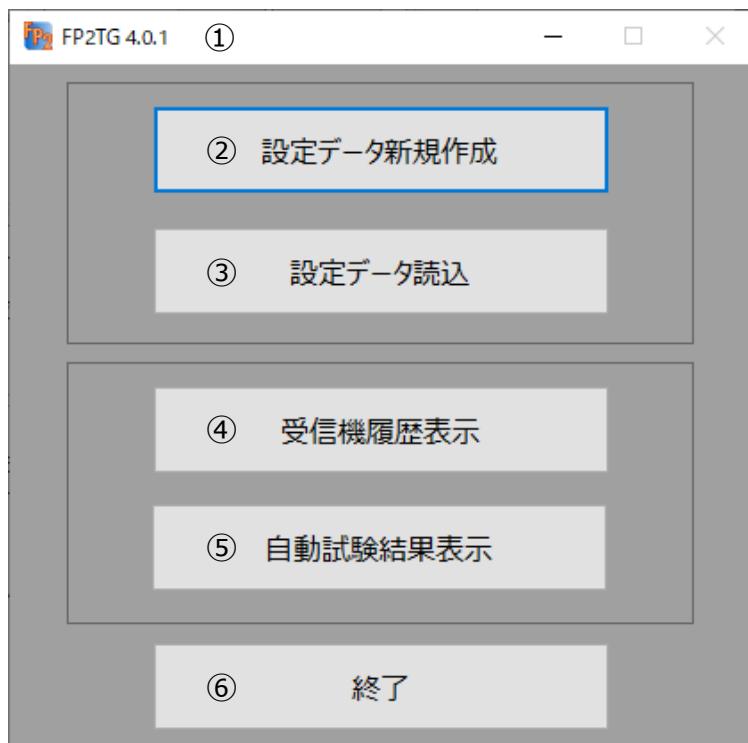


自動試験結果 (2ALファイル)

- ・自動試験結果を開いた場合は、パスワード入力後に P 17. 自動試験結果画面を表示します。

# 5. スタートメニュー

パスワードが通ると、スタートメニューを表示します。



## ①バージョン情報

FP2TGのプログラムバージョンを表示します。

## ②設定データ新規作成

設定データを新規作成します。

新規作成時は、はじめに受信機の機種を選択します。

※特注の場合は、自動試験の有無、プリンタの有無、および回線数を設定します。

(詳細は P 6 . 設定データ新規作成を参照)

## ③設定データ読み込み

設定データを読み込みます。

設定データの確認、追加、修正を行います。

(詳細は P 7 . 設定データ読み込みを参照)

## ④受信機履歴表示

受信機の履歴情報を読み込んで、履歴画面を表示します。

(詳細は P 16 . 受信機履歴表示を参照)

## ⑤自動試験結果表示

受信機の自動試験結果を読み込んで、自動試験結果画面を表示します。

(詳細は P 17 . 自動試験結果表示を参照)

## ⑥終了

FP2TGを終了します。

# 6. 設定データ新規作成（標準機種）

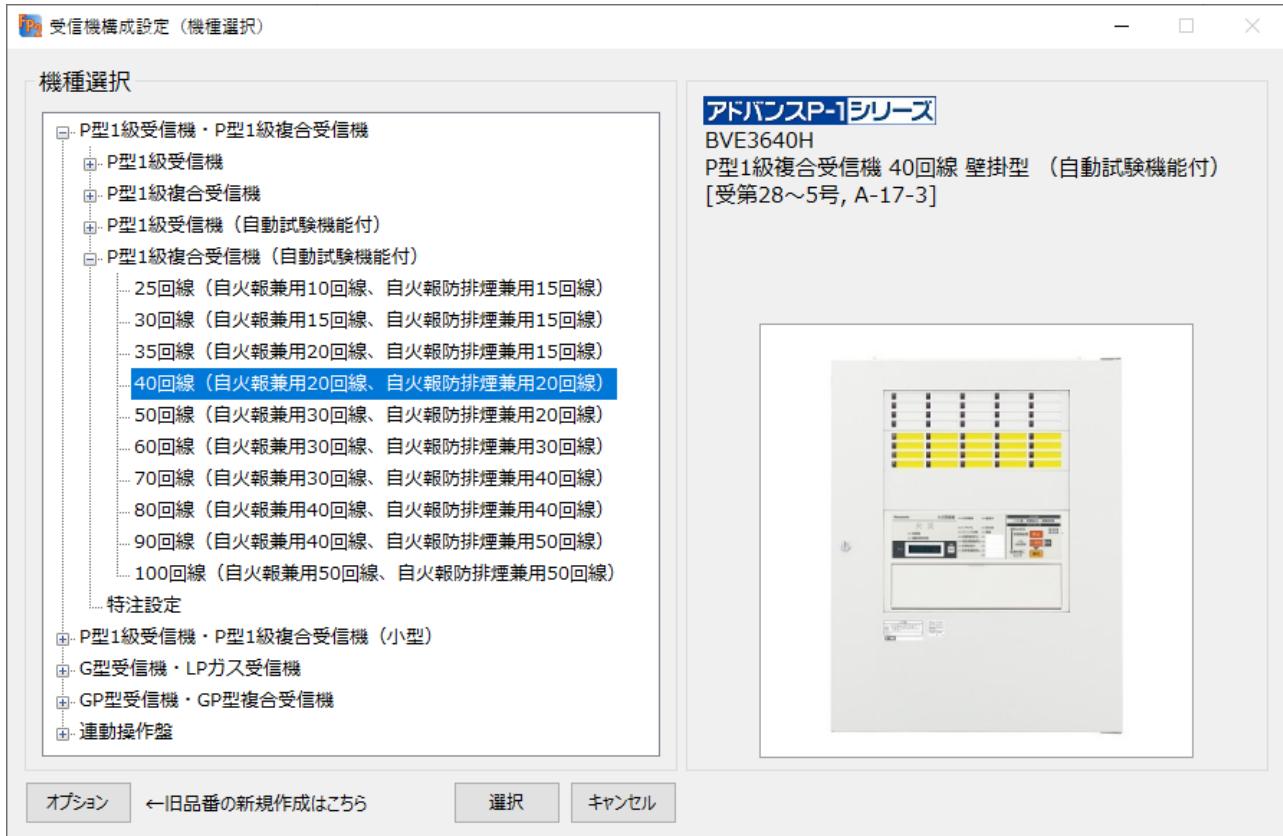
## 6-1. 設定データ新規作成（標準機種）

スタートメニューの「設定データ新規作成」をクリックすると、機種選択画面を表示します。

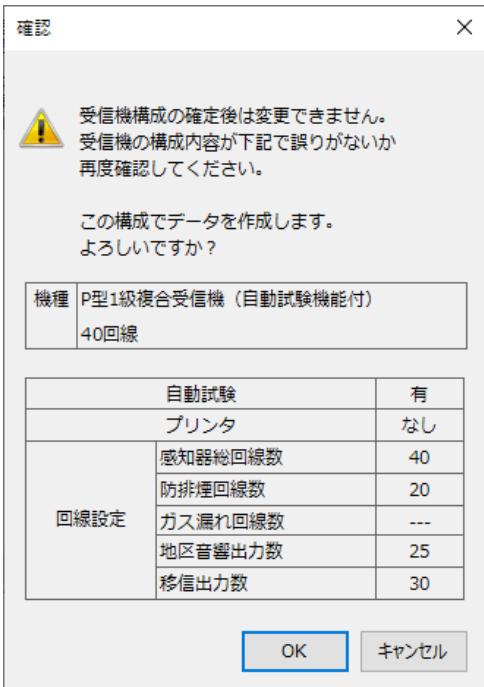
設置されている受信機の機種を選択後、「選択」ボタンをクリックすると、確認ダイアログを表示します。

決定する場合は「OK」をクリックすると、P8. メインメニューを表示します。

再度設定をやり直す場合は、「キャンセル」をクリックします。



### <確認ダイアログ>



※「地区音響出力数」と「移信出力数」により、オプションの移信ユニット追加登録数の上限が決まります。  
(P9-5.⑫オプションユニット設定参照)

※アドバンスP1（小型）の場合、移信出力数は感知器総回線数と同じ数が設定されます。  
(アドバンスP1（小型）で回線別移信出力を使用する場合は、**移信用リレーユニット（別売）**が必要です)

# 6. 設定データ新規作成 (標準機種)



**注** 受信機の機種選択は最初の1回のみ必要となり、機種の確定後は変更することができません。

設置されている受信機の機種を確認の上、間違いのないように設定してください。

もし、後で機種の変更が必要になったときは、再度新規作成（全ての設定データを最初から登録し直す）する必要がありますので、注意してください。

※受信機の機種の構成と合っていない設定データを受信機に読み込んだときは、受信機の液晶表示部にエラー「コウセイガチガイマス」を表示し、受信機に設定データを読み込みません。

※受信機の機種が異なる設定データを受信機に読み込んだときは、受信機の液晶表示部にエラー「SDカードヨミコミ Err」を表示し、受信機に設定データを読み込みません。

- ・アドバンスP1（小型）の設定データを、アドバンスP1（小型）以外の受信機に読み込んだとき
- ・アドバンスP1（小型）以外の設定データをアドバンスP1（小型）受信機に読み込んだとき
- ・テーブル構成バージョンがV4の設定データをV3以前の受信機に読み込んだとき

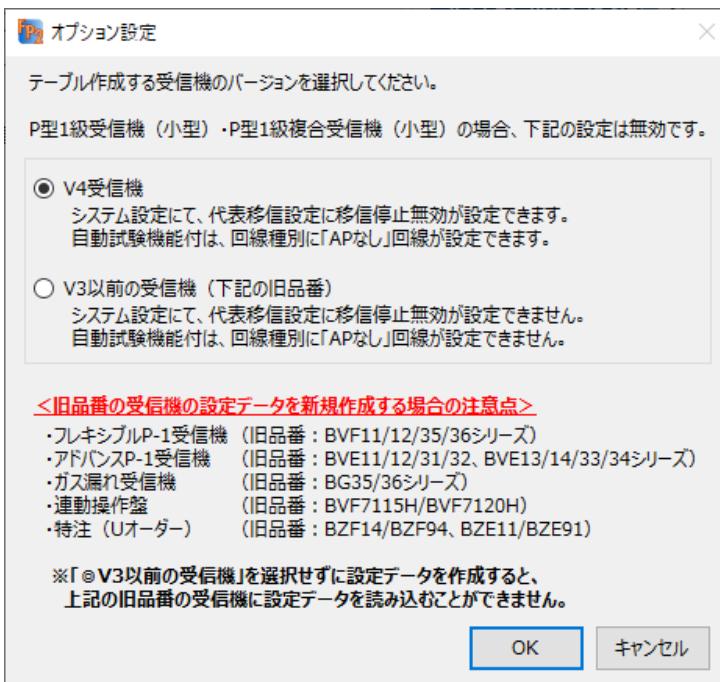


**旧品番の受信機の設定データを新規作成する場合の注意点**

- ・フレキシブルP1受信機 (旧品番：BVF11/12/35/36シリーズ)
- ・アドバンスP1受信機 (旧品番：BVE11/12/31/32, BVE13/14/33/34シリーズ)
- ・ガス漏れ受信機 (旧品番：BGJ35/36シリーズ)
- ・運動操作盤 (旧品番：BVF7115H/7120H)

FP2TG Ver4.0から設定データのデータ構造が変わりました。

このため、上記の旧品番の受信機の設定データを新規作成する場合は、予め「オプション」ボタンをクリックして「◎V3以前の受信機」（上記の旧品番）を選択してから、機種選択（機種選択画面の右側に表示される品番を確認）をしてください。



※オプション設定画面で「◎V3以前の受信機」を選択せずに設定データを作成すると、  
上記の旧品番の受信機に設定データを読み込むことができません。

※新規作成ではなく、既存の設定データをFP2TGで読み込んだときは、設定データのバージョンを自動的に判別して動作します。

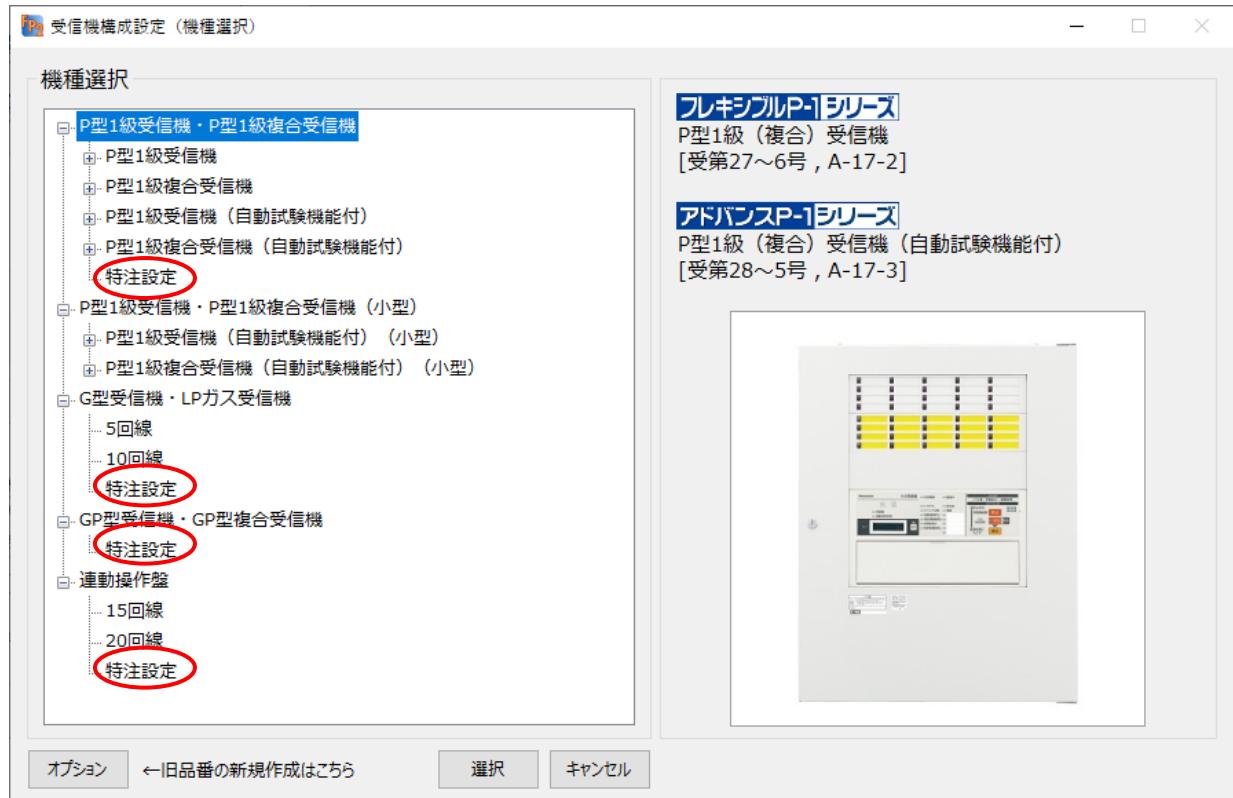
# 6. 設定データ新規作成（特注設定）

## 6-2. 設定データ新規作成（特注設定）

スタートメニューの「設定データ新規作成」をクリックすると、機種選択画面を表示します。

該当する受信機の「特注設定」を選択してください。

「特注設定」を選択後、「選択」ボタンをクリックすると、特注設定画面を表示します。



### ・P型1級受信機・P型1級複合受信機の場合

P型1級受信機・P型1級複合受信機

自動試験	なし	
プリンタ	なし	
回線設定	感知器総回線数	10
	防排煙回線数	0
	ガス漏れ回線数	---
	地区音響出力数	10
	移信出力数	30

作成 キャンセル

「感知器総回線数」は、  
「自火報兼用回線（白窓）」と  
「自火報・防排煙兼用回線（黄窓）」  
の合計の回線数です

### ・G型受信機・LPガス受信機の場合

G型受信機・LPガス受信機

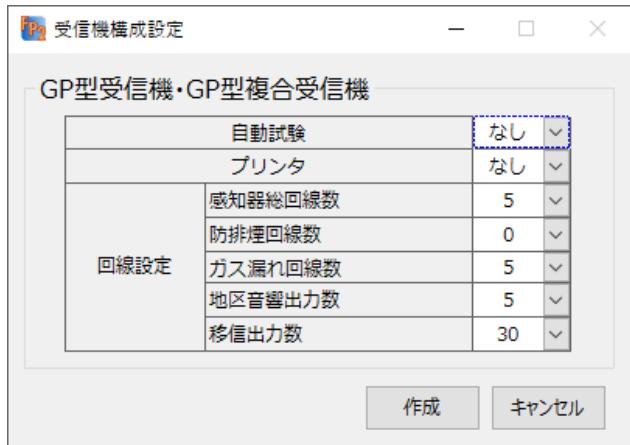
自動試験	---	
プリンタ	---	
回線設定	感知器総回線数	---
	防排煙回線数	---
	ガス漏れ回線数	5
	地区音響出力数	---
	移信出力数	30

作成 キャンセル

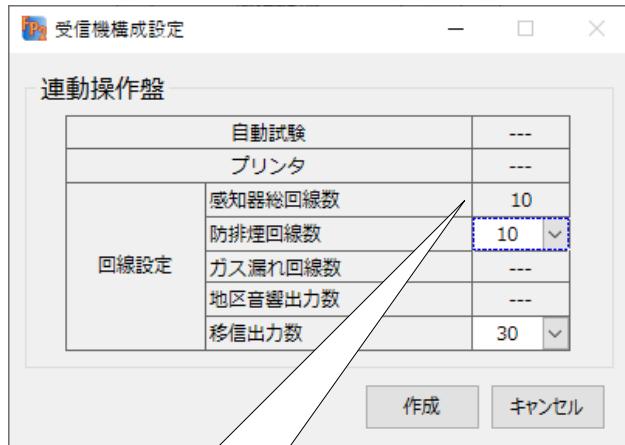
「防排煙回線数」は、  
「自火報・防排煙兼用  
回線（黄窓）」  
の回線数です

## 6. 設定データ新規作成（特注設定）

- GP型受信機・GP型複合受信機の場合



- 連動操作盤の場合



「感知器総回線数」には、  
「防排煙回線数」に設定  
した値が設定されます

設置されている受信機のハード構成(ユニット構成)を確認の上、自動試験の有無、プリンタの有無、および回線数を設定してください。

※「地区音響出力数」と「移信出力数」により、オプションの移信ユニット追加登録数の上限が決まります。  
(P9-5.⑪オプションユニット設定参照)

※回線数の設定は、現地設定変更後の各回線数ではなく、元々の受信機のハード構成（ユニット構成）での各回線数を設定してください。

「作成」をクリックすると、設定内容に間違いがないかエラー検出を行いますので、エラーがなくなるように設定内容を修正してください。

以下のエラー条件に当てはまる場合は、**!** アイコンを該当箇所に表示します。  
ここにマウスカーソルを合わせて、エラー内容を確認してください。

- (1) **!** 感知器総回線数を超えてます。  
(エラー条件) 感知器総回線数より防排煙回線数が多い
- (2) **!** 自火報兼用回線が登録されていません。  
(エラー条件) 自火報兼用回線がない (感知器総回線数 - 防排煙回線数が 0 )
- (3) **!** 地区音響ユニット数と移信ユニット数の合計が10ユニットを超えてます。  
(エラー条件) 地区音響ユニットと移信ユニットの合計が10を超えている
- (4) **!** 地区音響出力数が感知器総回線数と異なります。  
(エラー条件) 地区音響出力数が感知器総回線数と異なる (感知器総回線数が10,15,20の場合)
- (5) **!** 地区音響出力数が25未満です。  
(エラー条件) 地区音響出力数が25未満 (感知器総回線数が25以上の場合)
- (6) **!** 自動試験「なし」、プリンタ「有」は設定できません。  
(エラー条件) 自動試験なし設定にプリンタが登録されている。
- (7) **!** 感知器総回線数とガス漏れ回線数の合計が130を超えてます。  
(エラー条件) 感知器総回線数とガス漏れ回線数の合計が130を超えている

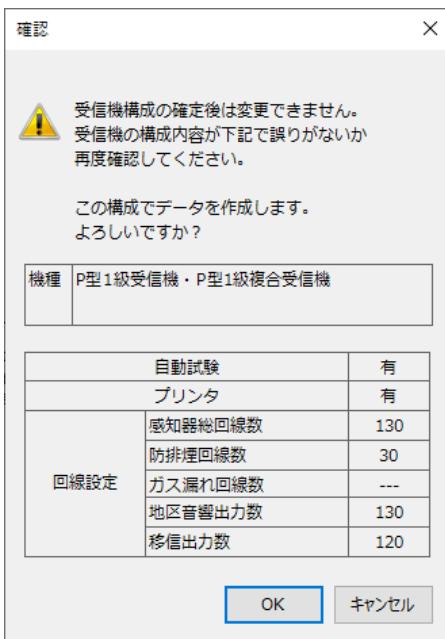
# 6. 設定データ新規作成（特注設定）

エラーがなくなれば、確認ダイアログを表示します。

決定する場合は「OK」をクリックすると、P8. メインメニューを表示します。

再度設定をやり直す場合は、「キャンセル」をクリックします。

<特注設定の確認ダイアログ>



特注時の受信機の構成（自動試験設定、プリンタ設定、回線設定）は最初の1回のみ必要となり、機種の確定後は変更することができません。

設置されている受信機の構成を確認の上、間違いないように設定してください。

もし、後で受信機の構成の変更が必要になったときは、再度新規作成（全ての設定データを最初から登録し直す）する必要がありますので、注意してください。

※受信機の構成と合っていない設定データを受信機に読み込んだときは、受信機の液晶表示部にエラー「コウセイガチガイマス」が表示され、受信機に設定データを読み込みません。

※受信機の機種が異なる設定データを受信機に読み込んだときは、受信機の液晶表示部にエラー「SDカードヨミコミ Err」を表示し、受信機に設定データを読み込みません。  
・テーブル構成バージョンがV4の設定データをV3以前の受信機に読み込んだとき



旧品番の受信機の設定データを新規作成する場合の注意点

- ・Uオーダー（旧品番：BZF14/94, BZE11/91）

旧品番の特注受信機の設定データを新規作成する場合は、予め「オプション」ボタンをクリックして「◎V3以前の受信機」を選択してから、「特注設定」を選択してください。

※オプション設定画面で「◎V3以前の受信機」を選択せずに設定データを作成すると、上記の旧品番の受信機に設定データを読み込むことができません。

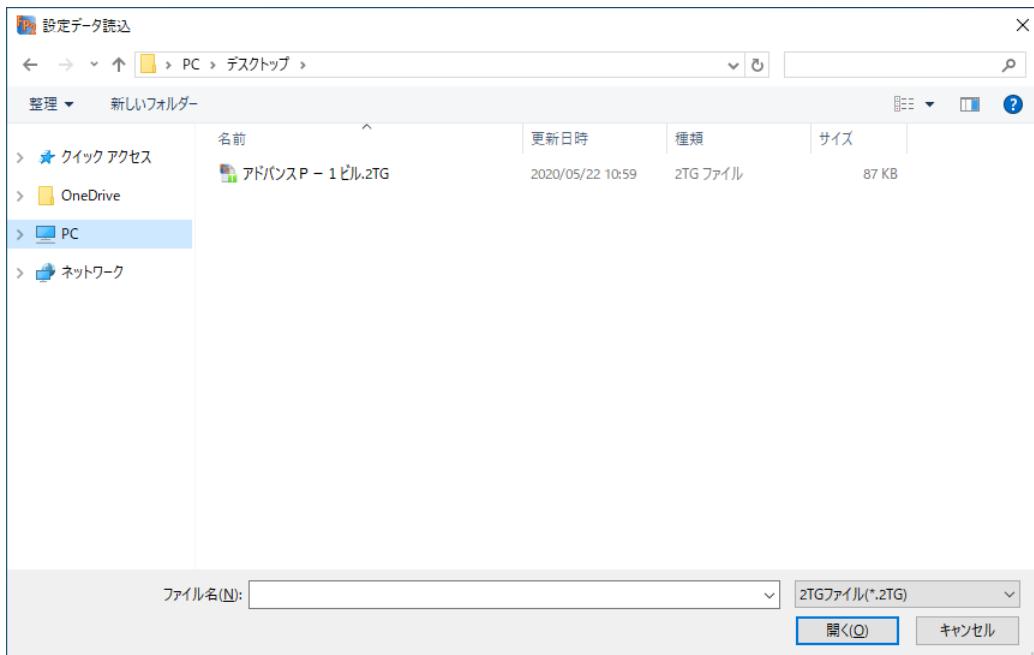
## 7. 設定データ読込 (設定データの変更・確認)

スタートメニューの「設定データ読込」をクリックすると、ファイル選択画面を表示します。

FP2TG設定データファイル（拡張子が“2TG”）を選択して「開く」をクリックすると、件名データを読み込み後、P 8. メインメニューを表示します。

※ファイル選択画面は、デスクトップをデフォルトで選択します。

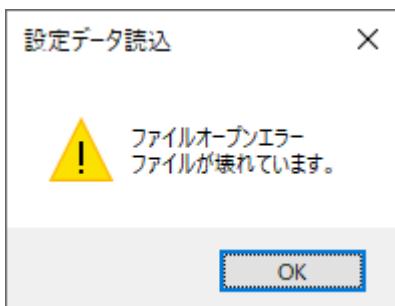
<ファイル選択画面>



設定データが異常の場合は、ファイルオープンエラーのダイアログを表示します。

※FP2TG Ver1.0/2.0/3.0にテーブル構成バージョンがV4の設定データを読み込んだときも、下記のエラーが出ます。

<設定データが異常の場合>

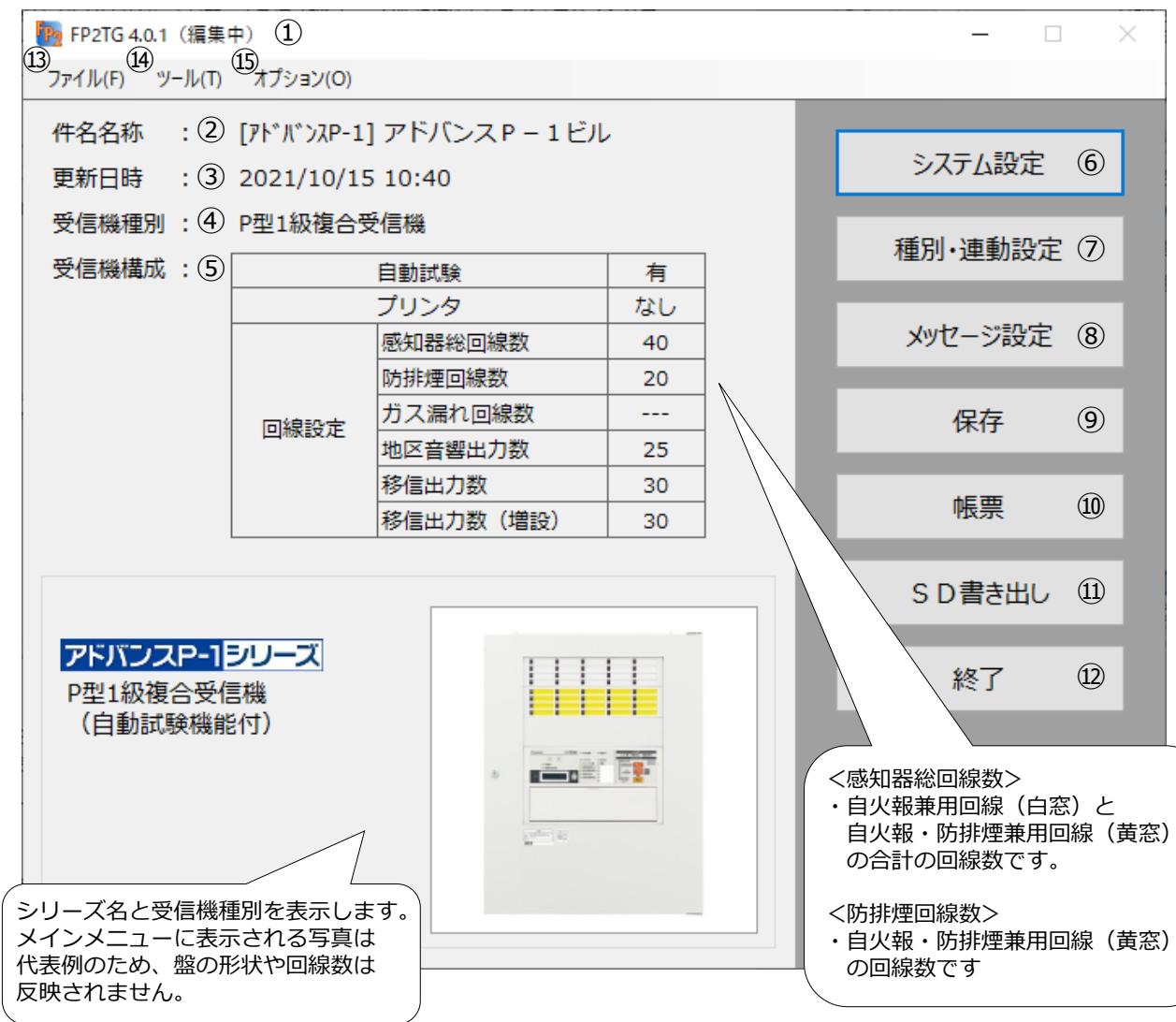


設定データの読み込みは、設定データのアイコン  (2TGファイル) をダブルクリックして開くこともできます。

# 8. メインメニュー

スタートメニューの「設定データ読込」をクリックすると、設定データのファイル選択画面が開きます。設定データのファイル（拡張子が“2TG”）を選択して、「開く」をクリックすると、メインメニューを表示します。（詳細はP 7. 設定データ読込を参照）

※設定データファイルを直接ダブルクリックして起動、または「設定データ新規作成」で回線設定が完了したときにもメインメニューを表示します。（P 3 - 1. FP2TG操作フローを参照）



## ①タイトル

設定ツールの名称 [FP2TG]、バージョンを表示します。

設定データ編集中の場合は、末尾に（編集中）を表示します。

※⑨「保存」をクリックして設定データを保存すると、（編集中）表示が消えます。

## ②件名名称

件名名称を表示します。

件名名称の登録はP 9. システム設定画面で行います。

## ③更新日時

設定データの更新時（⑥⑦⑧の各設定画面内で「登録」をクリックしたとき）に更新日時を更新します。

# 8. メインメニュー

## ④受信機種別

受信機種別を表示します。

「P型1級受信機」「P型1級複合受信機」

「P型1級受信機（小型）」「P型1級複合受信機（小型）」

「G型受信機・LPガス受信機」

「GP型受信機」「GP型複合受信機」

「連動操作盤」

## ⑤受信機構成

「新規作成」時に設定した受信機構成を表示します。

※受信機構成の確定後は変更できません。

### アドバンスP1（小型）の場合

<地区音響出力数>

- ・自火報・防排煙兼用回線（黄窓）を「防排煙感知器」「防排煙感知器（APなし）」以外に設定した場合は、地区音響出力数が増加します。

<移信出力数>

- ・移信出力数には、感知器総回線数と同じ数が設定されます。

※回線別移信出力は、移信用リレーユニット（別売）が必要です。  
(副受信機（別売）にも同様)

## ⑥システム設定

システム設定、代表移信などの設定を行います。（詳細は P 9. システム設定を参照）

## ⑦種別・連動設定

回線毎の種別設定および連動設定を行います。（詳細は P 10. 種別・連動設定を参照）

## ⑧メッセージ設定

火災発生時に受信機液晶表示部に表示させる部屋番号メッセージの設定を行います。

（詳細は P 11. メッセージ設定を参照）

## ⑨保存

設定データを保存します。（詳細は P 12. 保存を参照）

## ⑩帳票

設定データをPDFまたはCSV形式で帳票出力します。（詳細は P 13. 帳票を参照）

## ⑪SD書き出し

設定データをパソコンからSDカードに書き出します。（詳細は P 14. SD書き出しを参照）

## ⑫終了

FP2TGを終了します。（詳細は P 15. 終了を参照）

# 8. メインメニュー

## ⑬ファイルメニュー

「保存」「帳票」「SD書き出し」「終了」から選択します。  
(メインメニュー画面の各種ボタンを押したときと同じです)

## ⑭ツールメニュー

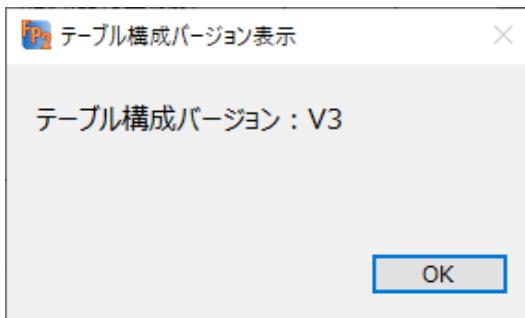
「システム設定」「種別・運動設定」「メッセージ設定」から選択します。  
(メインメニュー画面の各種ボタンを押したときと同じです)

## ⑮オプションメニュー

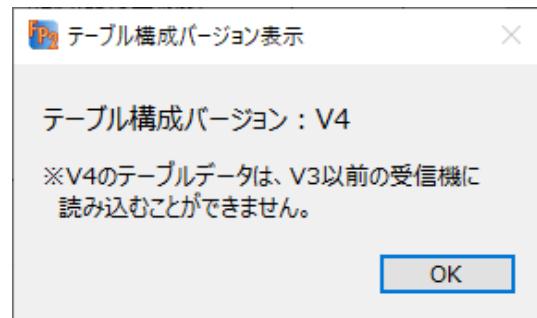
### ●テーブル構成バージョン表示

編集中の設定データのテーブル構成バージョンを表示します。

<テーブル構成バージョンがV3の時>



<テーブル構成バージョンがV4の時>



### ●テーブル構成バージョン更新

「テーブル構成バージョン更新」は選択できません。



#### テーブル構成バージョンの更新方法について

- 旧品番の受信機を故障等により、新しい受信機に置き換えた場合は、既存の設定データ（テーブル構成バージョンがV3）を新しい受信機に読み込んだときに、設定データのテーブル構成バージョンがV4に自動的に更新されます。
- V4に更新された設定データを受信機からSDカードに書き出して、FP2TGに読み込むと、APなし回線の設定、および移信停止無効の設定が可能になります。

# 9. システム設定

メインメニューの「システム設定」をクリックすると、システム設定画面を表示します。

The screenshot shows the 'System Setting' window with several tabs and sections:

- 件名名称 ①**: Displays two entries: 'アドバンスP-1' (半角) and 'アドバンスP-1ビル' (全角).
- システム設定**: A large section containing various configuration items:
  - 自動解除時間(TA)設定: 2分
  - 一斉鳴動時間(TC)設定: 4分
  - 発報場所音声設定: 場所音声なし
  - 音量開始音・遅延開始音設定: なし
  - 移信停止設定: 移信停止スイッチ (未使用)
  - オプション: スイッチ1→Fa1 (未使用), スイッチ2→Fa2 (未使用), スイッチ3→Fa3 (未使用), スイッチ4→Fa4 (未使用), スイッチ5→Fa5 (未使用)
  - 定期試験開始時刻設定: 11 時 00 分
  - 非常放送/地区音響切替設定: ---
- 代表移信設定 ⑪**: A table showing representation settings for various alarm types across five output ports (Fa1 to Fa5). Most entries show 'OFF' for all ports.
- オプションユニット設定 ⑫**: Shows the number of additional units registered (0).
- メモ ⑬**: An empty text area for notes.
- 操作按钮**: Includes '登録' (Register) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

## ①件名名称

件名名称を登録します。

[半角10文字] 受信機表示用、[全角16文字] ツール表示用

## ②自動解除時間 (TA) 設定 (\*は初期値)

火災発生時の地区音響停止を自動的に解除する時間を設定します。

「\*2分」「4分」「6分」「8分」から選択

※G型受信器・LPガス受信機、連動操作盤の場合は設定不可。

## ③一斉鳴動移行時間 (TC) 設定 (\*は初期値)

火災発生時の地区音響が区分鳴動から一斉鳴動に切り替わるまでの時間を設定します。

「\*4分」「6分」「8分」「10分」「OFF」から選択 ※TA≤TCとなるように設定してください。

※G型受信器・LPガス受信機、連動操作盤の場合は設定不可。

## ④発報場所音声設定 (\*は初期値)

火災発生時に鳴動させる音響の種類を設定します。

「フロア音声」「回線音声」「\*場所音声なし」

「音声なし」から選択

※FP2TG Ver4.0から初期値を「場所音声なし」に変更。

フロア音声	警報音+フロア音声+ガイダンス音声
回線音声	警報音+回線音声+ガイダンス音声
場所音声なし	警報音+ガイダンス音声（場所音声なし）
音声なし	警報音のみ（トラブル詳細音声なし）

G型受信器・LPガス受信機の場合は、設定項目の名称と選択肢が異なります。

## 警報音声設定

「\*有」「なし」から選択

有	警報音+ガイダンス音声
なし	警報音のみ（トラブル詳細音声なし）

# 9. システム設定

## ⑤蓄積開始音設定 (\*は初期値)

蓄積開始の音響の有無を設定します。

「有」 「\*なし」 を選択

## ⑥移信停止設定 (\*は初期値)

回線別移信(In-Ic)がどのスイッチで停止するかを設定します。

「\*移信停止スイッチ」 「非常放送連動停止スイッチ」 「オプションスイッチ1～5」 から選択

※この設定を行っても、代表移信(Fa)の出力状態に影響はありません。

※プリンタ有の場合、「オプションスイッチ5」はプリンタ停止専用スイッチとなるため選択不可。

※G型受信器・LPガス受信機、連動操作盤の場合、「非常放送連動停止スイッチ」は選択不可。

※アドバンスP1（小型）の場合、オプションスイッチは1～4。

## ⑦オプションスイッチ設定 (\*は初期値)

オプションスイッチ1～5による代表移信への制御方法を設定します。

「\*未使用」 「連動停止」 「ON制御」 から選択

※オプションスイッチ1～5は、代表移信出力端子(Fa1～Fa5)に対応しています。

※プリンタ有の場合、「オプションスイッチ5」はプリンタ停止専用スイッチとなるため設定不可。

※アドバンスP1（小型）の場合、オプションスイッチは1～4。

## ⑧定時試験開始時刻設定

定時試験を開始する時刻を設定します。

時：[00]～[23] から選択（初期値：[11]）

分：[00]～[59] から選択（初期値：[00]）

※自動試験なしの場合は、設定された時刻に受信機の自己試験を行います。

## ⑨非常放送/地区音響切替設定 (\*は初期値)

EA/B端子の用途を選択します。

「\*地区音響」 「非常放送」 から選択

※アドバンスP1（小型）の場合、FP2TGにて設定します。

※アドバンスP1（小型）以外の場合、受信機の地区音響／非常放送切替コネクタで設定します。

## ⑩地区音響導通試験 空き回線設定 （自動試験有の場合のみ）

地区音響回線において、導通試験を行わない回線

（終端器が接続されていない回線）を設定します。

一斉鳴動出力(BL+)、区分鳴動出力(Bn)の

チェック有無を設定 ※n=1～地区音響出力数

□ 「チェックあり」 （導通試験あり）

□ 「チェックなし」 （導通試験なし：空き回線）

※チェックなし（空き回線）に設定した場合、

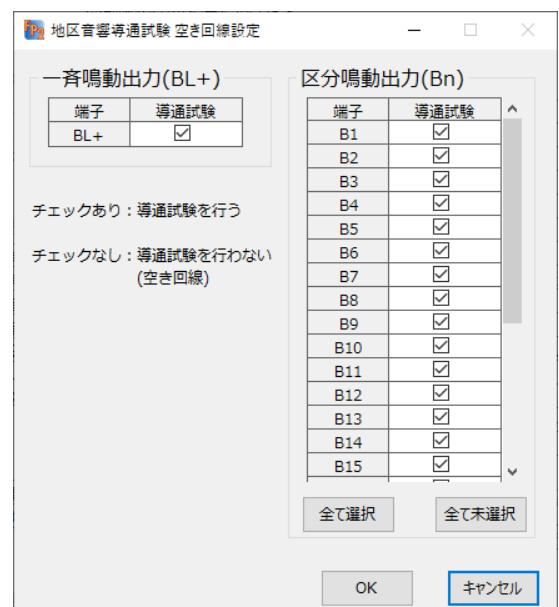
その回線の断線・短絡検出は行わなくなります。

※チェックなし（空き回線）に設定した場合でも、

その回線への地区音響出力は行います。

※初期値は全て「チェックあり」。

※自動試験なしの場合は、設定できません。



<アドバンスP1（小型）の場合の動作>

・「非常放送/地区音響切替設定」を「非常放送」に設定すると、区分鳴動出力(Bn)は全て設定不可になります。

・種別・連動設定画面にて回線種別を「防排煙感知器」

または「防排煙感知器(A Pなし)」に設定すると、その回線(Ln)のBnは設定不可になります。

# 9. システム設定

## ⑪代表移信設定 (Fa1~Fa5) (\*は初期値)

代表移信を出力するための条件を設定します。

[OFF] [ON]を選択 ※判別しやすいようにOFFはグレー、ONは黒にしました

### ・P型1級受信機・P型1級複合受信機の場合

代表移信名称	設定内容				
	Fa1	Fa2	Fa3	Fa4	Fa5
自火報回線火災代表	[OFF] *[ON]				
非常放送火災確認	*[OFF] [ON]				
警報代表	*[OFF] [ON]				
トラブル代表	*[OFF] [ON]				
防排煙監視代表	*[OFF] [ON]				
防排煙回線火災代表	[OFF] *[ON]				
スプリンクラー代表	*[OFF] [ON]				
復旧スイッチ	*[OFF] [ON]				
移信停止スイッチ	*[OFF] [ON]				
非常放送連動停止スイッチ	*[OFF] [ON]				
スイッチ注意灯	*[OFF] [ON]				
ガス漏れ代表	---	---	---	---	---
ガス漏れ警報器故障代表	---	---	---	---	---
移信停止無効	*[OFF] [ON]				

※防排煙監視代表、防排煙回線火災代表は複合受信機のみ。

※移信停止無効は下記の受信機では設定不可

フレキシブルP1 : BVF11/BVF12/BVF35/BVF36シリーズ

アドバンスP1 : BVE11/BVE12/BVE31/BVE32, BVE13/BVE14/BVE33/BVE34シリーズ

### ・G型受信機・LPガス受信機の場合

代表移信名称	設定内容				
	Fa1	Fa2	Fa3	Fa4	Fa5
自火報回線火災代表	---	---	---	---	---
非常放送火災確認	---	---	---	---	---
警報代表	*[OFF] [ON]				
トラブル代表	*[OFF] [ON]				
防排煙監視代表	---	---	---	---	---
防排煙回線火災代表	---	---	---	---	---
スプリンクラー代表	---	---	---	---	---
復旧スイッチ	---	---	---	---	---
移信停止スイッチ	*[OFF] [ON]				
非常放送連動停止スイッチ	---	---	---	---	---
スイッチ注意灯	*[OFF] [ON]				
ガス漏れ代表	[OFF] *[ON]	[OFF] *[ON]	[OFF] *[ON]	[OFF] *[ON]	*[OFF] [ON]
ガス漏れ警報器故障代表	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	[OFF] *[ON]
移信停止無効	*[OFF] [ON]				

※移信停止無効はBGJ35/BGJ36シリーズでは設定不可

# 9. システム設定

- ・GP型受信機・GP型複合受信機の場合

代表移信名称	設定内容				
	Fa1	Fa2	Fa3	Fa4	Fa5
自火報回線火災代表	[OFF] *[ON]	[OFF] *[ON]	[OFF] *[ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]
非常放送火災確認	*[OFF] [ON]				
警報代表	*[OFF] [ON]				
トラブル代表	*[OFF] [ON]				
防排煙監視代表	*[OFF] [ON]				
防排煙回線火災代表	[OFF] *[ON]	[OFF] *[ON]	[OFF] *[ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]
スプリンクラー代表	*[OFF] [ON]				
復旧スイッチ	*[OFF] [ON]				
移信停止スイッチ	*[OFF] [ON]				
非常放送連動停止スイッチ	*[OFF] [ON]				
スイッチ注意灯	*[OFF] [ON]				
ガス漏れ代表	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	[OFF] *[ON]	*[OFF] [ON]
ガス漏れ警報器故障代表	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	[OFF] *[ON]
移信停止無効	*[OFF] [ON]				

※防排煙監視代表、防排煙回線火災代表は複合受信機のみ。

※移信停止無効はBZE11/BZE91,BZF14/BZF94では設定不可

- ・連動操作盤の場合

代表移信名称	設定内容				
	Fa1	Fa2	Fa3	Fa4	Fa5
自火報回線火災代表	---	---	---	---	---
非常放送火災確認	---	---	---	---	---
警報代表	*[OFF] [ON]				
トラブル代表	*[OFF] [ON]				
防排煙監視代表	*[OFF] [ON]				
防排煙回線火災代表	[OFF] *[ON]				
スプリンクラー代表	---	---	---	---	---
復旧スイッチ	*[OFF] [ON]				
移信停止スイッチ	*[OFF] [ON]				
非常放送連動停止スイッチ	---	---	---	---	---
スイッチ注意灯	*[OFF] [ON]				
ガス漏れ代表	---	---	---	---	---
ガス漏れ警報器故障代表	---	---	---	---	---
移信停止無効	*[OFF] [ON]				

※移信停止無効はBVF7115H/BVF7120Hでは設定不可

# 9. システム設定

## ・アドバンスP1（小型）の場合

代表移信名称	設定内容				
	Fa1	Fa2	Fa3	Fa4	Fa5
自火報回線火災代表	[OFF] *[ON]	[OFF] *[ON]	[OFF] *[ON]	[OFF] *[ON]	---
非常放送火災確認	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	---
警報代表	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	---
トラブル代表	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	---
防排煙監視代表	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	---
防排煙回線火災代表	[OFF] *[ON]	[OFF] *[ON]	[OFF] *[ON]	[OFF] *[ON]	---
スプリンクラー代表	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	---
復旧スイッチ	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	---
移信停止スイッチ	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	---
非常放送連動停止スイッチ	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	---
スイッチ注意灯	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	---
ガス漏れ代表	---	---	---	---	---
ガス漏れ警報器故障代表	---	---	---	---	---
移信停止無効	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	*[OFF] [ON]	---

移信停止スイッチで、代表移信出力を停止しない設定ができます。

※防排煙監視代表、防排煙回線火災代表は複合受信機のみ。

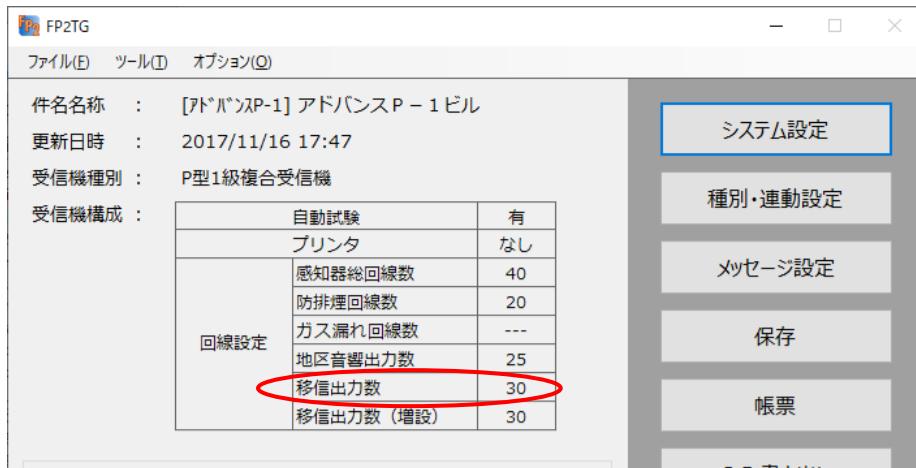
## ⑫オプションユニット設定（移信ユニット追加登録） (\*は初期値)

別売の移信ユニット（移信用リレーユニット）を受信機設置後に現場で増設したときに、そのユニット数を設定します。

「\*0」～「9」から選択（移信ユニットと地区音響ユニットの合計は最大10まで）

※「1」以上に設定した場合、メインメニュー画面の受信機構成一覧の最下行に「移信出力数（増設）」を表示します。（回線数を表示：1ユニット30回線）

※アドバンスP1（小型）は、設定欄が表示されません。



# 9. システム設定

## ⑬メモ

メモを128文字まで登録可能です。（設定データの変更内容等を自由記述）

※半角も1文字としてカウントし、改行は2文字分に相当します。

※PDF帳票出力は7行目まで表示できます。

※メモは受信機では使用しません。メモ欄が未記入でも受信機動作に影響はありません。

⑭「登録」をクリックすると、設定内容に間違いがないかエラーチェックを行います。

以下のエラー条件に当てはまる場合は、④アイコンを該当箇所に表示しますので、ここにマウスカーソルを合わせて、エラー内容を確認してください。

(1) ④ 件名名称（半角）を入力してください。

（エラー条件）件名名称（半角）が未登録の場合

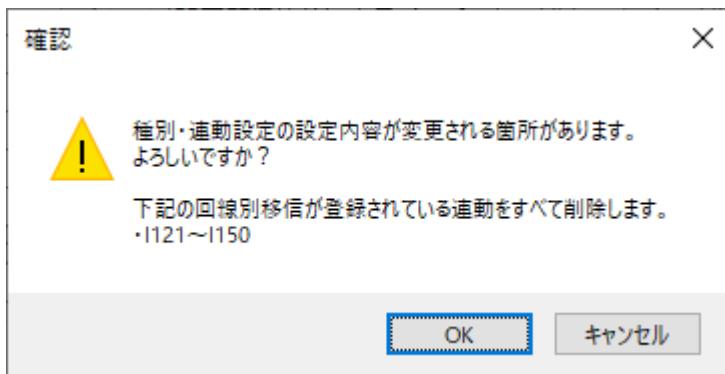
(2) ④ TA時間≤TC時間となるように設定してください。

（エラー条件）TA>TCに設定した場合

エラーチェックが通ると、次に⑫オプションの移信ユニットのチェックを行います。

移信ユニット追加登録の数を減らした場合、「種別・連動設定画面」において使用できなくなる回線別移信(In)が発生します。

使用できなくなる回線別移信(In)が既に連動に登録されている場合は、下記ダイアログを表示しますので、該当の連動を自動削除してもよければ、「OK」をクリックしてください。



# 10. 種別・連動設定

メインメニューの「種別・連動設定」をクリックすると、種別・連動設定画面を表示します。  
回線毎の種別設定および連動設定を行います。

No.	端子	回線種別	メモ	音響	作動音響	副受音響	代表移信	感知器取付階	終端器	復帰制御時間	連動	
1	L1	自火報感知器		<input checked="" type="checkbox"/>	---	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1階	10kΩ	---	I1	I2
2	L2	自火報感知器		<input checked="" type="checkbox"/>	---	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2階	10kΩ	---	I2	
3	L3	自火報感知器		<input checked="" type="checkbox"/>	---	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3階	10kΩ	---	I3	
4	L4	自火報感知器		<input checked="" type="checkbox"/>	---	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4階	10kΩ	---	I4	
5	L5	自火報感知器		<input checked="" type="checkbox"/>	---	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5階	10kΩ	---	I5	
6	L6	自火報感知器		<input checked="" type="checkbox"/>	---	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	6階	10kΩ	---	I6	
7	L7	自火報感知器		<input checked="" type="checkbox"/>	---	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	7階	10kΩ	---	I7	
8	L8	自火報感知器		<input checked="" type="checkbox"/>	---	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	8階	10kΩ	---	I8	
9	L9	自火報感知器		<input checked="" type="checkbox"/>	---	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	9階	10kΩ	---	I9	
10	L10	自火報感知器		<input checked="" type="checkbox"/>	---	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	10階	10kΩ	---	I10	
11	L11	自火報感知器		<input checked="" type="checkbox"/>	---	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	11階	10kΩ	---	I11	
12	L12	自火報感知器		<input checked="" type="checkbox"/>	---	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12階	10kΩ	---	I12	
13	L13	自火報感知器		<input checked="" type="checkbox"/>	---	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	13階	10kΩ	---	I13	
14	L14	自火報感知器		<input checked="" type="checkbox"/>	---	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	14階	10kΩ	---	I14	
15	L15	自火報感知器		<input checked="" type="checkbox"/>	---	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	15階	10kΩ	---	I15	
16	L16	警報		---	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			---	I16	
17	L17	警報		---	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			---	I17	
18	L18	スプリンクラー（火災）		---	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	18階	10kΩ	---	I18	
19	L19	スプリンクラー（火災）		---	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	19階	10kΩ	---	I19	
20	L20	2信号感知器		<input checked="" type="checkbox"/>	---	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	20階	10kΩ	---	I20	
		連動報		---	---	---	---			---		
21	L21	防排煙感知器		<input checked="" type="checkbox"/>	---	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	設定なし	10kΩ	---	I21	D21
	DA21	防排煙監視		---	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			---		
	L22	防排煙感知器		<input checked="" type="checkbox"/>	---	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	設定なし	10kΩ	---	I22	D22

※⑩「拡張」ボタンは連動登録枠の右端にあります。

## ①回線選択タブ

「全て」（全回線）、「自火報兼用」「自火報・防排煙兼用」「ガス漏れ」「防排煙」「諸警報（小窓）」の回線種別毎の表示のタブ切替が可能です。

	自火報兼用	自火報・防排煙兼用	ガス漏れ	防排煙	諸警報(小窓)
P型1級受信機	<input type="radio"/>	-	-	-	<input type="radio"/>
P型1級複合受信機	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	-	-	<input type="radio"/>
P型1級受信機（小型）	<input type="radio"/>	-	-	-	<input type="radio"/>
P型1級複合受信機（小型）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	-	-	<input type="radio"/>
GP型受信機	<input type="radio"/>	-	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
GP型複合受信機	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	-	<input type="radio"/>
G型受信機・LPガス受信機	-	-	<input type="radio"/>	-	<input type="radio"/>
連動操作盤	-	-	-	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

## ②No, 端子（設定変更できません）

通し番号、および選択された回線種別に対応した受信機の端子名称を表示します。

# 10. 種別・連動設定

③回線種別 (\*は初期値)

アドバンスP1（小型）以外の場合

	設定内容 (*は初期値)
自火報兼用回線 (白窓)	「*自火報感知器」「自火報感知器（APなし）」※ 「2信号感知器」※
	「警報」「警報（自己保持）」
	「スプリンクラー（警報）」「スプリンクラー（警報、区分鳴動）」「スプリンクラー（火災）」
	「警報（地区音響相互鳴動用）」
自火報・防排煙兼用回線 (黄窓) (複合受信機の場合のみ)	「自火報感知器」「自火報感知器（APなし）」※ 「2信号感知器」※
	「*防排煙感知器」「防排煙感知器（APなし）」※ 「防排煙復帰制御」「防排煙復帰制御（APなし）」※
	「警報」「警報（自己保持）」
	「スプリンクラー（警報）」「スプリンクラー（警報、区分鳴動）」「スプリンクラー（火災）」
	「警報（地区音響相互鳴動用）」
防排煙回線 (連動操作盤の場合のみ)	「*防排煙感知器」「防排煙復帰制御」
	「警報」「警報（自己保持）」
ガス漏れ回線	「*ガス漏れ」
諸警報（小窓）回線	「*警報」「トラブル」

※「2信号感知器」は自動試験有、かつ複合受信機の場合に選択可能です。

※「自火報感知器（APなし）」「防排煙感知器（APなし）」「防排煙復帰制御（APなし）」は下記受信機の場合に設定可能です。

- ・BVE16/BVE17/BVE36/BVE37シリーズ、BZE12/BZE92

アドバンスP1（小型）の場合

	設定内容 (*は初期値)
自火報兼用回線 (白窓)	「*自火報感知器」「自火報感知器（APなし）」「2信号感知器」※
	「警報」「警報（自己保持）」
	「スプリンクラー（火災）」
	「警報（地区音響相互鳴動用）」
自火報・防排煙兼用回線 (黄窓) (複合受信機の場合のみ)	「自火報感知器」「自火報感知器（APなし）」「2信号感知器」※
	「*防排煙感知器」「防排煙感知器（APなし）」
	「警報」「警報（自己保持）」
	「スプリンクラー（火災）」
	「警報（地区音響相互鳴動用）」
諸警報（小窓）回線	「*警報」「トラブル」

※「2信号感知器」は複合受信機の場合に選択可能です。

※アドバンスP1（小型）の場合、下記の種別は選択できません。

- 「防排煙復帰制御」「スプリンクラー（警報）」「スプリンクラー（警報、区分鳴動）」

※アドバンスP1（小型）の場合、諸警報（小窓）は4回線です。

# 10. 種別・連動設定

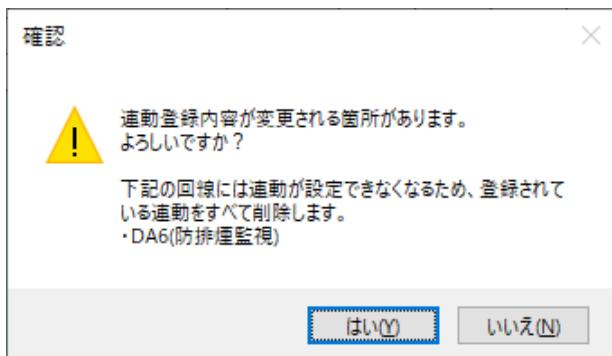
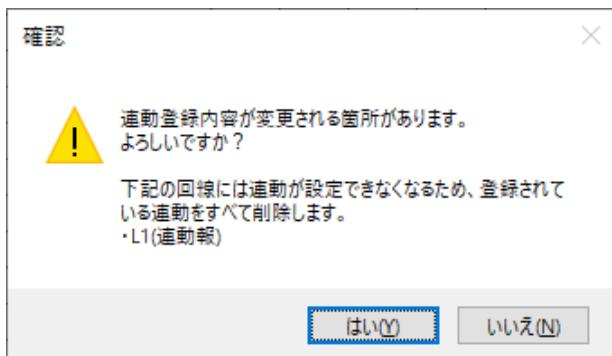
回線種別を変更した時、以下(1)～(5)の条件に当てはまる場合は、使用できなくなる連動(In, Dn, Bn)が発生します。その使用できなくなる連動(In, Dn, Bn)が既に登録されている場合は、下記ダイアログを表示します。該当の連動を自動削除してもよければ、「はい」をクリックしてください。

## (1) 自火報兼用回線、自火報・防排煙兼用回線（防排煙回線）

＜変更前＞回線種別が「2信号感知器」「防排煙感知器」「防排煙復帰制御」「防排煙感知器(APなし)」「防排煙復帰制御(APなし)」のいずれかであり、かつ、2行目（「連動報」または「防排煙監視」）の連動先に連動が登録されている。

＜変更後＞回線種別を「自火報感知器」「2信号感知器」「自火報感知器(APなし)」「警報」「警報(自己保持)」「スプリンクラー(警報)」「スプリンクラー(警報、区分鳴動)」「スプリンクラー(火災)」「警報(地区音響相互鳴動用)」のいずれかに変更したとき。

⇒回線“Ln”的2行目の連動先に登録されている連動を全て削除します。

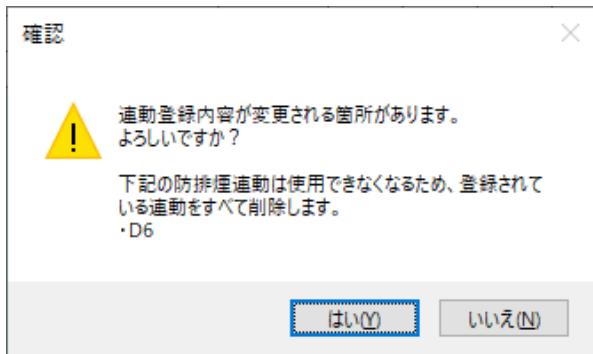


## (2) 自火報・防排煙兼用回線（防排煙回線）

＜変更前＞回線種別が「防排煙感知器」「防排煙感知器(APなし)」のいずれかであり、かつ、いずれかの回線の連動先に、防排煙連動Dn (nは同じ値) が登録されている。

＜変更後＞回線種別を「防排煙感知器」「防排煙感知器(APなし)」以外に変更したとき。

⇒全回線の連動先に登録されている防排煙連動Dn (nは同じ値) を全て削除します。

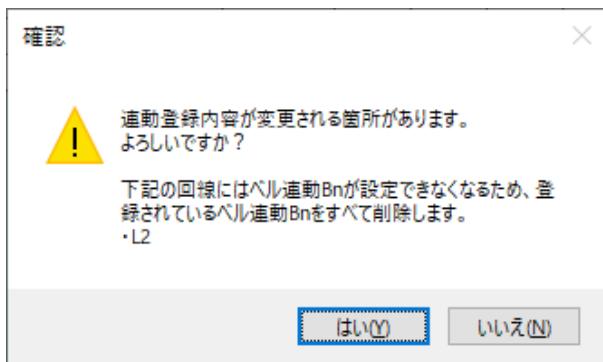


# 10. 種別・連動設定

## (3) 自火報兼用回線、自火報・防排煙兼用回線

<変更前> 回線種別が「自火報感知器」「自火報感知器( A Pなし)」「2信号感知器」「スプリンクラー(警報)」「スプリンクラー(警報、区分鳴動)」「スプリンクラー(火災)」「警報(地区音響相互鳴動用)」のいずれかであり、かつ、連動先にベル連動Bnが登録されている。

<変更後> 回線種別を「防排煙感知器」「防排煙感知器( A Pなし)」「防排煙復帰制御」「防排煙復帰制御( A Pなし)」「警報」「警報(自己保持)」のいずれかに変更したとき。  
⇒回線“Ln”的連動先に登録されているベル連動Bnを全て削除します。

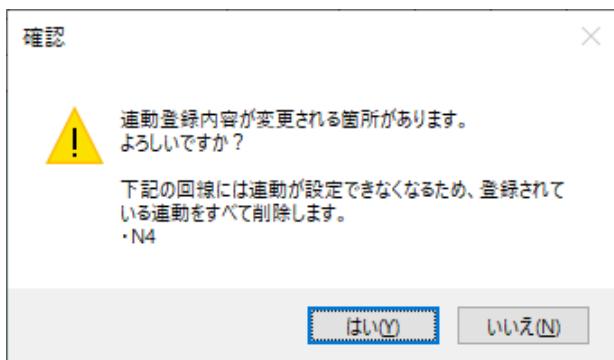


## (4) 諸警報（小窓）回線

<変更前> 回線種別が「警報」であり、かつ、連動先に連動が登録されている。

<変更後> 回線種別を「トラブル」に変更したとき。

⇒回線“Nn”的連動先に登録されている連動を全て削除します。

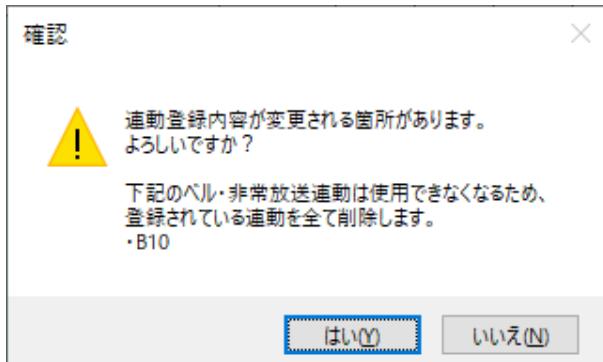


## (5) 自火報・防排煙兼用回線（アドバンスP1（小型）の場合のみ）

<変更前> 回線種別が「防排煙感知器」「防排煙感知器( A Pなし)」以外であり、かつ、いずれかの回線の連動先に、ベル連動Bn (nは同じ値) が登録されている。

<変更後> 回線種別を「防排煙感知器」「防排煙感知器( A Pなし)」のいずれかに変更したとき。

⇒全回線の連動先に登録されているベル連動Bn (nは同じ値) を全て削除します。



# 10. 種別・連動設定

## ④メモ

回線毎に回線メモを16文字まで登録可能です。（半角も1文字としてカウント）

空白の状態でEnterを押すと、前行のメモをコピーします。

「Ctrl+C」でコピー、「Ctrl+X」で切り取り、「Ctrl+V」で貼り付けが可能です。

※2行表示の場合は、上段のみ入力可能です。

※セルの表示幅は縮めることができます。

※メモは受信機では使用しません。メモ欄が未記入でも受信機動作に影響はありません。

## ⑤蓄積、作動音響、副受音響、代表移信 (\*は初期値)

回線毎に発報時の蓄積、作動音響、副受音響、代表移信の動作の有無を設定します。

※有/無の設定は、FP2TG画面のチェックBOX「□」のチェック有/無に対応しています。

〈回線種別毎の各設定項目と設定値一覧〉

端子	回線種別	蓄積	作動音響	副受音響	代表移信
Ln	自火報感知器	*有/無	---	*有/無	*有/無
	自火報感知器（A Pなし）	*有/無	---	*有/無	*有/無
	2信号感知器	*有/無	---	*有/無	*有/無
	防排煙感知器	*有/無	---	*有/無	*有/無
	防排煙感知器（A Pなし）	*有/無	---	*有/無	*有/無
	防排煙復帰制御	*有/無	---	*有/無	*有/無
	防排煙復帰制御（A Pなし）	*有/無	---	*有/無	*有/無
	警報	---	*有/無	*有/無	*有/無
	警報（自己保持）	---	*有/無	*有/無	*有/無
	スプリンクラー（警報）	---	---	*有/無	*有/無
DAn	スプリンクラー（警報、区分鳴動）	---	---	*有/無	*有/無
	スプリンクラー（火災）	---	---	*有/無	*有/無
GLn	警報（地区音響相互鳴動用）	---	*有/無	*有/無	*有/無
	防排煙監視	---	*有/無	有/*無	*有/無
Gln	ガス漏れ	---	---	*有/無	*有/無
Nn	警報	---	*有/無	有/*無	*有/無
	トラブル	---	---	---	*有/無
Ln (2信号)	連動報	---	---	---	---

## ⑥感知器取付階（地区音響鳴動設定）

回線毎に感知器取付階を設定します。

設定された階に従って、非常放送／地区音響出力、フロア音声の鳴動を行います。

「設定なし」「一斉鳴動」「地下2階以下」「地下1階」「1階」～「N階」（N：感知器総回線数）

「階段」「東階段」「西階段」「南階段」「北階段」

「エレベータ」「東エレベータ」「西エレベータ」「南エレベータ」「北エレベータ」から選択。

※回線種別を「自火報感知器」「自火報感知器（A Pなし）」「2信号感知器」「防排煙感知器」「防排煙感知器（A Pなし）」「防排煙復帰制御」「防排煙復帰制御（A Pなし）」「スプリンクラー（警報）」「スプリンクラー（警報、区分鳴動）」「スプリンクラー（火災）」「警報（地区音響相互鳴動用）」に設定した回線のみ設定が可能です。

※感知器総回線数=130の場合は、N=129となります。

※連動操作盤の場合は、「一斉鳴動」は選択できません。

※初期値は、L1:「1階」、L2:「2階」、L3:「3階」・・・LN:「N階」（ただし、L130は「設定なし」）  
（「自火報感知器」にのみ設定されます。「防排煙感知器」には「設定なし」が設定されます。）

※地区音響／非常放送の切り替えは、

アドバンスP1（小型）の場合は、FP2TG（非常放送/地区音響切替設定）のソフト設定で行います。

アドバンスP1（小型）以外の場合は、受信機の地区音響／非常放送切替コネクタでの設定が必要です。

# 10. 種別・連動設定

## ⑦終端器 (\*は初期値)

回線毎に感知器回線に接続する終端器を設定します。

自動試験機能付受信機の場合：「\*10kΩ」「20kΩ」「AD64終端器（アドレスブースター）」「AD64端末（AP発信機）」

自動試験機能なし受信機の場合：「\*4.3k／5.1k／10kΩ」「20kΩ」

※回線種別を「自火報感知器」「自火報感知器（A Pなし）」「2信号感知器」「防排煙感知器」「防排煙感知器（A Pなし）」「防排煙復帰制御」「防排煙復帰制御（A Pなし）」「スプリンクラー（警報）」「スプリンクラー（警報,区分鳴動）」「スプリンクラー（火災）」「警報（地区音響相互鳴動用）」に設定した回線のみ設定が可能です。

※回線種別を「自火報感知器」「2信号感知器」「防排煙感知器」「防排煙復帰制御」に設定した回線のみ  
「AD64終端器」「AD64端末」が設定可能です。

### 注：終端器の設定に関する注意事項

- ・終端器の種類により感知器接続数が異なりますので、ご注意ください。
- ・必ず、実際に受信機に接続した終端器と同じになるように設定してください。  
実際に接続した終端器と異なる値を設定すると、受信機の断線検出機能が正常に動作しない場合があります。

## ⑧復帰制御時間 (\*は初期値)

防排煙復帰制御の出力時間を回線毎に設定します。

「10秒」「20秒」「30秒」「40秒」「50秒」「\*60秒」「120秒」から選択します。

※回線種別を「防排煙復帰制御」「防排煙復帰制御（A Pなし）」に設定した回線のみ設定が可能です。

## ⑨連動

「In」、「Dn」、「Bn」を登録します。

※初期値は、自火報感知器回線「In」、防排煙感知器回線「In,Dn」、防排煙監視回線「なし」、諸警報（小窓）回線「なし」が設定されます。

ガス漏れ回線の初期値は、G型受信器・LPガス受信機の場合は「なし」、GP型受信器・GP型複合受信機の場合は「In」が設定されます。

※「Dn」はP型1級複合受信機、P型1級複合受信機（小型）、GP型複合受信機、連動操作盤のみ登録可。

※「Bn」はP型1級受信機・P型1級複合受信機、P型1級受信機（小型）・P型1級複合受信機（小型）、GP型受信機・GP型複合受信機のみ登録可。

### ●連動の入力方法

例えば「I1」を入力する場合は、キーボードで[I]と[1]を入力後、[Enter]を押します。  
※登録不可のデータが入力された場合は、[Enter]を押した時点でクリアされます。

### ●連動の削除方法

連動を削除する場合は、削除したい連動の枠をクリックして、キーボードで[Delete]を押します。

# 10. 種別・連動設定

<回線種類別の連動の種類と登録可能数>

端子	回線種別	連動の種類と登録可能数
Ln	<自火報感知器回線、防排煙感知器回線> 「自火報感知器」「自火報感知器(APなし)」「2信号感知器」「スプリンクラー(警報)」「スプリンクラー(警報、区分鳴動)」「スプリンクラー(火災)」「警報(地区音響相互鳴動用)」	回線別移信(In) ≤ 100 防排煙連動(Dn) ≤ 100 ベル連動(Bn) ≤ 100 ※合計 ≤ 200
	<自火報感知器回線、防排煙感知器回線> 「防排煙感知器」「防排煙感知器(APなし)」「防排煙復帰制御」「防排煙復帰制御(APなし)」「警報」「警報(自己保持)」	回線別移信(In) ≤ 100 防排煙連動(Dn) ≤ 100
DAn	<防排煙監視回線> 「防排煙監視」	回線別移信(In) ≤ 100 防排煙連動(Dn) ≤ 100
Nn	<諸警報(小窓)回線> 「警報」 ※回線種別「トラブル」は連動登録不可	回線別移信(In) ≤ 100 防排煙連動(Dn) ≤ 100
GLn	<ガス漏れ回線> 「ガス漏れ」	回線別移信(In) ≤ 100
Ln (2信号)	<自火報感知器回線、防排煙感知器回線> 「連動報」	回線別移信(In) ≤ 100 防排煙連動(Dn) ≤ 100

「登録」後に種別・連動設定画面を表示すると、[I1～In]、[D1～Dn]、[B1～Bn]の順に、昇順に並び替えて表示します。（空いている連動登録枠は前詰めします）



ベル連動（地区音響／非常放送連動出力）「Bn」に関する注意事項

- 感知器取付階設定によるベル連動に加えて、さらに任意でベル連動を追加したい場合に、「Bn」の個別連動登録を行います。
- アドバンスP1（小型）の場合、自火報・防排煙兼用回線を「防排煙感知器」または「防排煙感知器(APなし)」に設定した場合は、その回線と同じ番号の「Bn」は、ベル連動の連動先として設定できません。

※感知器取付階設定によるベル連動の動作については、受信機設定マニュアルの「感知器回線の取付階設定（地区音響鳴動設定）」を参照してください。



防排煙制御出力「Dn」、防排煙監視入力「DAn」に関する注意事項

- 自火報・防排煙兼用回線（防排煙回線）を「防排煙感知器」「防排煙感知器(APなし)」「防排煙復帰制御」「防排煙復帰制御(APなし)」以外の種別に設定した場合、その回線と同じ番号の防排煙監視入力「DAn」は使用できなくなります。
- 自火報・防排煙兼用回線（防排煙回線）を「防排煙感知器」「防排煙感知器(APなし)」以外に設定した場合は、その回線と同じ番号の「Dn」は、防排煙連動の連動先として設定できません。

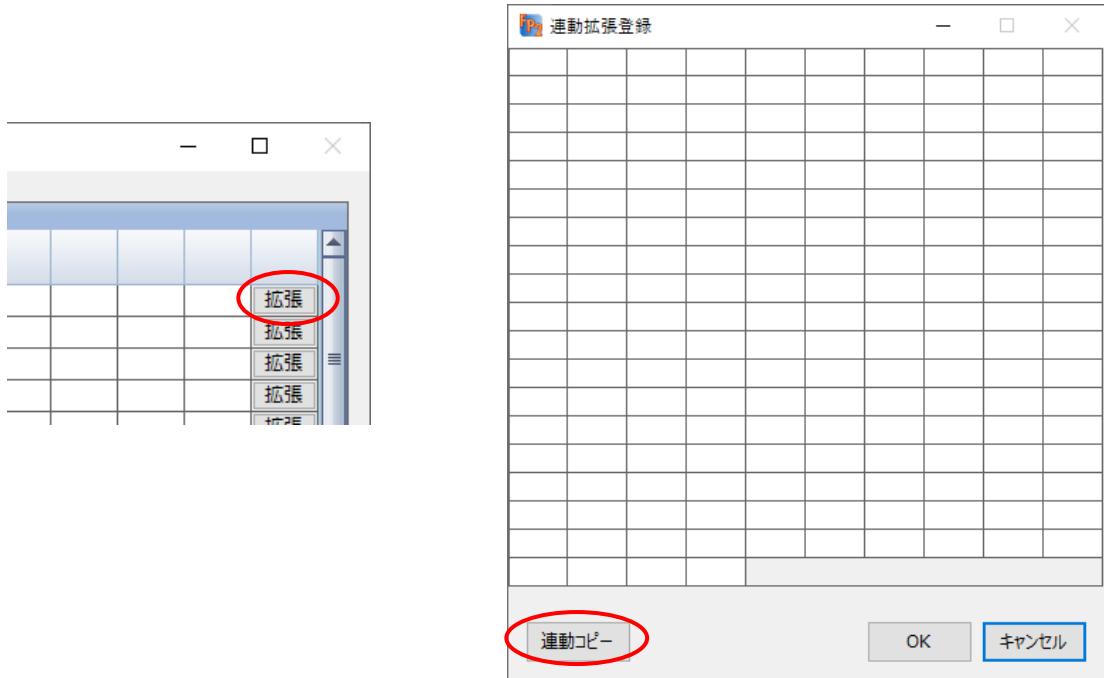
# 10. 種別・連動設定

## ⑩連動拡張登録画面

種別・連動設定画面上では、連動を1回線あたり最大16個まで登録可能です。

16個を超えて登録する場合は、画面右端の「拡張」をクリックし、連動拡張登録画面を表示します。

連動拡張登録画面では、184個の連動が登録可能です。（16+184=最大200個）



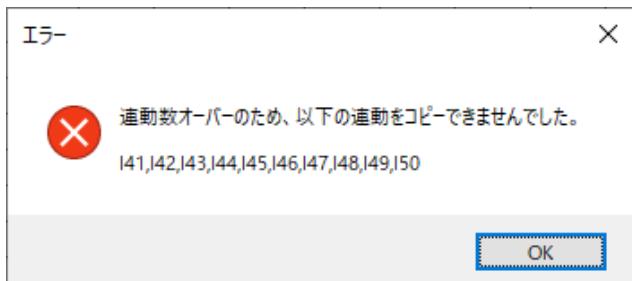
同じ連動内容を複数の回線に登録する場合は、連動コピー機能を使用します。

「連動コピー」をクリックすると、連動コピー元登録画面（次ページ参照）に予め登録済みの連動を一括でコピーします。（隙間がある場合は前詰めコピーします）

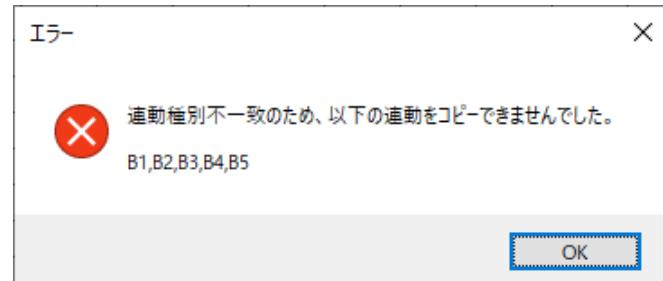
連動コピー時に、コピーする連動のエラーチェックを行います。

- (1) すでに連動が登録されている場合は、登録済みの連動の後ろに追加コピーします。  
追加登録の結果、連動数が184個を超えた場合は、超えた部分の連動はコピーせずに、下記エラーを表示します。
- (2) コピーする連動の中に、コピー先の回線種別に登録できない連動が含まれていた場合は、その連動のコピーを行わずに、下記エラーを表示します。

(1)



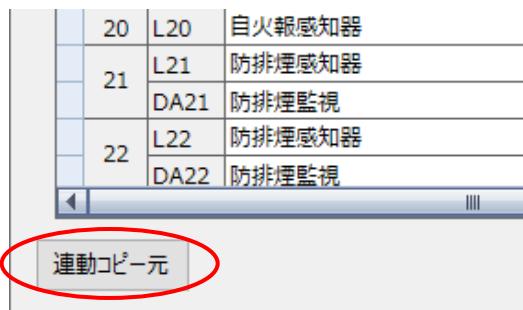
(2)



# 10. 種別・連動設定

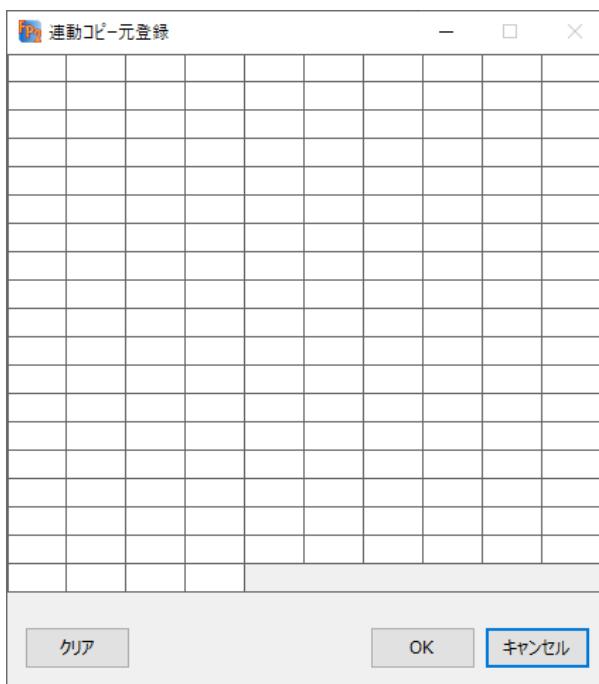
## ⑪連動コピー元登録画面

連動拡張画面の「連動コピー」機能を使うために、ここで予めコピーする連動を登録します。  
画面左下の「連動コピー元」をクリックすると、連動コピー元登録画面を表示します。



連動コピー元登録画面には、最大184個の連動が登録できます。

※この画面に登録する連動データは、連動コピーを行うための一時的なデータのため、  
FP2TGを終了すると消えます。



# 10. 種別・連動設定

⑫「登録」をクリックすると、エラーチェックを行います。

以下のエラー条件に当てはまる場合は、「全て」タブを表示し、エラーのある先頭行を表示します。エラーの該当回線に❶アイコンを表示しますので、ここにマウスカーソルを合わせて、エラー内容を確認してください。

※1つの回線にエラーが複数ある場合は、複数行表示します。

※エラーアイコンは「全て」タブのみに表示します。

(16個の連動枠にエラーが見つからない場合は、連動拡張登録画面を確認してください)

(1) ❶連動先Xnがありません。

(エラー条件) 存在しない回線への連動を設定したとき

(2) ❶Xnへの連動が重複しています。

(エラー条件) 同一回線に同じ連動先が重複設定されたとき

(3) ❶I(またはDまたはB)への連動が100個を超えました。

(エラー条件) 連動登録数の制限を超えたとき (InまたはDnまたはBnが100を超えたとき)

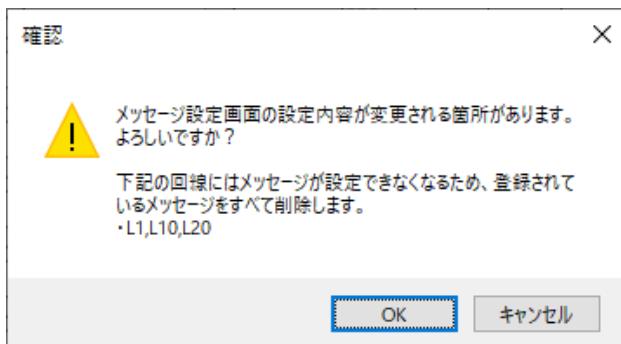
エラーチェックが通ると、次にメッセージ設定画面（P11.）において、メッセージを削除すべき回線がないかチェックします。

(1) メッセージの登録が可能な回線種別から、メッセージ登録ができない回線種別に変更した場合、その回線にはメッセージが設定できなくなります。

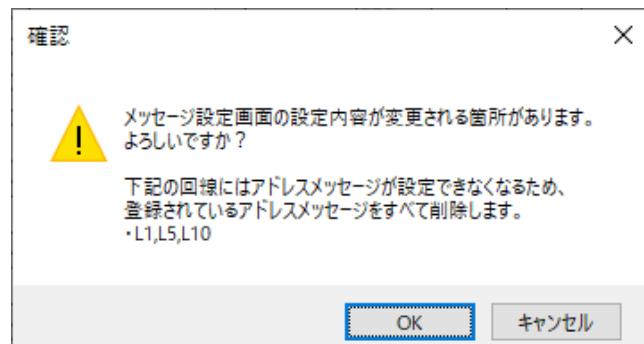
(2) 回線メッセージ、アドレスメッセージ両方の登録が可能な回線種別から、回線メッセージのみ登録ができる回線種別に変更した場合、その回線にはアドレスメッセージが設定できなくなります。

もし、設定ができなくなる回線にメッセージが登録されていた場合は、下記ダイアログを表示します。該当の回線のメッセージを自動削除してもよければ、「OK」をクリックしてください。

(1)



(2)



# 11. メッセージ設定

メインメニューの「メッセージ設定」をクリックすると、メッセージ設定画面を表示します。

火災発生時に受信機の液晶表示部に表示させるメッセージ（部屋番号など）を回線毎、アドレス毎に設定します。

メッセージ設定

① 端子	回線種別	② 回線 メッセージ	③ アドレス メッセージ	④					
				AD1	AD2	AD3	AD4	AD5	AD6
L1	自火報感知器	1かげん	一覧	1F-101#	1F-102#	1F-103#	1F-104#	1F-105#	1F-106#
L2	自火報感知器	2かげん	一覧						
L3	自火報感知器	3かげん	一覧						
L4	自火報感知器	4かげん	一覧						
L5	自火報感知器	5かげん	一覧						
L6	自火報感知器	6かげん	一覧	6F-601#	6F-602#	6F-603#	6F-604#	6F-605#	6F-606#
L7	自火報感知器	7かげん	一覧						
L8	自火報感知器	8かげん	一覧						
L9	自火報感知器	9かげん	一覧	9F-901#	9F-902#	9F-903#	9F-904#	9F-905#	9F-906#
L10	自火報感知器	10かげん	一覧						
L11	自火報感知器	11かげん	一覧						
L12	自火報感知器	12かげん	一覧						
L13	自火報感知器	13かげん	一覧						
L14	自火報感知器	14かげん	一覧						
L15	自火報感知器	15かげん	一覧						
L20	2信号感知器	20かげん	一覧						
L21	防排煙感知器	21かげん	一覧						
L22	防排煙感知器	22かげん	一覧						
L23	防排煙感知器	23かげん	一覧						
L24	防排煙感知器	24かげん	一覧						
L25	防排煙感知器	25かげん	一覧						

※「号」は「#」に読み替えて入力してください。

⑤ アドレスメッセージコピー機能  コピーなし  単純コピー  +1コピー

## ①端子、回線種別 （設定変更できません）

メッセージ設定が可能な回線種別の回線を表示します。

※表示される回線種別は「自火報感知器」「自火報感知器(APなし)」「2信号感知器」「防排煙感知器」「防排煙感知器(APなし)」「防排煙復帰制御」「防排煙復帰制御(APなし)」「ガス漏れ」のいずれかです。

## ②回線メッセージ

回線発報時に受信機の液晶表示部に表示させるメッセージを入力します。

※空白のセルでEnterキーを押すと、前行のメッセージをコピーします。

※この設定をしない場合、火災発生時の受信機の液晶表示部には発報した回線番号が表示されます。

※「Ctrl+C」でコピー、「Ctrl+X」で切り取り、「Ctrl+V」で貼り付けが可能です。

(複数セルまとめてのコピー、貼り付けが可能です。)

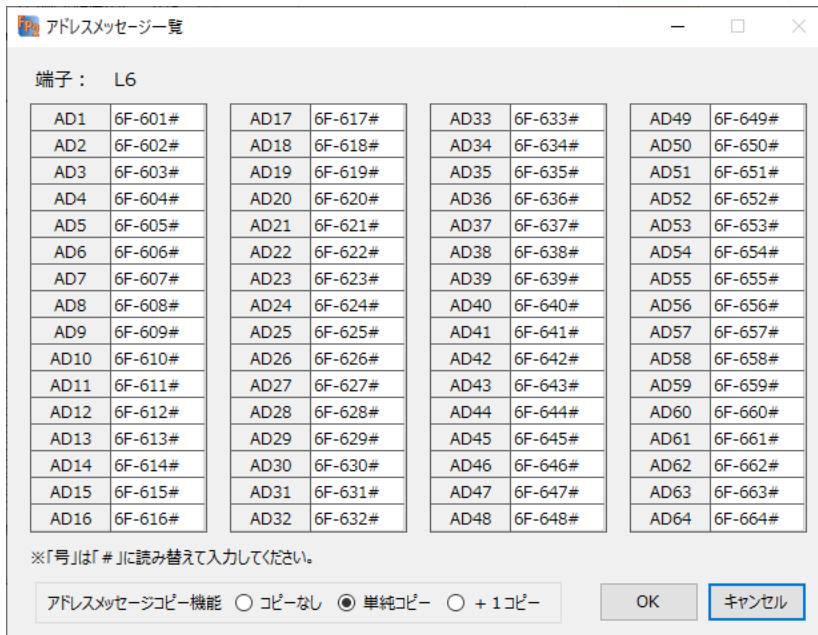
# 11. メッセージ設定

## ③一覧ボタン (自動試験有の場合のみ)

該当の回線のアドレスメッセージを一覧表示します。(一覧表示画面での入力も可能)

※空白のセルでEnterキーを押すと、「⑤アドレスメッセージコピー機能」の設定に従って  
前行のメッセージをコピーします。

※自動試験なしの場合、または自動試験有の場合でも「自火報感知器(A Pなし)」「防排煙感知器(A Pなし)」「防排煙復帰制御(A Pなし)」「ガス漏れ」の回線は「一覧」ボタンを表示しません。



## ④アドレスメッセージ (自動試験有の場合のみ)

AP感知器発報時に受信機の液晶表示部に表示させるメッセージを入力します。

※空白のセルでEnterキーを押すと、「⑤アドレスメッセージコピー機能」の設定に従って  
左のセルのメッセージをコピーします

※この設定をしない場合、火災発生時の受信機の液晶表示部には発報した回線番号とアドレス番号が表示されます。

※「自火報感知器(A Pなし)」「防排煙感知器(A Pなし)」「防排煙復帰制御(A Pなし)」「ガス漏れ」はアドレスメッセージの入力はできません。

※「Ctrl+C」でコピー、「Ctrl+X」で切り取り、「Ctrl+V」で貼り付けが可能です。  
(複数セルまとめてのコピー、貼り付けが可能です。)

回線メッセージ、アドレスメッセージに設定できる文字は、半角の「英数字」「カナ」「号」「記号」で最大7文字です。

※「号」は「#」に読み替えて入力するため、記号の「#」は受信機に表示できません。

※アドバンスP1(小型)、および小型以外のV4受信機の場合、受信機LCD表示部の拡大表示設定ができます。  
メッセージの先頭にハイフン「-」を入力すると、数字が拡大表示設定になります。(数字以外は拡大表示しません)

### <メッセージ登録と拡大表示の例>

LCD表示例	登録「-1021」	登録「-A-1021」
	1021	A-1021

	標準文字設定	拡大文字設定
表示文字数	7文字	6文字
表示文字		
英字	標準	標準
数字	標準	<b>拡大</b>
カナ	標準	標準
号	標準	表示しない
ハイフン	標準	標準 ※

※1文字目のハイフンは表示されません

# 11. メッセージ設定

---

## ⑤アドレスメッセージコピー機能（自動試験有の場合のみ）

アドレスメッセージ欄が空白のセルでEnterキーを押したときの動作を設定します。

- ・ コピーなし：左隣のセルをコピーしません。
- ・ 単純コピー：左隣のセルをそのままコピーします。
- ・ + 1 コピー：左隣のセルの数値部分を + 1 してコピーします。

※一覧画面では、前行のセルがコピー対象です。

※回線メッセージ欄には、この設定は適用されません。（単純コピーのみ）

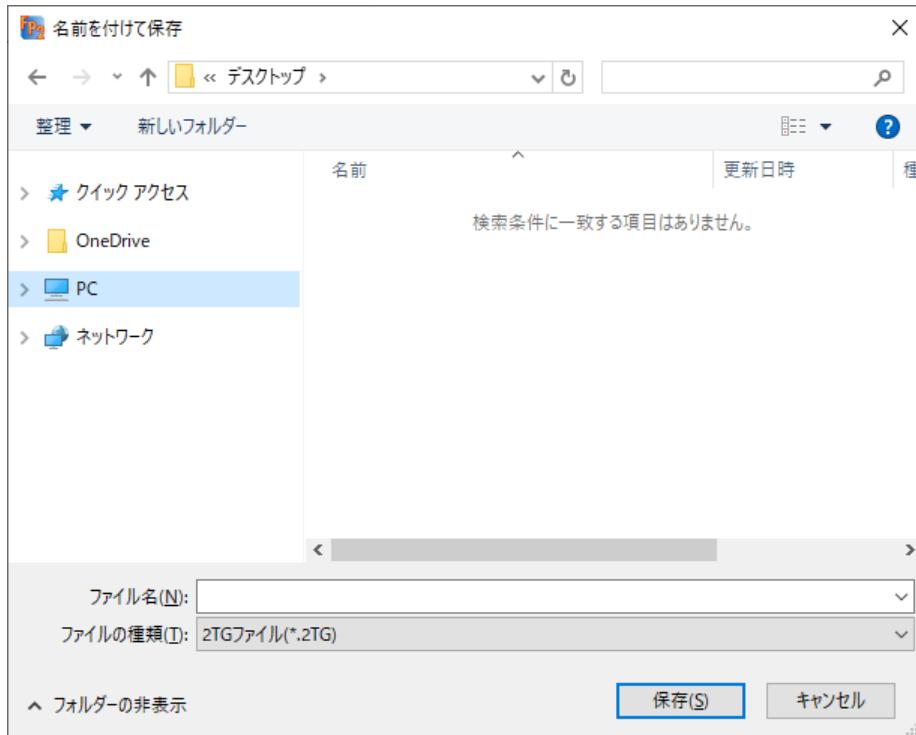
# 12. 保存

メインメニューの「保存」をクリックすると、設定データを保存します。

設定データの新規作成時は、保存先の選択ウィンドウが開きます。

ファイル名を入力して保存先を選択後、「保存」をクリックすると、[ファイル名.2TG]ファイルが作成されます。

※デフォルトの保存先設定はデスクトップです。



既に保存済みの設定データを更新して保存する場合は、保存先の選択ウィンドウは表示せずに上書き保存し、保存前の設定データを自動的にバックアップします。

拡張子に.bakを付加（ファイル名.2TG.bak）したファイルが同じフォルダ内に作成されるので、.bakを消せば1つ前のデータに戻すことができます。

なお、SDカードの中の設定データを直接開いてから保存を行った場合は、下記状態の場合にSDカードに保存できない旨のエラーダイアログを表示します。

下記を見直し、再度「保存」を実行してください。

- ・SDカードの書き込み禁止（ロック）がON
- ・SDカードの残り容量不足
- ・SDカード内の設定データを開いてからSDカードが抜かれた

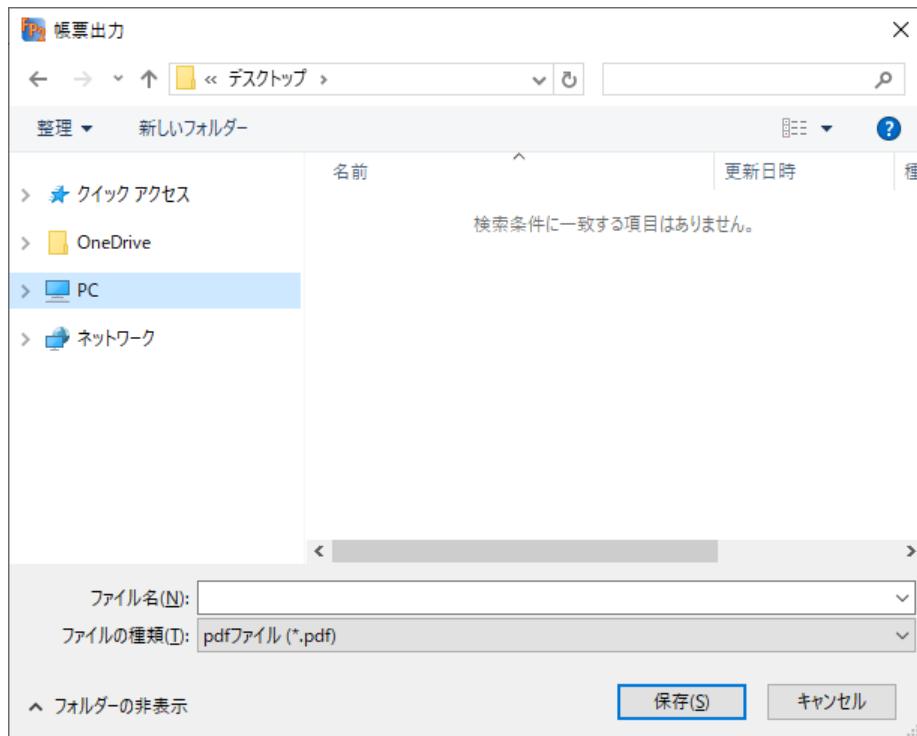
# 13. 帳票

メインメニューの「帳票」をクリックすると、設定データを帳票出力します。

帳票出力先の選択ウィンドウが開きますので、ファイル名を入力後、ファイルの種類からPDFかCSVを選択して「保存」してください。

※設定データが保存済みの場合は、設定データのファイル名と同じ名称が設定されます。

※デフォルトの保存先設定はデスクトップです。



# 13. 帳票

## <PDFサンプル：システム設定>

件名名称: [アドバンスP-1] アドバンスP-1ビル

帳票出力日時: 2019/05/14 16:52

最終更新日時: 2017/11/16 17:47

### <受信機構成>

自動試験	有
ブリッタ	なし
感知器回線数	40
防排煙回線数	20
ガス漏れ回線数	0
地区音響出力数	25
移信出力数	30
移信出力数(増設)	30

### <代表移信設定>

	Fa1	Fa2	Fa3	Fa4	Fa5
自火報回線火災代表	○	○	○	○	○
非常放送火災確認	×	×	×	×	×
警報代表	×	×	×	×	×
トラブル代表	×	×	×	×	×
防排煙監視代表	×	×	×	×	×
防排煙回線火災代表	○	○	○	○	○
スプリッターレーブル代表	×	×	×	×	×
復旧スイッチ	×	×	×	×	×
移信停止スイッチ	×	×	×	×	×
非常放送運動停止スイッチ	×	×	×	×	×
スマート注意灯	×	×	×	×	×
ガス漏れ代表	--	--	--	--	--
ガス漏れ警報器故障代表	--	--	--	--	--
移信停止無効	--	--	--	--	--

### <オプションユニット設定>

移信ユニット追加登録数	1
-------------	---

### <メモ>

P型1級複合受信機

1/7

FP2TG

## <PDFサンプル：地区音響導通試験 空き回線設定>

件名名称: [アドバンスP-1] アドバンスP-1ビル

帳票出力日時: 2019/05/14 16:52

最終更新日時: 2017/11/16 17:47

### <地区音響導通試験 空き回線設定>

端子	端子
BL+	○

#### 区分鳴動出力(Bn)

端子	端子	端子	端子	端子	端子	端子	端子	端子	端子	端子	端子	端子
B1	○	B16	○	B31	B46	B61	B76	B91	B106	B121		
B2	○	B17	○	B32	B47	B62	B77	B92	B107	B122		
B3	○	B18	○	B33	B48	B63	B78	B93	B108	B123		
B4	○	B19	○	B34	B49	B64	B79	B94	B109	B124		
B5	○	B20	○	B35	B50	B65	B80	B95	B110	B125		
B6	○	B21	○	B36	B51	B66	B81	B96	B111	B126		
B7	○	B22	○	B37	B52	B67	B82	B97	B112	B127		
B8	○	B23	○	B38	B53	B68	B83	B98	B113	B128		
B9	○	B24	○	B39	B54	B69	B84	B99	B114	B129		
B10	○	B25	○	B40	B55	B70	B85	B100	B115	B130		
B11	○	B26		B41	B56	B71	B86	B101	B116			
B12	○	B27		B42	B57	B72	B87	B102	B117			
B13	○	B28		B43	B58	B73	B88	B103	B118			
B14	○	B29		B44	B59	B74	B89	B104	B119			
B15	○	B30		B45	B60	B75	B90	B105	B120			

P型1級複合受信機

2/7

FP2TG

※自動試験なしの場合は、<地区音響導通試験 空き回線設定>はPDF出力されません。

# 13. 帳票

<PDFサンプル：自火報兼用回線>

件名名称：[アドバンスP-1] アドバンスP-1ビル

帳票出力日時：2019/05/14 16:52

最終更新日時：2017/11/16 17:47

<自火報兼用回線>

No.	端子	回線種別	メモ	蓄積	作動音 音響	副受 音響	代表 移信	感知器取付階	終端器	復帰制御 時間	連動
1	L1	自火報感知器		○	—	○	○	地下1階	10kΩ	—	I1 , I2 , I3 , I4 , I5 , D21 , D22 , D23 , D24 , D25
2	L2	自火報感知器		○	—	○	○	1階	10kΩ	—	I2
3	L3	自火報感知器		○	—	○	○	2階	10kΩ	—	I3
4	L4	自火報感知器		○	—	○	○	3階	10kΩ	—	I4
5	L5	自火報感知器		○	—	○	○	4階	10kΩ	—	I5
6	L6	自火報感知器		○	—	○	○	5階	10kΩ	—	I6
7	L7	自火報感知器		○	—	○	○	6階	10kΩ	—	I7
8	L8	自火報感知器		○	—	○	○	7階	10kΩ	—	I8
9	L9	自火報感知器		○	—	○	○	8階	10kΩ	—	I9
10	L10	自火報感知器		○	—	○	○	9階	10kΩ	—	I10
11	L11	自火報感知器		○	—	○	○	10階	10kΩ	—	I11
12	L12	自火報感知器		○	—	○	○	11階	10kΩ	—	I12
13	L13	自火報感知器		○	—	○	○	12階	10kΩ	—	I13
14	L14	自火報感知器		○	—	○	○	13階	10kΩ	—	I14
15	L15	自火報感知器		○	—	○	○	14階	10kΩ	—	I15
16	L16	警報		—	○	○	—	—	—	—	I16
17	L17	警報		—	○	○	—	—	—	—	I17
18	L18	スプリンクラー(火災)		—	—	○	○	17階	10kΩ	—	I18
19	L19	スプリンクラー(火災)		—	—	○	○	18階	10kΩ	—	I19
20	L20	2信号感知器 運動報		○	—	○	○	19階	10kΩ	—	I20

P型1級複合受信機

3/7

FP2TG

※P型1級受信機・P型1級複合受信機、P型1級受信機（小型）・P型1級複合受信機（小型）、GP型受信機・GP型複合受信機の場合に、PDF出力されます。

<PDFサンプル：自火報・防排煙兼用回線>

件名名称：[アドバンスP-1] アドバンスP-1ビル

帳票出力日時：2019/05/14 16:52

最終更新日時：2017/11/16 17:47

<自火報・防排煙兼用回線>

No.	端子	回線種別	メモ	蓄積	作動 音響	副受 音響	代表 移信	感知器取付階	終端器	復帰制御 時間	連動
21	L21	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	10kΩ	—	I21 , D21
DA21	防排煙監視			—	○	×	○	—	—	—	—
22	L22	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	10kΩ	—	I22 , D22
DA22	防排煙監視			—	○	×	○	—	—	—	—
23	L23	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	10kΩ	—	I23 , D23
DA23	防排煙監視			—	○	×	○	—	—	—	—
24	L24	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	10kΩ	—	I24 , D24
DA24	防排煙監視			—	○	○	—	—	—	—	—
25	L25	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	10kΩ	—	I25 , D25
DA25	防排煙監視			—	○	○	—	—	—	—	—
26	L26	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	10kΩ	—	I26 , D26
DA26	防排煙監視			—	○	○	—	—	—	—	—
27	L27	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	10kΩ	—	I27 , D27
DA27	防排煙監視			—	○	○	—	—	—	—	—
28	L28	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	10kΩ	—	I28 , D28
DA28	防排煙監視			—	○	○	—	—	—	—	—
29	L29	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	10kΩ	—	I29 , D29
DA29	防排煙監視			—	○	○	—	—	—	—	—
30	L30	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	10kΩ	—	I30 , D30
DA30	防排煙監視			—	○	○	—	—	—	—	—
31	L31	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	10kΩ	—	D31
DA31	防排煙監視			—	○	×	○	—	—	—	—
32	L32	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	10kΩ	—	D32
DA32	防排煙監視			—	○	×	○	—	—	—	—
33	L33	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	10kΩ	—	D33
DA33	防排煙監視			—	○	○	—	—	—	—	—
34	L34	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	10kΩ	—	D34
DA34	防排煙監視			—	○	○	—	—	—	—	—
35	L35	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	10kΩ	—	D35
DA35	防排煙監視			—	○	○	—	—	—	—	—
36	L36	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	10kΩ	—	D36
DA36	防排煙監視			—	○	○	—	—	—	—	—
37	L37	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	10kΩ	—	D37
DA37	防排煙監視			—	○	○	—	—	—	—	—
38	L38	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	10kΩ	—	D38
DA38	防排煙監視			—	○	○	—	—	—	—	—
39	L39	防排煙復帰制御		○	—	○	○	設定なし	10kΩ	60秒	—
DA39	防排煙監視			—	○	×	○	—	—	—	—
40	L40	防排煙復帰制御		○	—	○	○	設定なし	10kΩ	60秒	—
DA40	防排煙監視			—	○	×	○	—	—	—	—

P型1級複合受信機

4/7

FP2TG

※P型1級複合受信機、P型1級複合受信機（小型）、GP型複合受信機の場合に、PDF出力されます。

# 13. 帳票

## <PDFサンプル：諸警報(小窓)回線>

件名名称: [アドバンスP-1] アドバンスP-1ビル

帳票出力日時: 2019/05/14 16:52

最終更新日時: 2017/11/16 17:47

### <諸警報小窓>

No.	端子	回線種別	メモ	蓄積	作動音量	副受音量	代表信	感知器取付階	終端器	復帰制御時間	連動
41	N1	警報		—	○	×	○	—	—	—	
42	N2	警報		—	○	×	○	—	—	—	
43	N3	警報		—	○	×	○	—	—	—	
44	N4	警報		—	○	×	○	—	—	—	
45	N5	警報		—	○	×	○	—	—	—	

P型1級複合受信機

5/7

FP2TG

※P型1級受信機（小型）・P型1級複合受信機（小型）の場合は、N1～N4までが出力されます。

## <PDFサンプル：メッセージ設定>

件名名称: [アドバンスP-1] アドバンスP-1ビル

帳票出力日時: 2019/05/14 16:52

最終更新日時: 2017/11/16 17:47

### <メッセージ設定>

No.	端子	回線種別	回線メッセージ	アドレスメッセージ
1	L1	自火報感知器	1カイセン	[01]IF-101号, [02]IF-102号, [03]IF-103号, [04]IF-104号, [05]IF-105号, [06]IF-106号, [07]IF-107号, [08]IF-108号, [09]IF-109号, [10]IF-110号, [11]IF-111号, [12]IF-112号, [13]IF-113号, [14]IF-114号, [15]IF-115号, [16]IF-116号, [17]IF-117号, [18]IF-118号, [19]IF-119号, [20]IF-120号, [21]IF-121号, [22]IF-122号, [23]IF-123号, [24]IF-124号, [25]IF-125号, [26]IF-126号, [27]IF-127号, [28]IF-128号, [29]IF-129号, [30]IF-130号, [31]IF-131号, [32]IF-132号, [33]IF-133号, [34]IF-134号, [35]IF-135号, [36]IF-136号, [37]IF-137号, [38]IF-138号, [39]IF-139号, [40]IF-140号, [41]IF-141号, [42]IF-142号, [43]IF-143号, [44]IF-144号, [45]IF-145号, [46]IF-146号, [47]IF-147号, [48]IF-148号, [49]IF-149号, [50]IF-150号, [51]IF-151号, [52]IF-152号, [53]IF-153号, [54]IF-154号, [55]IF-155号, [56]IF-156号, [57]IF-157号, [58]IF-158号, [59]IF-159号, [60]IF-160号, [61]IF-161号, [62]IF-162号, [63]IF-163号, [64]IF-164号
2	L2	自火報感知器	2カイセン	
3	L3	自火報感知器	3カイセン	
4	L4	自火報感知器	4カイセン	
5	L5	自火報感知器	5カイセン	
6	L6	自火報感知器	6カイセン	[01]6F-601号, [02]6F-602号, [03]6F-603号, [04]6F-604号, [05]6F-605号, [06]6F-606号, [07]6F-607号, [08]6F-608号, [09]6F-609号, [10]6F-610号, [11]6F-611号, [12]6F-612号, [13]6F-613号, [14]6F-614号, [15]6F-615号, [16]6F-616号, [17]6F-617号, [18]6F-618号, [19]6F-619号, [20]6F-620号, [21]6F-621号, [22]6F-622号, [23]6F-623号, [24]6F-624号, [25]6F-625号, [26]6F-626号, [27]6F-627号, [28]6F-628号, [29]6F-629号, [30]6F-630号, [31]6F-631号, [32]6F-632号, [33]6F-633号, [34]6F-634号, [35]6F-635号, [36]6F-636号, [37]6F-637号, [38]6F-638号, [39]6F-639号, [40]6F-640号, [41]6F-641号, [42]6F-642号, [43]6F-643号, [44]6F-644号, [45]6F-645号, [46]6F-646号, [47]6F-647号, [48]6F-648号, [49]6F-649号, [50]6F-650号, [51]6F-651号, [52]6F-652号, [53]6F-653号, [54]6F-654号, [55]6F-655号, [56]6F-656号, [57]6F-657号, [58]6F-658号, [59]6F-659号, [60]6F-660号, [61]6F-661号, [62]6F-662号, [63]6F-663号, [64]6F-664号
7	L7	自火報感知器	7カイセン	
8	L8	自火報感知器	8カイセン	
9	L9	自火報感知器	9カイセン	[01]9F-901号, [02]9F-902号, [03]9F-903号, [04]9F-904号, [05]9F-905号, [06]9F-906号, [07]9F-907号, [08]9F-908号, [09]9F-909号, [10]9F-910号, [11]9F-911号, [12]9F-912号
10	L10	自火報感知器	10カイセン	
11	L11	自火報感知器	11カイセン	
12	L12	自火報感知器	12カイセン	
13	L13	自火報感知器	13カイセン	
14	L14	自火報感知器	14カイセン	
15	L15	自火報感知器	15カイセン	
16	L20	2信号感知器	20カイセン	
17	L21	防排煙感知器	21カイセン	
18	L22	防排煙感知器	22カイセン	
19	L23	防排煙感知器	23カイセン	

P型1級複合受信機

6/7

FP2TG

# 1 3. 帳票

<PDFサンプル：防排煙回線>

件名名称：[アドバンスP-1] アドバンスP-1ビル

帳票出力日時：2019/05/15 11:56

最終更新日時：2017/05/31 12:49

<防排煙回線>

No.	端子	回線種別	メモ	蓄積	作動音量	副受音器	代表移信	感知器取付階	終端器	復帰制御時間	連動
1	L1	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I1_D1
	DA1	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
2	L2	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I2_D2
	DA2	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
3	L3	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I3_D3
	DA3	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
4	L4	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I4_D4
	DA4	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
5	L5	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I5_D5
	DA5	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
6	L6	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I6_D6
	DA6	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
7	L7	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I7_D7
	DA7	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
8	L8	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I8_D8
	DA8	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
9	L9	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I9_D9
	DA9	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
10	L10	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I10_D10
	DA10	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
11	L11	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I11_D11
	DA11	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
12	L12	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I12_D12
	DA12	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
13	L13	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I13_D13
	DA13	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
14	L14	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I14_D14
	DA14	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
15	L15	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I15_D15
	DA15	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
16	L16	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I16_D16
	DA16	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
17	L17	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I17_D17
	DA17	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
18	L18	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I18_D18
	DA18	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
19	L19	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I19_D19
	DA19	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
20	L20	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I20_D20
	DA20	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
21	L21	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I21_D21
	DA21	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
22	L22	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I22_D22
	DA22	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
23	L23	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I23_D23
	DA23	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
24	L24	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I24_D24
	DA24	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—
25	L25	防排煙感知器		○	—	○	○	設定なし	4.3/5.1/10kΩ	—	I25_D25
	DA25	防排煙監視		—	○	x	○	—	—	—	—

連動操作盤

2/6

FP2TG

※連動操作盤の場合に、PDF出力されます。

<PDFサンプル：ガス漏れ回線>

件名名称：[アドバンスP-1] アドバンスP-1ビル

帳票出力日時：2019/05/15 11:56

最終更新日時：2017/05/31 12:51

<ガス漏れ回線>

No.	端子	回線種別	メモ	蓄積	作動音量	副受音器	代表移信	感知器取付階	終端器	復帰制御時間	連動
1	GL1	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I1
2	GL2	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I2
3	GL3	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I3
4	GL4	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I4
5	GL5	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I5
6	GL6	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I6
7	GL7	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I7
8	GL8	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I8
9	GL9	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I9
10	GL10	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I10
11	GL11	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I11
12	GL12	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I12
13	GL13	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I13
14	GL14	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I14
15	GL15	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I15
16	GL16	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I16
17	GL17	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I17
18	GL18	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I18
19	GL19	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I19
20	GL20	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I20
21	GL21	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I21
22	GL22	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I22
23	GL23	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I23
24	GL24	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I24
25	GL25	ガス漏れ		—	—	○	○	—	—	—	I25

G型受信機・LPガス受信機

2/6

FP2TG

※G型受信機・LPガス受信機、GP型受信機・GP型複合受信機の場合に、PDF出力されます。

# 1 4. SD書き出し

メインメニューの「SD書き出し」をクリックすると、設定データをSDカードに書き出します。

※FP2TGで作成した設定データを受信機に読み込むときは、SDカードを使用します。

(SDカードは受信機に付属していませんので、別途ご購入ください)

使用可能なSDカードは、SD/SDHCです。(SDXCは非対応)  
8MB~32GBまで

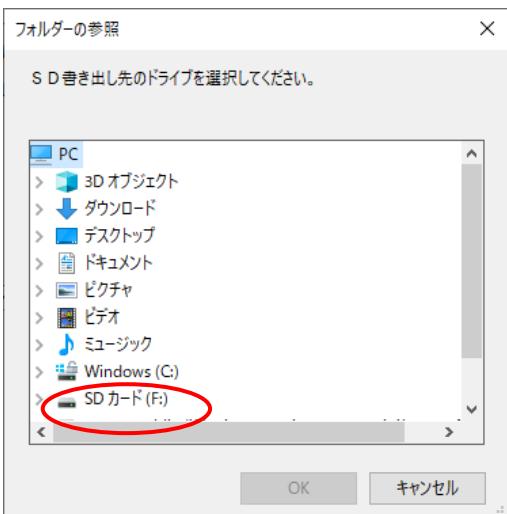


「SD書き出し」をクリックすると、書き出し先のドライブ選択のウインドウが開きます。

SDのドライブを選択し、「OK」をクリックすると、設定データをSDカードのルートディレクトリにコピーします。(受信機で読み込み可能なファイル名[**TABLE.2TG**]にリネームしてコピーします)

※SDカード内に既に[**TABLE.2TG**]ファイルがある場合は、上書きコピーされます。

※SDカードのドライブがどれかわかるように、ドライブ名を[SDカード]などに変更することをお勧めします。

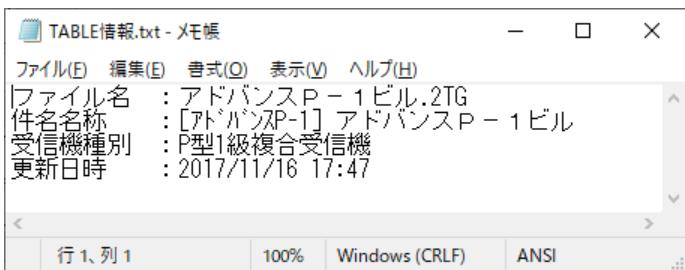


下記状態の場合は、SDカードに書き出しができない旨のエラーダイアログを表示します。

- ・設定データの編集中
- ・SDカードの書き込み禁止（ロック）がON
- ・SDカードの残り容量不足

SD書き出し後は、SDカードの中に設定データと一緒にコピーされる件名情報のメモ（TABLE情報.txt）を開いて、正しく書き込めたことを確認してください。

※TABLE情報.txtの内容は、ファイル名、件名名称、受信機種別、更新日時です。  
(TABLE情報.txtは受信機では使用しないファイルです)



## 参考

SDカードから設定データを直接開いて保存した場合は、TABLE情報.txtは更新されません。  
TABLE情報.txtは「SD書き出し」時に作成されます。



SDカードをフォーマットする場合は、Windowsのドライブアイコンを右クリックしたメニューからのフォーマット機能は使用せず、必ずSD専用のSDフォーマッターを使用してください。

なお、SDフォーマッターはSDアソシエーションのWebサイトからダウンロードできます。



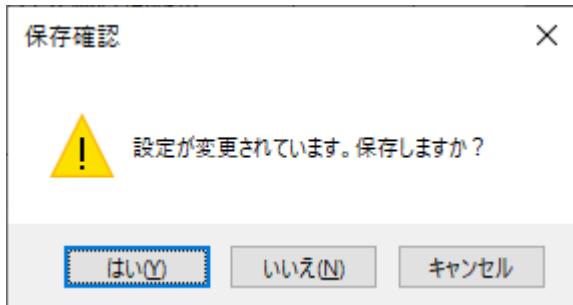
受信機は固定のファイル名（TABLE.2TG）を読み込む仕様のため、SD書き出し時は設定データファイルを**TABLE.2TG**にリネームしてコピーします。

# 15. 終了

メインメニューの「終了」をクリックすると、FP2TGを終了します。

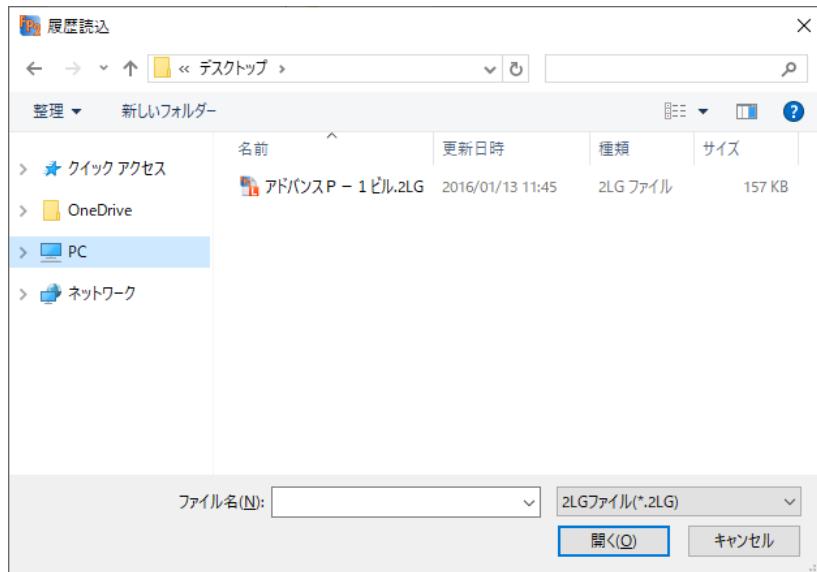
設定データ更新後は、メインメニューの「保存」ボタンをクリックして保存してから、FP2TGを終了してください。

「保存」をせずに「終了」をクリックすると、保存の確認ダイアログを表示しますので、「はい(Y)」をクリックして保存してください。



# 16. 受信機履歴表示

スタートメニューの「受信機履歴表示」をクリックすると、ファイル選択画面を表示します。  
※ファイル選択画面は、デスクトップをデフォルトで選択します。

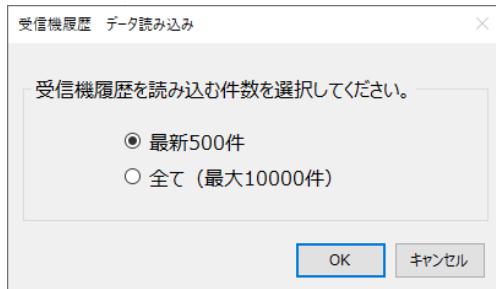


履歴情報ファイル（拡張子が”2LG”）を選択して「開く」をクリックすると、読み込む件数を選択するダイアログを表示します。

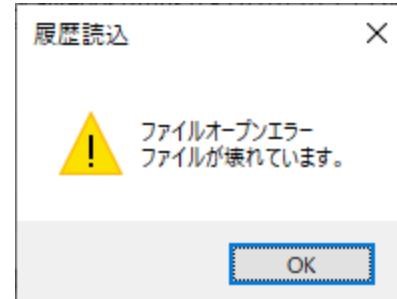
「最新 500 件」か「全て（最大 10000 件）」を選択して、「OK」をクリックすると、履歴情報をリスト表示します。

※履歴情報のデータが異常の場合は、ファイルオープンエラーのダイアログを表示します。

<読み込み件数を選択>



<データが異常の場合>



履歴情報ファイルは受信機の履歴書き出し操作によって、SDカードに保存されますので、SDカード経由でパソコンにコピーしてください。

※受信機から保存した履歴情報ファイルはファイル名が日付になっていますので、扱いやすい  
ファイル名(例えば日付+件名名称など)に適宜変更してください。

履歴情報の読み込みは、履歴情報ファイルのアイコン  (2LGファイル) をダブルクリックして起動することもできます。

# 16. 受信機履歴表示

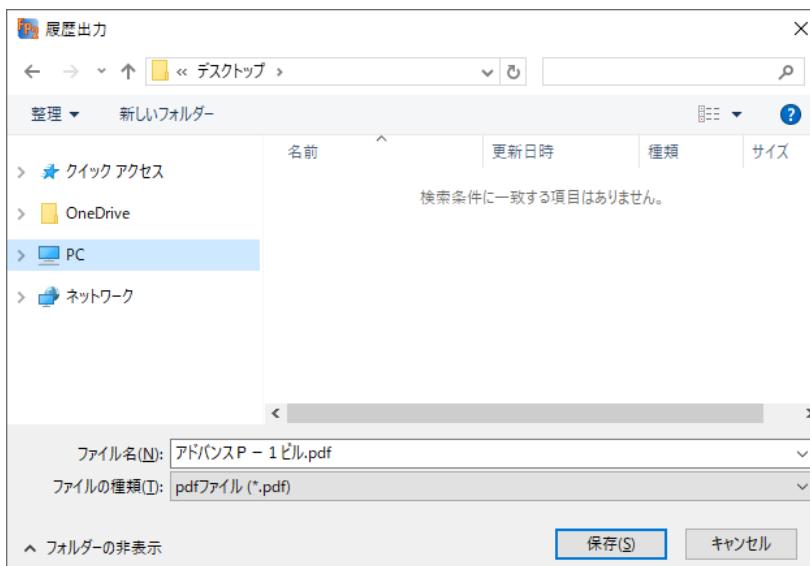
<履歴表示画面>

The screenshot shows a software window titled "履歴表示" (History Display). At the top, it displays the device name "件名名称 : アドバンスP - 1ビル" and the recording date and time "書き出し日時 : 2015/12/17 17:58". Below this is a table listing 20 events:

順序	日時	イベント内容	状態	補足情報
1	2015/12/17 17:56	電池未接続	復旧	
2	2015/12/17 17:56	電池未接続	発生	
3	2015/12/17 17:56	受信機起動		CODE:02
4	2015/12/17 16:52	プリンタ停止	ON	
5	2015/12/17 16:52	火災復旧		
6	2015/12/17 16:52	火災復旧		
7	2015/12/17 16:50	火災	発報	L001 AD64 [1F-164号]
8	2015/12/17 16:50	地区音響一斉鳴動 (拡大)		
9	2015/12/17 16:50	火災	発報	L001 [1か所]
10	2015/12/17 16:50	発信機	発報	
11	2015/12/17 16:50	移信停止	OFF	
12	2015/12/17 16:50	移信停止	ON	
13	2015/12/17 16:50	火災復旧		
14	2015/12/17 16:49	火災	発報	L001 AD64 [1F-164号]
15	2015/12/17 16:49	地区音響一斉鳴動 (拡大)		
16	2015/12/17 16:49	火災	発報	L001 [1か所]
17	2015/12/17 16:49	発信機	発報	
18	2015/12/17 16:49	蓄積解除	OFF	
19	2015/12/17 16:49	蓄積解除	ON	
20	2015/12/17 16:45	電池未接続	復旧	

At the bottom right are "保存" (Save) and "終了" (End) buttons.

履歴表示画面の「保存」をクリックすると、ファイル選択画面を表示します。  
ファイルの種類から PDF または CSV を選択して、「保存」をクリックしてください。  
※ファイル選択画面は、デスクトップをデフォルトで選択します。  
※ファイル名には、履歴情報のファイル名が自動設定されます。



「終了」をクリックすると、FP2TGを終了します。

# 16. 受信機履歴表示

<PDF出力例>

件名名称 : アドバンスP-1ビル

書き出し日時 : 2015/12/17 17:58

<履歴>

通番	日時	イベント内容	状態	補足情報
1	2015/12/17 17:56	電池未接続	復旧	
2	2015/12/17 17:56	電池未接続	発生	
3	2015/12/17 17:56	受信機起動		CODE:02
4	2015/12/17 16:52	プリント停止	ON	
5	2015/12/17 16:52	火災復旧		
6	2015/12/17 16:52	火災復旧		
7	2015/12/17 16:50	火災	発報	L001 AD64 [1F-164号]
8	2015/12/17 16:50	地区音響一斉鳴動(拡大)		
9	2015/12/17 16:50	火災	発報	L001 [1カイセン ]
10	2015/12/17 16:50	発信機	発報	
11	2015/12/17 16:50	移信停止	OFF	
12	2015/12/17 16:50	移信停止	ON	
13	2015/12/17 16:50	火災復旧		
14	2015/12/17 16:49	火災	発報	L001 AD64 [1F-164号]
15	2015/12/17 16:49	地区音響一斉鳴動(拡大)		
16	2015/12/17 16:49	火災	発報	L001 [1カイセン ]
17	2015/12/17 16:49	発信機	発報	
18	2015/12/17 16:49	蓄積解除	OFF	
19	2015/12/17 16:49	蓄積解除	ON	
20	2015/12/17 16:45	電池未接続	復旧	
21	2015/12/17 16:45	電池未接続	発生	
22	2015/12/17 16:44	受信機起動		CODE:00
23	2015/12/17 16:40	火災復旧		
24	2015/12/17 16:40	プリント異常	復旧	
25	2015/12/17 16:40	火災復旧		
26	2015/12/17 16:39	プリント異常	発生	
27	2015/12/17 16:39	受信機音響強制停止	OFF	
28	2015/12/17 16:39	地区音響強制停止	OFF	
29	2015/12/17 16:39	移信停止	OFF	
30	2015/12/17 16:37	火災	発報	L001 AD64 [1F-164号]
31	2015/12/17 16:37	地区音響一斉鳴動(拡大)		
32	2015/12/17 16:37	火災	発報	L001 [1カイセン ]
33	2015/12/17 16:37	発信機	発報	
34	2015/12/17 16:37	受信機音響強制停止	ON	
35	2015/12/17 16:37	地区音響強制停止	ON	
36	2015/12/17 16:36	地区音響強制停止	OFF	
37	2015/12/17 16:36	受信機音響強制停止	OFF	
38	2015/12/17 16:35	受信機音響強制停止	ON	
39	2015/12/17 16:35	地区音響強制停止	ON	
40	2015/12/17 16:31	火災復旧		
41	2015/12/17 16:31	連動報	発報	L001 [1カイセン ]
42	2015/12/17 16:31	火災	発報	L001 AD41 [1F-141号]
43	2015/12/17 16:31	火災	発報	L001 [1カイセン ]
44	2015/12/17 16:31	蓄積中		L001 [001号 ]
45	2015/12/17 16:31	移信停止	ON	
46	2015/12/17 16:30	火災復旧		
47	2015/12/17 16:29	連動報	発報	L001 [1カイセン ]
48	2015/12/17 16:29	火災	発報	L001 AD64 [1F-164号]
49	2015/12/17 16:29	地区音響一斉鳴動(拡大)		
50	2015/12/17 16:29	火災	発報	L001 [1カイセン ]

# 16. 受信機履歴表示

<履歴出力一覧表> 1 / 2

イベント内容	状態	補足情報
感知器配線断線	発生／復旧	L***
電池未接続	発生／復旧	-
非常放送断線	発生／復旧	EB
主回路電圧異常	発生／復旧	-
火災回路異常	発生／復旧	L***
電池試験不良	発生／復旧	-
データ異常1	発生／復旧	-
データ異常2	発生／復旧	-
データ異常3	発生／復旧	-
履歴異常	発生／復旧	-
メモリ異常	発生／復旧	-
外部トラブル	発生／復旧	N**
交流電源断	発生／復旧	-
ヒューズ断線	発生／復旧	-
ユニット異常1	発生／復旧	UT* AD**
ユニット異常2	発生／復旧	UT* AD**
伝送不良	発生／復旧	L*** AD**
感知器異常	発生／復旧	L*** AD**
火災試験不良	発生／復旧	L*** AD**
地区音響短絡	発生／復旧	BL+
地区音響短絡	発生／復旧	B***
地区音響断線	発生／復旧	BL+
地区音響断線	発生／復旧	B***
伝送不良余分	発生／復旧	L*** AD**
制御線短絡	発生／復旧	B
制御線短絡	発生／復旧	I
制御線短絡	発生／復旧	U
制御線短絡	発生／復旧	D
プリンタ異常	発生／復旧	-
火災	発報	L*** [メッセージ]
火災	発報	L*** AD** [メッセージ]
連動報	発報	L*** [メッセージ]
発信機	発報	-

L\*\*\* : 感知器回線

B : 地区音響配線短絡

N\*\* : 諸警報(小窓)回線

I : 副受信機電源配線短絡

B\*\*\* : 地区音響出力端子

U : 表示灯配線短絡

D : 防排煙制御配線短絡

UT\* : ユニット

※制御線短絡(B/I/U/D)は、

AD\*\* : アドレス

アドバンスP1 (小型) のみ

\*補足情報の[メッセージ]部において、メッセージの先頭1文字目が'-'(ハイフン)の場合は、  
先頭の'-'(ハイフン)を省略して表示します。

# 16. 受信機履歴表示

<履歴出力一覧表> 2 / 2

イベント内容	状態	補足情報
警報	発生／復旧	L***
防排煙	作動／復旧	DA***
警報	発生／復旧	N**
消火栓	ON/OFF	-
蓄積中	-	L*** [メッセージ]
地区音響停止解除（逐次）	-	-
地区音響一斉鳴動（拡大）	-	-
非常放送地区音響停止	ON/OFF	-
火災復旧	-	-
試験復旧	ON/OFF	-
地区音響一斉鳴動	ON/OFF	-
蓄積解除	ON/OFF	-
非常放送運動停止	ON/OFF	-
移信停止	ON/OFF	-
O P 1	ON/OFF	-
O P 2	ON/OFF	-
O P 3	ON/OFF	-
O P 4	ON/OFF	-
O P 5	ON/OFF	-
防排煙運動停止	ON/OFF	-
消火栓運動停止	ON/OFF	-
プリンタ停止	ON/OFF	-
地区音響一時停止	ON/OFF	-
地区音響強制停止	ON/OFF	-
受信機音響強制停止	ON/OFF	-
受信機起動	-	CODE:** (起動要因)
現在時刻設定	-	-
年替わり記録	-	-
履歴クリア	-	-
ガス漏れ遅延	発生	GL*** [メッセージ]
ガス漏れ	発生/復旧	GL*** [メッセージ]
ガス漏れ警報器故障	発生/復旧	GL***
ガス漏れ受信回路異常	発生/復旧	GL***
ガス漏れ警報器電源異常	発生/復旧	-
遅延解除	ON/OFF	-

L\*\*\* : 感知器回線

CODE:\*\*

DA\*\*\* : 防排煙監視回線

00:電源スイッチのOFF/ONによる再起動

N\*\* : 諸警報(小窓)回線

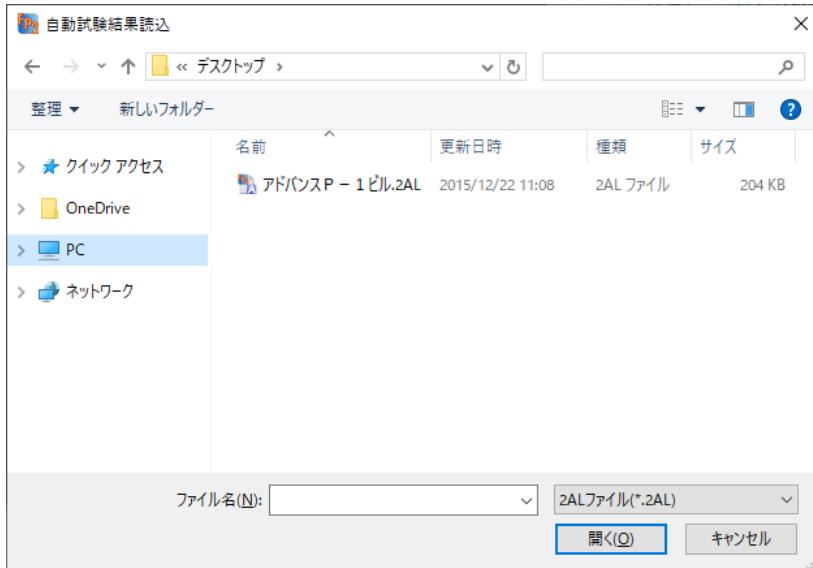
01:ウォッチドッグリセットによる再起動

GL\*\*\* : ガス漏れ回線

02:ソフト設定完了による再起動

# 17. 自動試験結果表示

スタートメニューの「自動試験結果表示」をクリックすると、ファイル選択画面を表示します。  
※ファイル選択画面は、デスクトップをデフォルトで選択します。

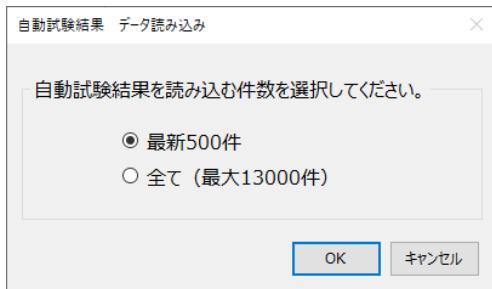


自動試験結果ファイル（拡張子が“2AL”）を選択して「開く」をクリックすると、読み込む件数を選択するダイアログを表示します。

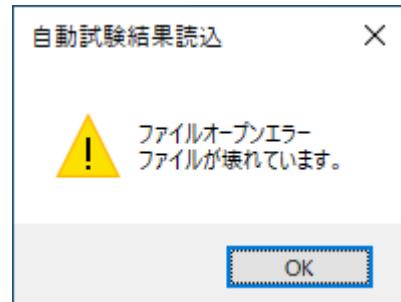
「最新500件」か「全て（最大13000件）」を選択して、「OK」をクリックすると、自動試験結果をリスト表示します。

※自動試験結果のデータが異常の場合は、ファイルオープンエラーのダイアログを表示します。

<読み込み件数を選択>



<データが異常の場合>



自動試験結果の日時は、自動試験の完了日時、および自動試験対象トラブルの発生日時です。

※自動試験に関するトラブルは自動試験のタイミング以外においても、イベントの発生都度、  
自動試験結果に表示します。

自動試験結果ファイルは受信機の自動試験結果書き出し操作によって、SDカードに保存されますので、SDカード経由でパソコンにコピーしてください。

※受信機から保存した自動試験結果ファイルはファイル名が日付になっていますので、扱いやすい  
ファイル名(例えば日時+件名名称など)に適宜変更してください。

自動試験結果の読み込みは、自動試験結果ファイルのアイコンをダブルクリックして起動することもできます。



(2ALファイル)

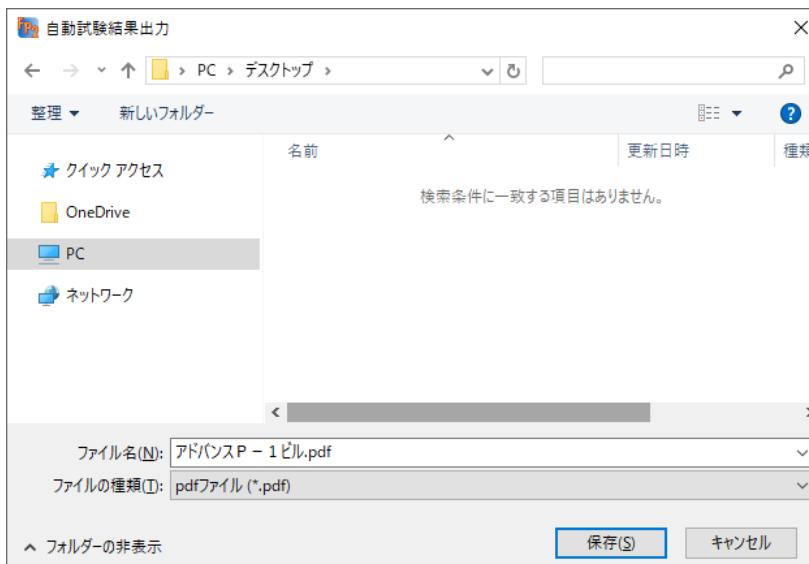
# 17. 自動試験結果表示

<自動試験結果表示画面>

	日時	イベント内容	状態	補足情報
1	2015/12/17 17:56	電池未接続	発生	
2	2015/12/16 16:45	電池未接続	発生	
3	2015/12/12 20:50	ユニット異常1	発生	UT1 AD00
4	2015/12/12 03:33	自動試験 結果 良		
5	2015/12/05 03:33	自動試験 結果 良		
6	2015/11/28 03:33	自動試験 結果 良		
7	2015/11/21 03:33	自動試験 結果 不良		
8	2015/11/20 21:06	伝送不良	発生	L006 AD21
9	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L040
10	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L039
11	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L038
12	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L037
13	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L036
14	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L035
15	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L034
16	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L033
17	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L032
18	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L031
19	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L030
20	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L029

保存 終了

自動試験結果表示画面の「保存」をクリックすると、ファイル選択画面を表示します。ファイルの種類から PDF または CSV を選択して、「保存」をクリックしてください。  
※ファイル選択画面は、デスクトップをデフォルトで選択します。  
※ファイル名には、自動試験結果のファイル名が自動設定されます。



「終了」をクリックすると、F P 2 T Gを終了します。

# 17. 自動試験結果表示

<PDF 出力例>

件名名称 : アドバンスP-1ビル

書き出し日時 : 2015/12/17 17:59

## <自動試験結果>

通番	日時	イベント内容	状態	補足情報
1	2015/12/17 17:56	電池未接続	発生	
2	2015/12/16 16:45	電池未接続	発生	
3	2015/12/12 20:50	ユニット異常1	発生	UT1 AD00
4	2015/12/12 03:33	自動試験 結果 良		
5	2015/12/05 03:33	自動試験 結果 良		
6	2015/11/28 03:33	自動試験 結果 良		
7	2015/11/21 03:33	自動試験 結果 不良		
8	2015/11/20 21:06	伝送不良	発生	L006 AD21
9	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L040
10	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L039
11	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L038
12	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L037
13	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L036
14	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L035
15	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L034
16	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L033
17	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L032
18	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L031
19	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L030
20	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L029
21	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L028
22	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L027
23	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L026
24	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L025
25	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L024
26	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L023
27	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L022
28	2015/11/20 21:03	感知器配線断線	発生	L021
29	2015/11/15 17:37	感知器配線断線	発生	L040
30	2015/11/15 17:37	感知器配線断線	発生	L039
31	2015/11/15 17:37	感知器配線断線	発生	L038
32	2015/11/15 17:37	感知器配線断線	発生	L037
33	2015/11/15 17:37	感知器配線断線	発生	L036
34	2015/11/15 17:37	感知器配線断線	発生	L035
35	2015/11/15 17:37	感知器配線断線	発生	L034
36	2015/11/15 17:37	感知器配線断線	発生	L033
37	2015/11/15 17:37	感知器配線断線	発生	L032
38	2015/11/15 17:37	感知器配線断線	発生	L031
39	2015/11/15 17:37	感知器配線断線	発生	L030
40	2015/11/15 17:37	感知器配線断線	発生	L029
41	2015/11/15 17:37	感知器配線断線	発生	L028
42	2015/11/15 17:37	感知器配線断線	発生	L027
43	2015/11/15 17:37	感知器配線断線	発生	L026
44	2015/11/15 17:37	感知器配線断線	発生	L025
45	2015/11/15 17:37	感知器配線断線	発生	L024
46	2015/11/15 17:37	感知器配線断線	発生	L023
47	2015/11/15 17:37	感知器配線断線	発生	L022
48	2015/11/15 17:37	感知器配線断線	発生	L021
49	2015/11/15 17:37	電池未接続	発生	
50	2015/11/15 17:27	感知器配線断線	発生	L040

# 17. 自動試験結果表示

<自動試験結果出力一覧表>

イベント内容	状態	補足情報
感知器配線断線	発生	L***
電池未接続	発生	-
非常放送断線	発生	EB
主回路電圧異常	発生	-
火災回路異常	発生	L***
電池試験不良	発生	-
メモリ異常	発生	-
交流電源断	発生	-
ヒューズ断線	発生	-
ユニット異常 1	発生	UT* AD**
ユニット異常 2	発生	UT* AD**
伝送不良	発生	L*** AD**
感知器異常	発生	L*** AD**
火災試験不良	発生	L*** AD**
地区音響短絡	発生	BL+
地区音響短絡	発生	B***
地区音響断線	発生	BL+
地区音響断線	発生	B***
制御線短絡	発生	B
制御線短絡	発生	I
制御線短絡	発生	U
制御線短絡	発生	D
自動試験 結果 良	-	-
自動試験 結果 不良	-	-
自動試験 未実施	-	-
自動試験 中断	-	-
自動試験 結果クリア	-	-

L\*\*\* : 感知器回線

B\*\*\* : 地区音響出力端子

UT\* : ユニット

AD\*\* : アドレス

B : 地区音響配線短絡

I : 副受信機電源配線短絡

U : 表示灯配線短絡

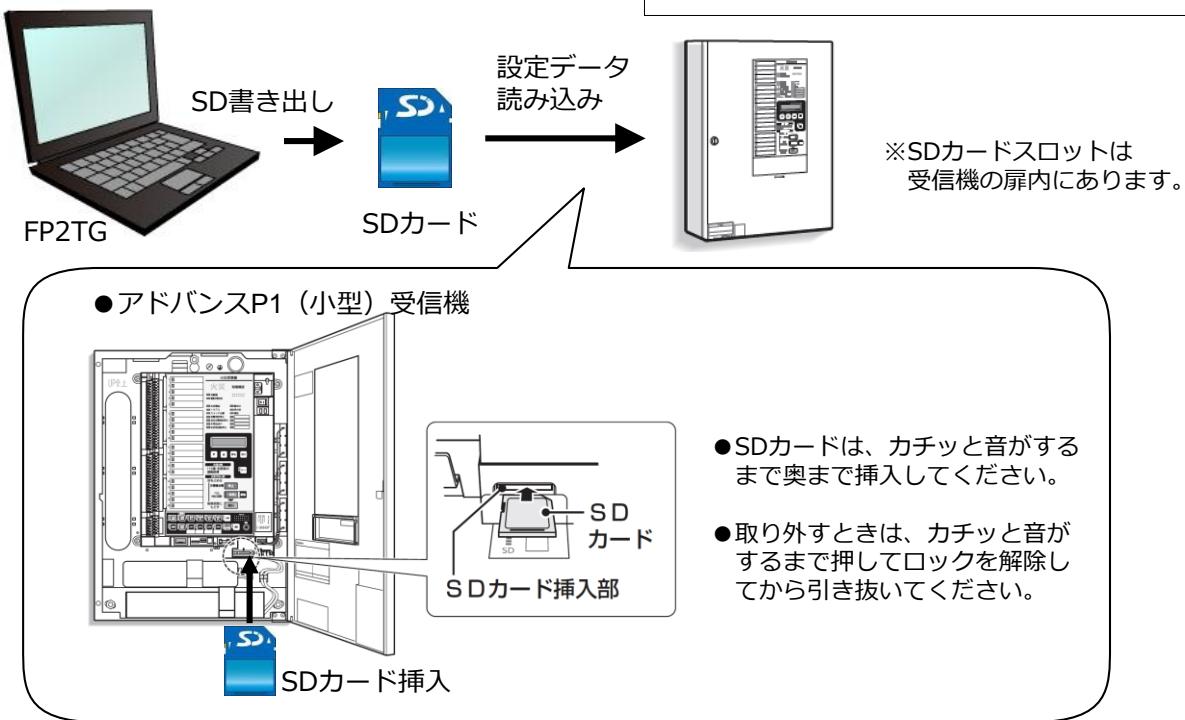
D : 防排煙制御配線短絡

※制御線短絡(B/I/U/D)は、  
アドバンスP1（小型）のみ

# 18. 付録 アドバンスP1（小型）の場合

## 18-1. 設定データを受信機に読み込む方法

**注** AP感知器の設定は、受信機盤面にて  
AP感知器の自動登録操作が必要です。

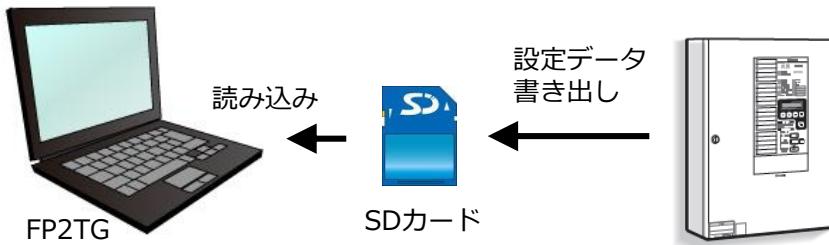


- 1) FP2TGで作成した設定データを、FP2TGの「SD書き出し」をクリックしてSDカードに書き出します。
- 2) 書き出した設定データに間違いがないか、SDカードの中の[TABLE情報.txt]を開いて確認します。  
※書き出した設定データのファイル名は[TABLE.2TG]固定です。  
※[TABLE情報.txt]は受信機では使用しないファイルです。（受信機は読み込みません）
- 3) SDカードを受信機のSDカードスロットに挿入し、電池コネクタを抜いてから、受信機の電源スイッチをOFFします。
- 4) 受信機の「点検スイッチ」を押したままの状態で、受信機の電源スイッチをONし、2秒後に「点検スイッチ」を離して、受信機をソフト設定モードで起動します。  
液晶表示部に【セッティキトウカウ】をしばらく表示した後、【カセンシバツ】を表示します。  
※ソフト設定モード中は、下記LEDが全て点滅します。  
(交流電源灯・警戒中灯・トラブル灯・消火栓灯・スイッチ注意灯・電話灯)  
※受信機の電源スイッチをONにした後は、電池コネクタを接続してください。
- 5) 選択スイッチ「▲」で【セッティSDヨミコミ】を表示させ、「実行スイッチ」を押します。
- 6) 【\*\*\*\*\*ヨミコミ? [イイ]】の確認画面を表示するので、「▼▲」で【イイ】を選択し、再度「実行スイッチ」を押すと、読み込みを開始します。（\*\*\*\*\*は件名名称です）  
読み込みが完了すると、終了音（ピー）が鳴り、【トドウカウ】を表示します。  
受信機起動後、SDカードを取り出してください。

エラー内容	受信機液晶表示内容	処置方法
SDカードが挿入されていない	SDカード ガ アリマセン	SDカードをカチッと音がするまで挿入する
SDカードから読み込みができない	SDカード ヨミコミ E rr	設定データを確認する。 TABLE.2TGであること。
SDカードにテーブルデータがない	データ ガ アリマセン	SDカードに設定データ (TABLE2.TG)を入れる
SDカード内の設定データの受信機構成と、実際の受信機の構成が異なる	コウセイ ガ チガイマス	設定データの受信機構成を実際の受信機の構成に合わせて作成する

# 18. 付録 アドバンスP1（小型）の場合

## 18-2. 受信機内の設定データをFP2TGに読み込む方法



- 1) 受信機が監視状態（通電状態）のままで、SDカードを受信機のSDカードスロットに挿入します。
- 2) 受信機の「トラブル・履歴確認スイッチ」を押して、液晶表示部に【トラブル カクニン】を表示させます。
- 3) 選択スイッチ「▲」で【ソフトセッティ カクニン】を表示させ、「実行スイッチ」を押すと【カイセン シュベツ】を表示します。
- 4) 選択スイッチ「▲」で【セッティ SD カタシ】を表示させ、「実行スイッチ」を押します。
- 5) 【セッティ SD カタシ OK? [イイ]】の確認画面を表示するので、「▼▲」で【[イイ]】を選択し、再度「実行スイッチ」を押すと、書き出しを開始します。

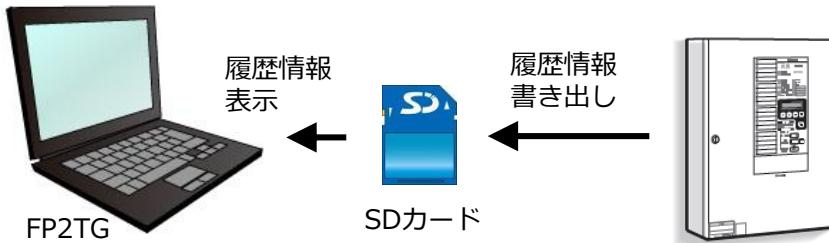
<エラーを検出すると、受信機の液晶表示部にエラーを表示します>

エラー内容	受信機液晶表示内容	処置方法
SDカードが挿入されていない	SDカード ガ アリマセン	SDカードをカチッと音がするまで挿入する
SDカードに書き込みができない	SDカード カキダシ E rr r	SDカードの書き込み禁止スイッチをOFFする またはSDカードを交換する
SDカードの容量が不足している	SDカード カキダシ E rr r	SDカード内の不要ファイルを削除する

- 6) 液晶表示部に【カタシ カリヨウ】が表示されたら、SDカードを取り出してください。  
※書き出した設定データはSDカードのルートディレクトリにファイル名[TABLE.2TG]で保存します。  
(ファイル名が[TABLE.2TG] 固定のため、すでにファイルが存在する場合は上書き保存されます)
- 7) 「トラブル・履歴確認スイッチ」を押すと、平常時の監視状態に戻ります。
- 8) SDカードをパソコンに挿入し、受信機から書き出した 設定データ[TABLE.2TG]ファイルをデスクトップ等にコピーしてから設定データを読み込んでください。  
※パソコンで件名管理しやすいようにファイル名[TABLE]は任意に変更可能です。

# 18. 付録 アドバンスP1（小型）の場合

## 18-3. 受信機の履歴情報をFP2TGで表示する方法



- 1) 受信機が監視状態（通電状態）のままで、SDカードを受信機のSDカードスロットに挿入します。
- 2) 受信機の「トラブル・履歴確認スイッチ」を押して、液晶表示部に【トラブルカウ】を表示させます。
- 3) 選択スイッチ「▼」で【リキ SD カタシ】を表示させ、「実行スイッチ」を押します。
- 4) 【リキ SD カタシ OK? [ハ]】の確認画面を表示するので、再度「実行スイッチ」を押すと、書き出しを開始します。

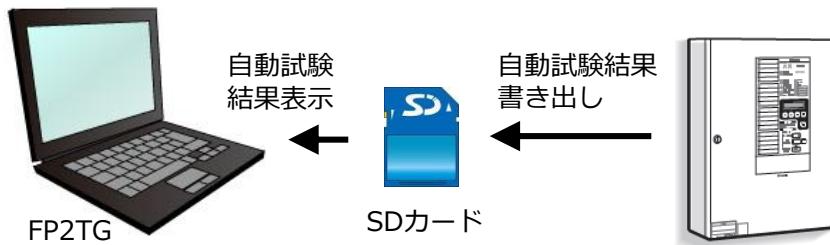
<エラーを検出すると、受信機の液晶表示部にエラーを表示します>

エラー内容	受信機液晶表示内容	処置方法
SDカードが挿入されていない	SDカード ガ アリマセン	SDカードをカチッと音がするまで挿入する
SDカードに書き込みができない	SDカード カキダシ Err	SDカードの書き込み禁止スイッチをOFFする またはSDカードを交換する
SDカードの容量が不足している	SDカード カキダシ Err	SDカード内の不要ファイルを削除する

- 5) 液晶表示部に【カタシ カリヨウ】が表示されたら、SDカードを取り出してください。  
※書き出した履歴情報はSDカードのルートディレクトリに、ファイル名[月日時分の8桁].2LGで保存します。  
(履歴情報はファイル名がタイムスタンプのため、複数のファイルをSDカードに保存できます)
- 6) 「トラブル・履歴確認スイッチ」を押すと、平常時の監視状態に戻ります。
- 7) SDカードをパソコンに挿入し、受信機から書き出した履歴情報[.2LG]ファイルをデスクトップ等にコピーしてから履歴情報を読み込んでください。  
※パソコンで管理しやすいようにファイル名は任意に変更可能です。

# 18. 付録 アドバンスP1（小型）の場合

## 18-4. 受信機の自動試験結果をFP2TGで表示する方法



- 1) 受信機が監視状態（通電状態）のままで、SDカードを受信機のSDカードスロットに挿入します。
- 2) 受信機の「トラブル・履歴確認スイッチ」を押して、液晶表示部に【トラブルカニ】を表示させます。
- 3) 選択スイッチ「▼」で【ジドウシケンケカ SD かたシ】を表示させ、「実行スイッチ」を押します。
- 4) 【ジドウシケンケカ SD かたシ OK? [リ]】の確認画面を表示するので、再度「実行スイッチ」を押すと、書き出しを開始します。

〈エラーを検出すると、受信機の液晶表示部にエラーを表示します〉

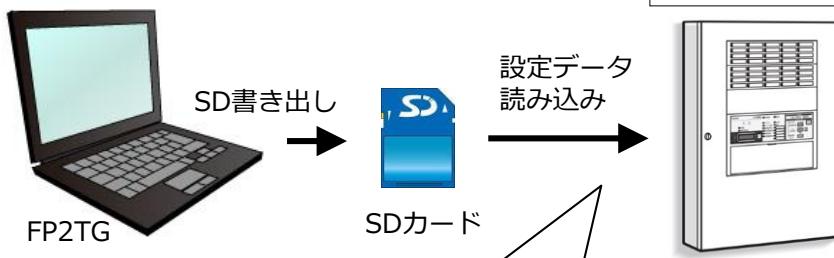
エラー内容	受信機液晶表示内容	処置方法
SDカードが挿入されていない	SDカード ガ アリマセン	SDカードをカチッと音がするまで挿入する
SDカードに書き込みができない	SDカード カキダシ E r r	SDカードの書き込み禁止スイッチをOFFする またはSDカードを交換する
SDカードの容量が不足している	SDカード カキダシ E r r	SDカード内の不要ファイルを削除する

- 5) 液晶表示部に【カタシカリヨウ】が表示されたら、SDカードを取り出してください。  
※書き出した自動試験結果はSDカードのルートディレクトリに、ファイル名[月日時分の8桁.2AL]で保存します。  
(自動試験結果はファイル名がタイムスタンプのため、複数のファイルをSDカードに保存できます)
- 6) 「トラブル・履歴確認スイッチ」を押すと、平常時の監視状態に戻ります。
- 7) SDカードをパソコンに挿入し、受信機から書き出した自動試験結果 [.2AL] ファイルをデスクトップ等にコピーしてから自動試験結果を読み込んでください。  
※パソコンで管理しやすいようにファイル名は任意に変更可能です。

# 19. 付録 アドバンスP1（小型）以外の場合

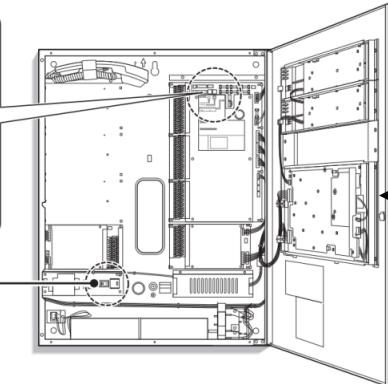
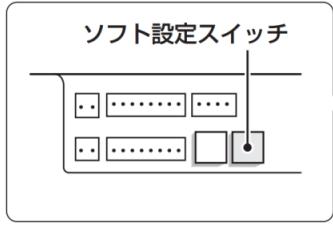
## 19-1. 設定データを受信機に読み込む方法

**注:** AP感知器の設定は、受信機盤面にて  
AP感知器の自動登録操作が必要です。



※SDカードスロットは受信機の扉を開けると、扉側にあります。

### ●壁掛型の場合



●SDカードは、カチッと音がするまで奥まで挿入してください。

●取り外すときは、カチッと音がするまで押してロックを解除してから引き抜いてください。



SDカード挿入

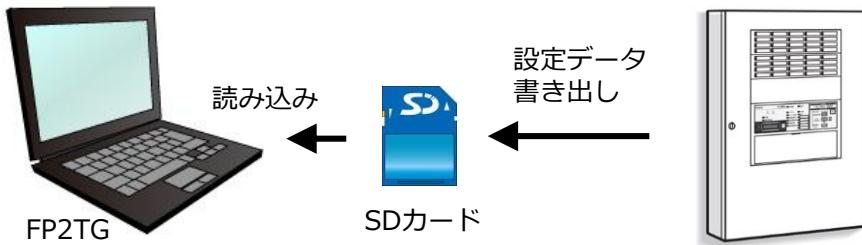
※データ読み書き時にSDスロット上部の LD1 (SDカードへのアクセスランプ) が点灯します。

- 1) FP2TGで作成した設定データを、FP2TGの「SD書き出し」をクリックしてSDカードに書き出します。
- 2) 書き出した設定データに間違いがないか、SDカードの中の[TABLE情報.txt]を開いて確認します。  
※書き出した設定データのファイル名は[TABLE.2TG]固定です。  
※[TABLE情報.txt]は受信機では使用しないファイルです。（受信機は読み込みません）
- 3) SDカードを受信機のSDカードスロットに挿入し、電池コネクタを抜いてから、受信機の電源スイッチをOFFします。
- 4) 受信機盤内の「ソフト設定スイッチ」を押したままの状態で、受信機の電源スイッチをONし、2秒後に「ソフト設定スイッチ」を離して、受信機をソフト設定モードで起動します。  
液晶表示部に【セッティ キドウチ】をしばらく表示した後、【カイセン シュバツ】を表示します。  
※ソフト設定モード中は、下記LEDが全て点滅します。  
(交流電源灯・警戒中灯・トラブル灯・消火栓灯・スイッチ注意灯・電話灯)  
※受信機の電源スイッチをONにした後は、電池コネクタを接続してください。
- 5) 選択スイッチ「▲」で【セッティ SD ヨミコミ】を表示させ、「実行スイッチ」を押します。
- 6) 【\*\*\*\*\*ヨミコミ? [イイ]】の確認画面を表示するので、「▼▲」で【イイ】を選択し、「実行スイッチ」を押すと、読み込みを開始します。（\*\*\*\*\*は件名名称です）  
読み込みが完了すると、終了音（ピー）が鳴り、【キドウチ】を表示します。  
受信機起動後、SDカードを取り出してください。

エラー内容	受信機液晶表示内容	処置方法
SDカードが挿入されていない	SDカード ガ アリマセン	SDカードをカチッと音がするまで挿入する
SDカードから読み込みができない	SDカード ヨミコミ E r r	設定データを確認する。 TABLE2.TGであること。
SDカードにテーブルデータがない	データ ガ アリマセン	SDカードに設定データ (TABLE2.TG)を入れる
SDカード内の設定データの受信機構成と、実際の受信機の構成が異なる	コウセイ ガ チガイマス	設定データの受信機構成を実際の受信機の構成に合わせて作成する

# 19. 付録 アドバンスP1（小型）以外の場合

## 19-2. 受信機内の設定データをFP2TGに読み込む方法



- 1) 受信機が監視状態（通電状態）のままで、SDカードを受信機のSDカードスロットに挿入します。
- 2) 受信機盤内の「ソフト設定スイッチ」を2秒以上長押しをして、液晶表示部に【カセンショバツ】を表示させます。
- 3) 選択スイッチ「▲」で【セッティ SD カタシ】を表示させ、「実行スイッチ」を押します。
- 4) 【セッティ SD カタシ OK? [イイ]】の確認画面を表示するので、「▼▲」で【[イイ]】を選択し、「実行スイッチ」を押すと、書き出しを開始します。

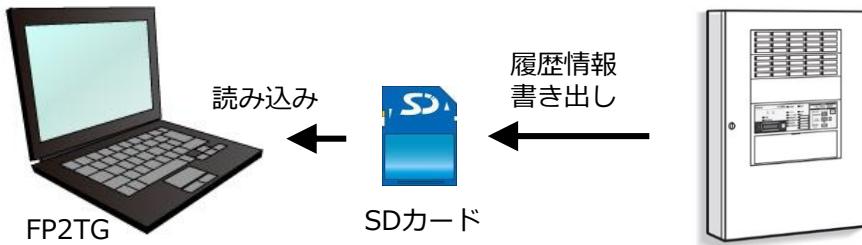
<エラーを検出すると、受信機の液晶表示部にエラーを表示します>

エラー内容	受信機液晶表示内容	処置方法
SDカードが挿入されていない	SDカード ガ アリマセン	SDカードをカチッと音がするまで挿入する
SDカードに書き込みができない	SDカード カキダシ E r r	SDカードの書き込み禁止スイッチをOFFする またはSDカードを交換する
SDカードの容量が不足している	SDカード カキダシ E r r	SDカード内の不要ファイルを削除する

- 4) 液晶表示部に【カタシ カリヨウ】が表示されたら、SDカードを取り出してください。  
※書き出した設定データはSDカードのルートディレクトリにファイル名[TABLE.2TG]で保存します。  
(ファイル名が[TABLE.2TG]固定のため、すでにファイルが存在する場合は上書き保存されます)
- 5) SDカードをパソコンに挿入し、受信機から書き出した 設定データ[TABLE.2TG]ファイルをデスクトップ等にコピーしてから設定データを読み込んでください。  
※パソコンで件名管理しやすいようにファイル名[TABLE]は任意に変更可能です。

# 19. 付録 アドバンスP1（小型）以外の場合

## 19-3. 受信機の履歴情報をFP2TGで表示する方法



- 1) 受信機が監視状態（通電状態）のままで、SDカードを受信機のSDカードスロットに挿入します。
- 2) 受信機の「履歴確認スイッチ」を押して、液晶表示部に【リキ カクニ】を表示させます。
- 3) 選択スイッチ「▼」で【リキ SD カタシ】を表示させ、「実行スイッチ」を押します。
- 4) 【リキ SD カタシ OK? [リ]】の確認画面を表示するので、再度「実行スイッチ」を押すと、書き出しを開始します。

<エラーを検出すると、受信機の液晶表示部にエラーを表示します>

エラー内容	受信機液晶表示内容	処置方法
SDカードが挿入されていない	SDカード ガ アリマセン	SDカードをカチッと音がするまで挿入する
SDカードに書き込みができない	SDカード カキダシ E rr	SDカードの書き込み禁止スイッチをOFFする またはSDカードを交換する
SDカードの容量が不足している	SDカード カキダシ E rr	SDカード内の不要ファイルを削除する

- 5) 液晶表示部に【カタシ カンリョウ】が表示されたら、SDカードを取り出してください。  
※書き出した履歴情報はSDカードのルートディレクトリに、ファイル名[月日時分の8桁.2LG]で保存します。  
(履歴情報はファイル名がタイムスタンプのため、複数のファイルをSDカードに保存できます)
- 6) 「履歴確認スイッチ」を押すと、平常時の監視状態に戻ります。
- 7) SDカードをパソコンに挿入し、受信機から書き出した履歴情報[.2LG]ファイルをデスクトップ等にコピーしてから履歴情報を読み込んでください。  
※パソコンで管理しやすいようにファイル名は任意に変更可能です。

# 19. 付録 アドバンスP1（小型）以外の場合

## 19-4. 受信機の自動試験結果をFP2TGで表示する方法



- 1) 受信機が監視状態（通電状態）のままで、SDカードを受信機のSDカードスロットに挿入します。
- 2) 受信機の「履歴確認スイッチ」を押して、液晶表示部に【リ~~カ~~ カ~~ニ~~ン】を表示させます。
- 3) 選択スイッチ「▼」で【ジトウシケン ケ~~カ~~ SD カ~~タ~~シ】を表示させ、「実行スイッチ」を押します。
- 4) 【ジトウシケン ケ~~カ~~ SD カ~~タ~~シ OK? [M]】の確認画面を表示するので、再度「実行スイッチ」を押すと、書き出しを開始します。

<エラーを検出すると、受信機の液晶表示部にエラーを表示します>

エラー内容	受信機液晶表示内容	処置方法
SDカードが挿入されていない	SDカード ガ アリマセン	SDカードをカチッと音がするまで挿入する
SDカードに書き込みができない	SDカード カキダシ E rr	SDカードの書き込み禁止スイッチをOFFする またはSDカードを交換する
SDカードの容量が不足している	SDカード カキダシ E rr	SDカード内の不要ファイルを削除する

- 5) 液晶表示部に【カ~~タ~~シ カンリヨウ】が表示されたら、SDカードを取り出してください。  
※書き出した自動試験結果はSDカードのルートディレクトリに、ファイル名[月日時分の8桁.2AL]で保存します。  
(自動試験結果はファイル名がタイムスタンプのため、複数のファイルをSDカードに保存できます)
- 6) 「履歴確認スイッチ」を押すと、平常時の監視状態に戻ります。
- 7) SDカードをパソコンに挿入し、受信機から書き出した自動試験結果 [.2AL] ファイルをデスクトップ等にコピーしてから自動試験結果を読み込んでください。  
※パソコンで管理しやすいようにファイル名は任意に変更可能です。

**パナソニック株式会社 ソリューション事業統括部**  
**〒105-8301 東京都港区東新橋1丁目5番1号**

© Panasonic Corporation 2020-2023

1021-10423AB